

# 杉並区ひとり親家庭実態調査 報 告 書

令和 7 年 11 月

杉 並 区



# 令和7年度 杉並区ひとり親家庭実態調査 報告書

## 目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の概要	1
	(1) 調査の対象	1
	(2) 調査方法・調査期間・対象者数・回収状況	1
3	報告書活用の留意点	1
II	調査結果	2
1	世帯の状況、生活の状況について	2
	(1) 世帯と回答者の年齢	2
	(2) 世帯構成	3
	(3) 一緒に暮らしている子どもの状況	4
	(4) 住宅の種類	6
	(5) 住宅の間取り	8
	(6) 毎月の住宅費	10
	(7) 引っ越しの予定	12
	(8) 引っ越しの困りごと	13
	(9) ひとり親になってからの年数	14
	(10) ひとり親になった理由	15
2	養育費について	16
	(1) 養育費の受け取り状況	16
	(2) 養育費の取り決めの方法	18
	(3) 養育費の年額	19
	(4) 養育費を受け取っていない理由	21
	(5) 養育費を受け取るために必要な支援	22
3	親子交流（面会）について	23
	(1) 親子交流（面会）の実施状況	23
	(2) 親子交流（面会）の頻度	25
	(3) 親子交流（面会）をしていない理由	26
4	「共同親権」について	27
	(1) 共同親権の認知	27
	(2) 共同親権の説明会等への参加希望	28
5	仕事について	29
	(1) ひとり親になる前の仕事の有無	29
	(2) ひとり親になる前の雇用形態	30
	(3) ひとり親になったことによる転職の有無	31
	(4) 転職で利用した窓口	32
	(5) 現在の仕事の有無	33

(6) 現在の雇用形態 .....	34
(7) 帰宅時間 .....	38
(8) 現在の仕事の継続年数 .....	39
(9) 転職希望の有無 .....	40
(10) 転職したい理由 .....	41
(11) 仕事をしていない理由 .....	43
(12) 仕事を探すときの悩み .....	44
(13) 最終学歴 .....	45
(14) 今後、取得したい資格等 .....	46
6 経済状況について .....	47
(1) 現在の収入源 .....	47
(2) 世帯の手取り合計額 .....	48
(3) 貯金の状況 .....	51
(4) 現在の暮らしむき .....	55
7 子育てについて .....	57
(1) 子どもが病気のときの子どもの世話 .....	57
(2) 父母自身が病気などのときの子どもの世話 .....	58
(3) 子どもと過ごす時間 .....	59
(4) 子どもとの会話・やりとり .....	60
(5) 子どもと一緒にした体験 .....	61
8 健康について .....	63
(1) 父母自身の健康状態 .....	63
9 エネルギー機器の使用などについて .....	64
(1) 使用しているエアコンの購入時期 .....	64
(2) エアコンの買い替え又は購入予定 .....	66
(3) エアコンの買い替え又は購入予定がない理由 .....	67
(4) エネルギー経費の家計への負担 .....	69
(5) エネルギー経費削減への取り組み .....	71
10 悩みや困りごとなどについて .....	72
(1) ひとり親になる前に知りたかったこと .....	72
(2) ひとり親になった当時の悩みや困り事 .....	74
(3) 現在の悩みや困り事 .....	76
(4) 悩みや困り事の解決方法 .....	79
(5) 悩みや困り事があっても特に何もしない理由 .....	82
11 ひとり親家庭への支援等について .....	83
(1) ひとり親家庭への支援で必要と思うもの .....	83
(2) ひとり親支援や子育ての情報の入手先 .....	84
12 公的支援の利用状況や意向について .....	86
(1) 公的支援の利用状況や意向 .....	86
13 ご意見・ご要望（自由記載） .....	89

### Ⅲ 調査票 .....94

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

区内にお住まいのひとり親家庭の実態を多角的に把握・分析し、今後のひとり親家庭支援施策の充実に向けた基礎資料として活用する。

## 2 調査の概要

### (1) 調査の対象

杉並区に居住する世帯主と 20 歳未満の子で構成される世帯のうち、無作為に抽出した 2,000 世帯（令和 7 年 8 月 1 日現在）。

### (2) 調査方法・調査期間・対象者数・回収状況

調 査 方 法	郵送による配付、郵送又はウェブフォームによる回答
調 査 期 間	令和 7 年 8 月 8 日～9 月 5 日
発 送 数	2,000 件
有効回答数	564 件（郵送回答 199 件、ウェブフォーム回答 365 件）
有効回答率	28.2%

## 3 報告書活用の留意点

- ・ 単身赴任などによる一時別居の世帯は、この調査の対象外としている。
- ・ 図表の（ ）内の数字は、各設問に該当する回答者数である。
- ・ 回答率（%）は小数点第 2 位を四捨五入して表示しているため、合計が 100%にならない場合がある。
- ・ クロス集計におけるグラフ・表は、分析の柱となる項目の「無回答」の掲載を省略している。
- ・ クロス集計の表中の網掛けは、分析の柱となる各項目における上位 3 位を表している。ただし、分析の柱となる項目の「その他」への網掛けはしていない。
- ・ 各設問のグラフは、全体、母子世帯、父子世帯、どちらともいえない・不明で作成している。内訳は以下のとおりである。

	全 体	母子世帯	父子世帯	どちらともいえない・不明
回答数	564 件	489 件	61 件	14 件
割 合	100.0%	86.7%	10.8%	2.5%

## Ⅱ 調査結果

### 1 世帯の状況、生活の状況について

#### (1) 世帯と回答者の年齢

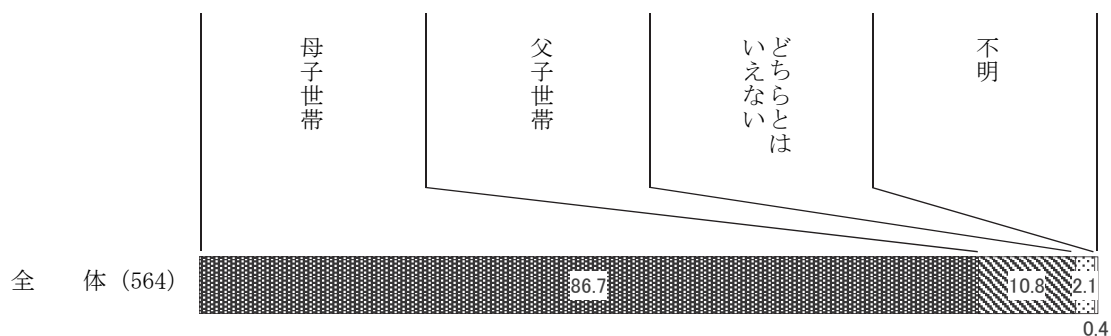
問1 あなたの世帯を教えてください。  
あなたの令和7年8月1日現在の年齢をご記入ください。

回答者の世帯は、「母子世帯」86.7%、「父子世帯」10.8%、「どちらとはいえない」2.1%である。

回答者の年齢は、全体をみると「40～49歳」が最も高い43.4%であり、次いで「50歳以上」29.4%、「30～39歳」19.5%の順に高くなっている。「20歳未満」の回答者はいなかった。

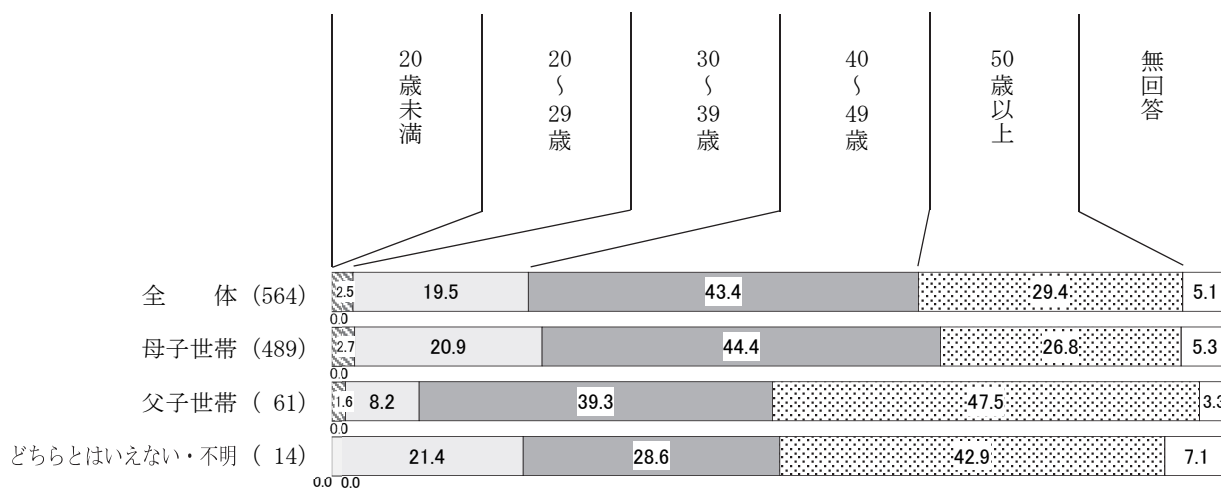
世帯別にみると、母子世帯は「40～49歳」44.4%、父子世帯は「50歳以上」47.5%の割合が最も高くなっている。

図表1 世帯（単数回答）



※本報告書において、本項目を分析の柱としている集計では、「どちらとはいえない」と「不明」を合計している。

図表2 回答者の年齢（単数回答）



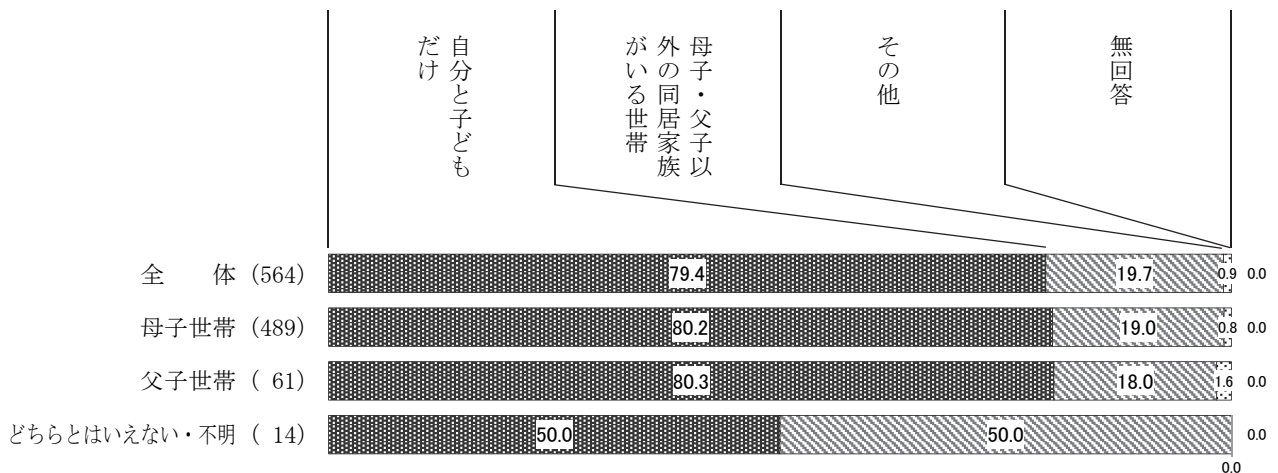
## (2) 世帯構成

問2 一緒に住んでいる家族について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

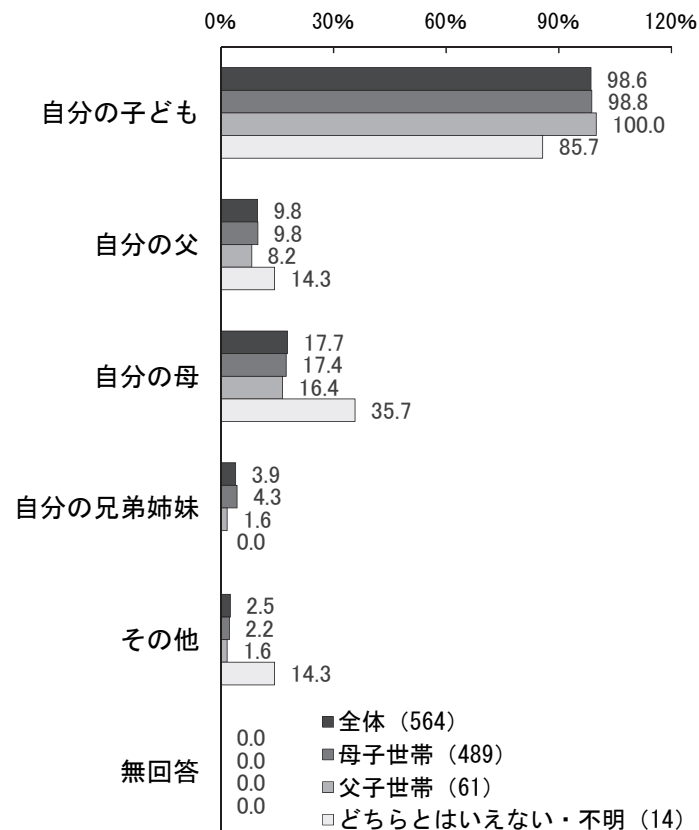
世帯構成は、全体をみると母子世帯、父子世帯ともに「自分と子どもだけ」で暮らしている割合が8割を占めている。「母子・父子以外の同居家族がいる世帯」は、母子世帯では19.0%、父子世帯では18.0%である。

自分の子ども以外の同居家族は、「自分の母」「自分の父」の割合が高くなっている。

図表3 世帯構成（単数回答）



図表4 同居している家族（複数回答）



### (3) 一緒に暮らしている子どもの状況

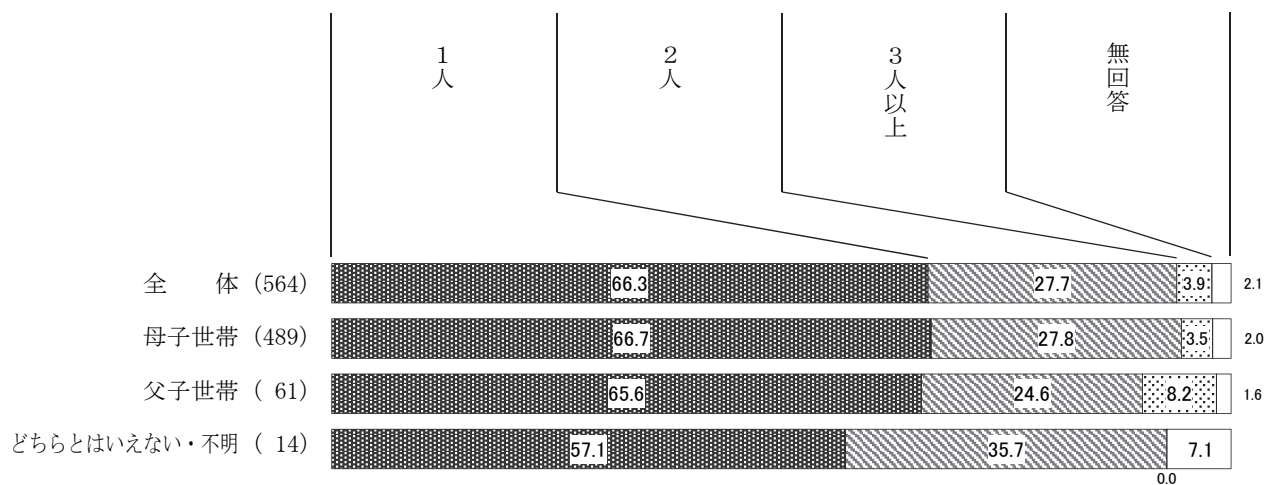
問3 一緒に住んでいる20歳未満のお子さんの年齢と就学・就労状況（あてはまる番号1つに○）をご記入ください。

※「その他」には、専門学校生、短大生、大学生、就労等とご記入ください。

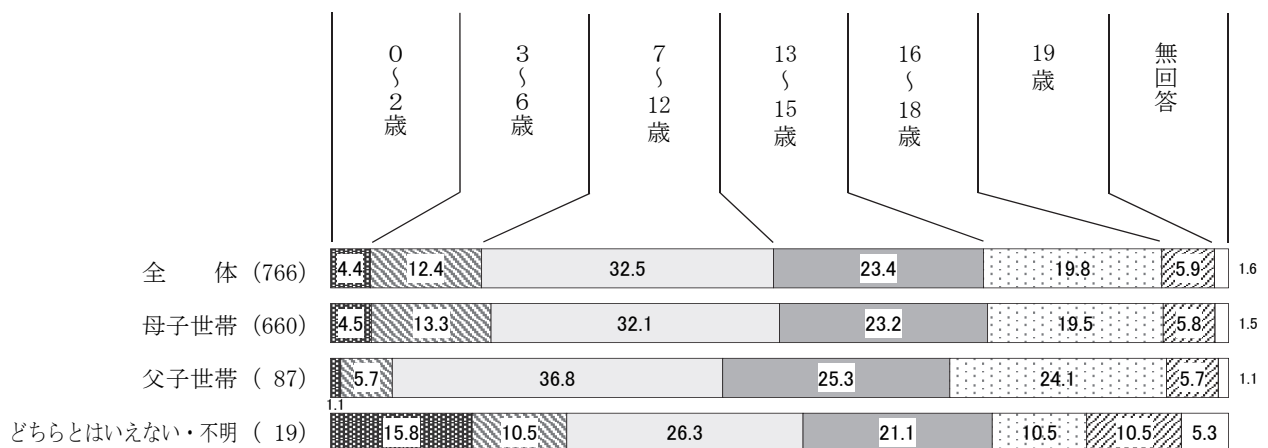
同居している20歳未満の子どもの人数は、全体をみると「1人」が66.3%で最も高い。「3人以上」は、全体、母子世帯、父子世帯ともに1割を下回っている。

同居している20歳未満の子ども766人の年齢は、全体、母子世帯、父子世帯のいずれにおいても「7～12歳」が3割台で最も高くなっている。6歳以下の子どもの割合は全体や母子世帯では1割台、父子世帯では6.8%である。

図表5 子どもの人数（単数回答）



図表6 子どもの年齢（単数回答）

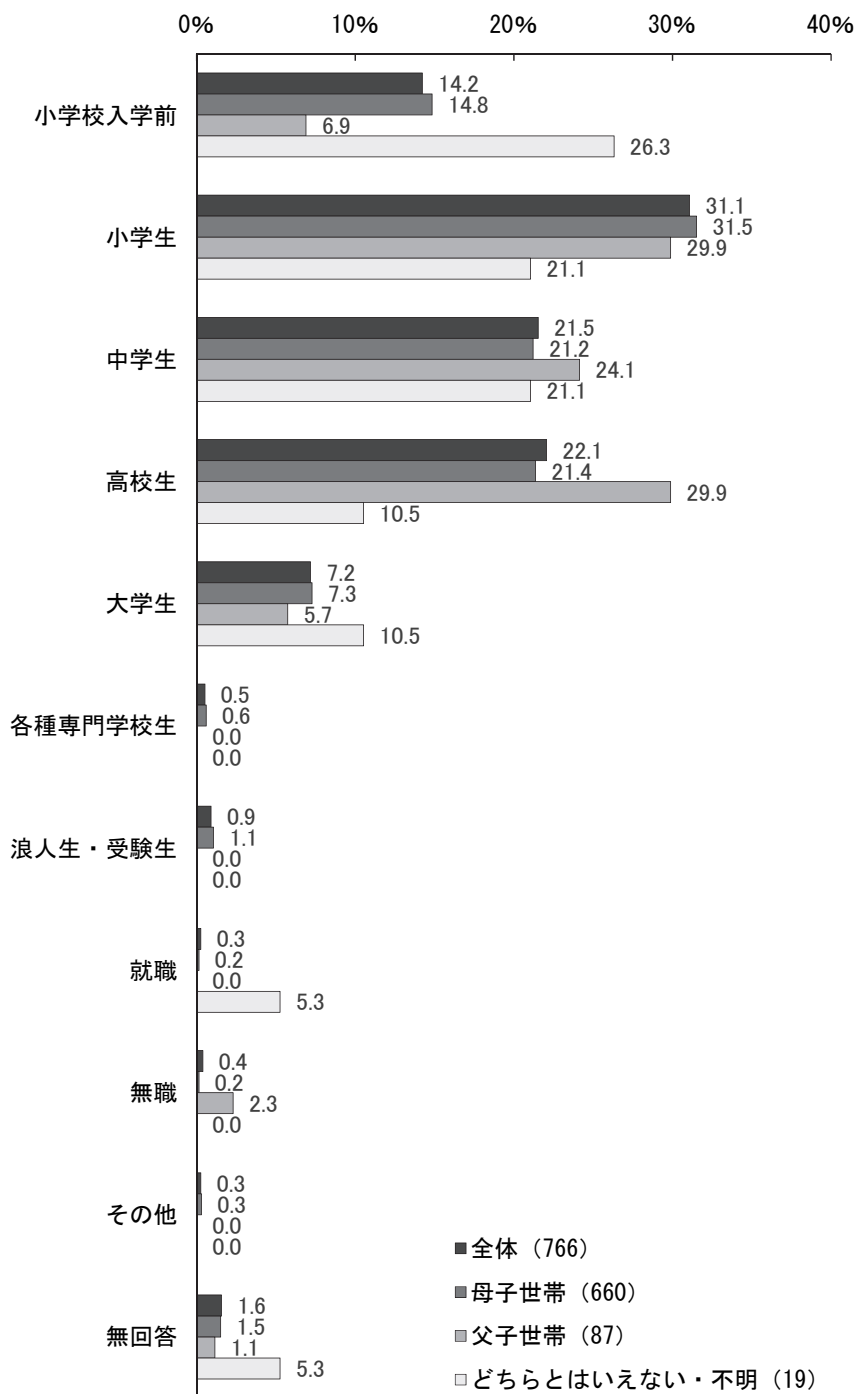


※記載された子どもの総数766人の集計である。

同居している20歳未満の子ども766人の就学・就業状況は、全体をみると「小学生」31.1%、「高校生」22.1%、「中学生」21.5%、「小学校入学前」14.2%の順に高くなっている。

世帯別にみると、母子世帯は父子世帯に比べて「小学校入学前」の割合が高く、父子世帯は母子世帯に比べて「中学生」「高校生」の割合が高い状況にある。

図表7 子どもの就学・就業状況（単数回答）



※記載された子どもの総数 766 人の集計である。

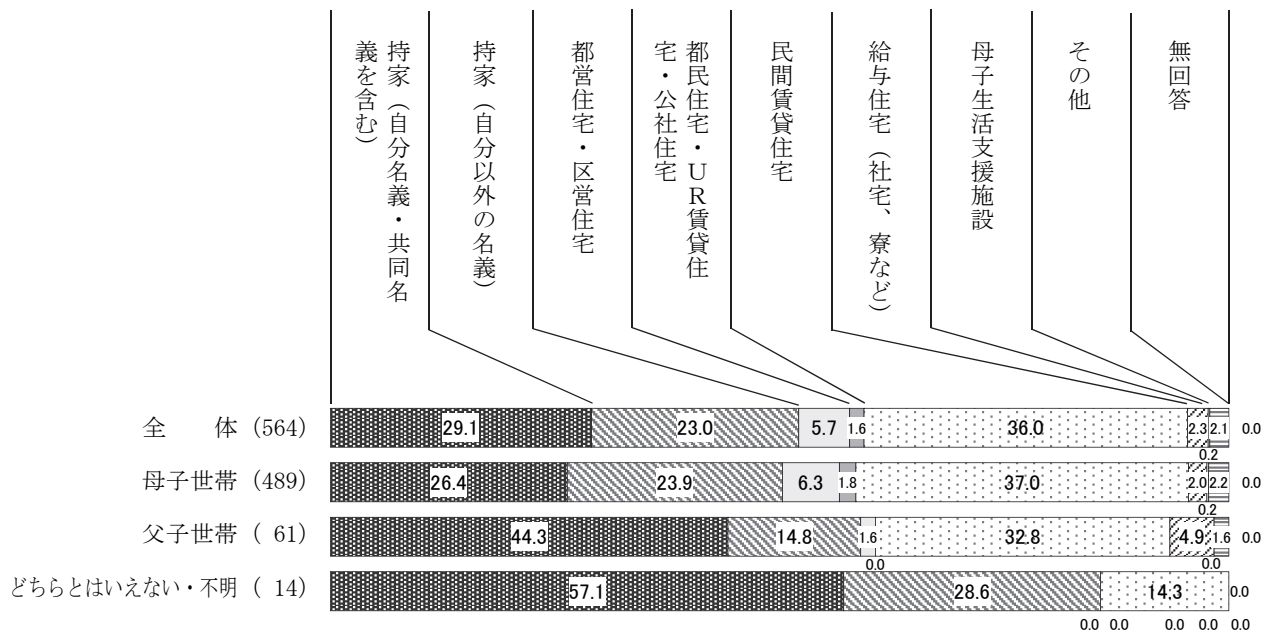
#### (4) 住宅の種類

問4 あなたの今の家について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

住宅の種類は、全体をみると「民間賃貸住宅」36.0%の割合が最も高く、次いで「持家（自分名義・共同名義を含む）」29.1%、「持家（自分以外の名義）」23.0%の順に高くなっている。『持家』（「持家（自分名義・共同名義を含む）」＋「持家（自分以外の名義）」、以下同様）の割合は5割を超えている。

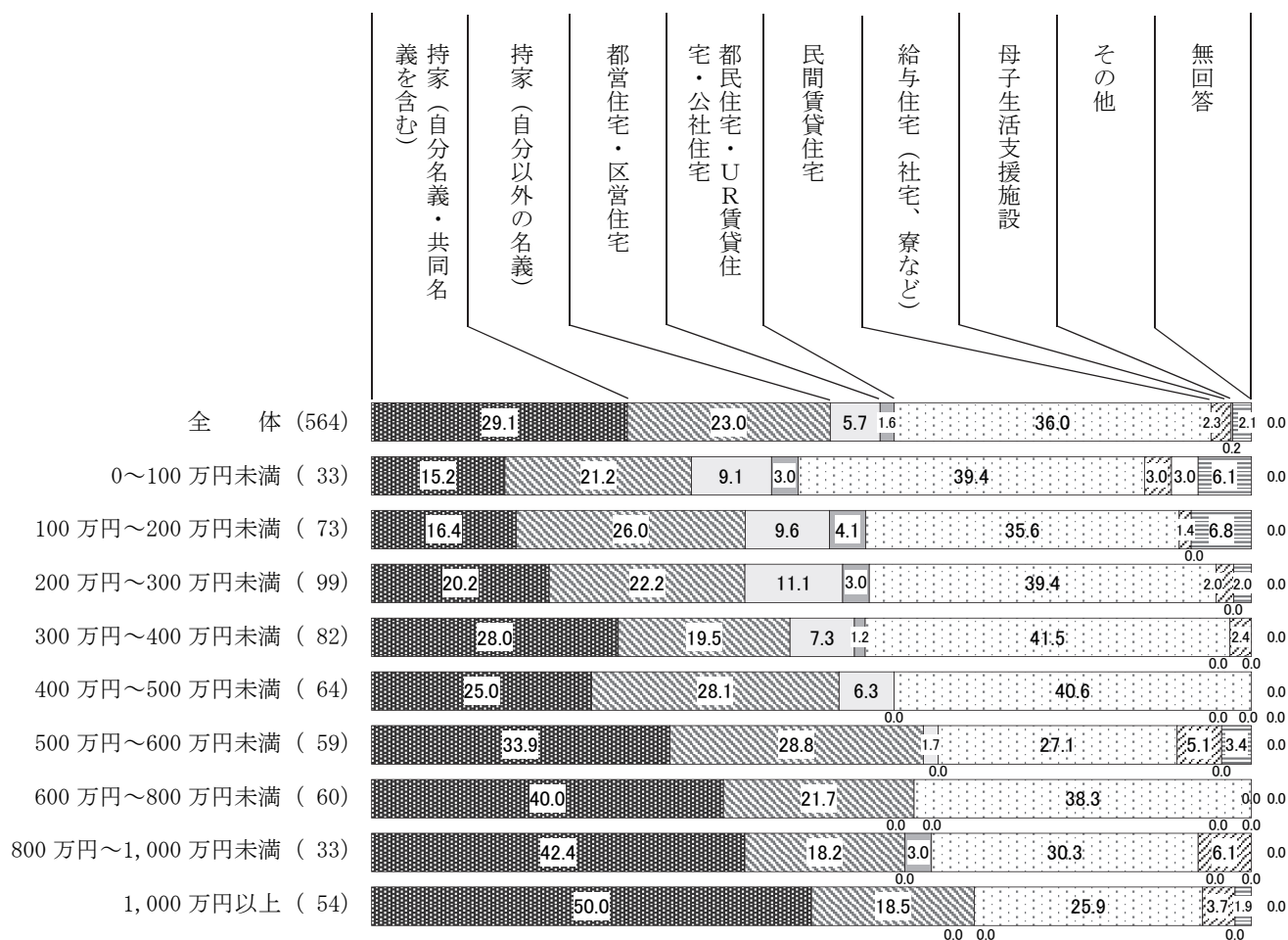
世帯別にみると、母子世帯は「民間賃貸住宅」、父子世帯は「持家（自分名義・共同名義を含む）」の割合が最も高く、『持家』の割合は母子世帯50.3%、父子世帯は59.1%である。

図表8 住宅の種類（単数回答）



世帯の手取り合計額別にみると、合計額が高い世帯は持家の割合が高い状況にある。  
合計額 400 万円以上の世帯では、持家の割合は 5 割を超えている。

図表 9 世帯の手取り合計額別による住宅の種類（クロス集計）



## (5) 住宅の間取り

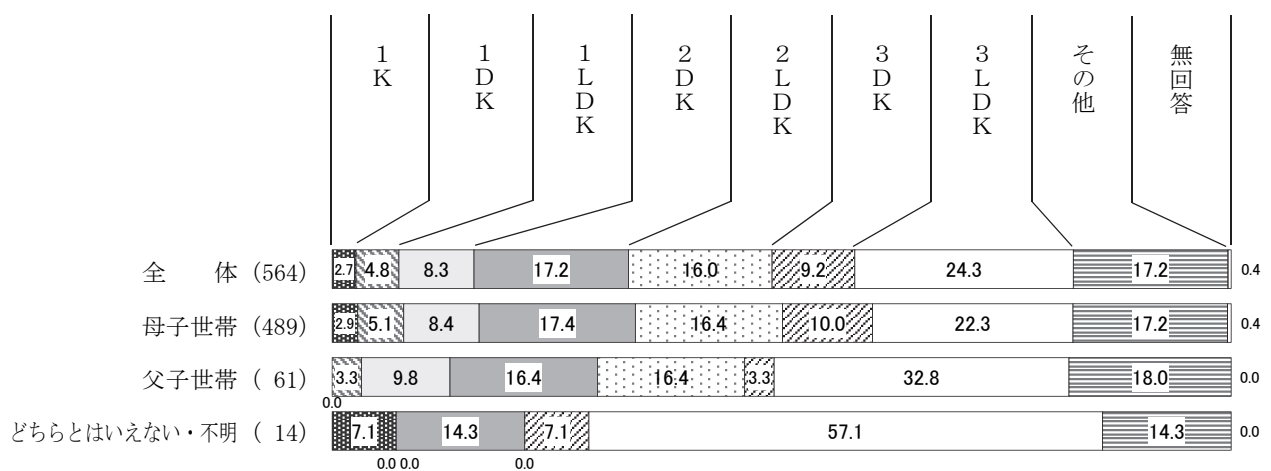
問5 家の間取りについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

※K：部屋数＋台所、DK：部屋数＋台所兼食事室、LDK：部屋数＋台所兼食事室兼居間。

住宅の間取りは、全体をみると「3LDK」24.3%の割合が最も高く、次いで「2DK」17.2%、「その他」17.2%、「2LDK」16.0%の順に高くなっている。「その他」においては、「2K」17件、「4LDK」38件、「5LDK」13件などの記載があった。

世帯別にみると、父子世帯は母子世帯に比べて「3LDK」の割合が高い。

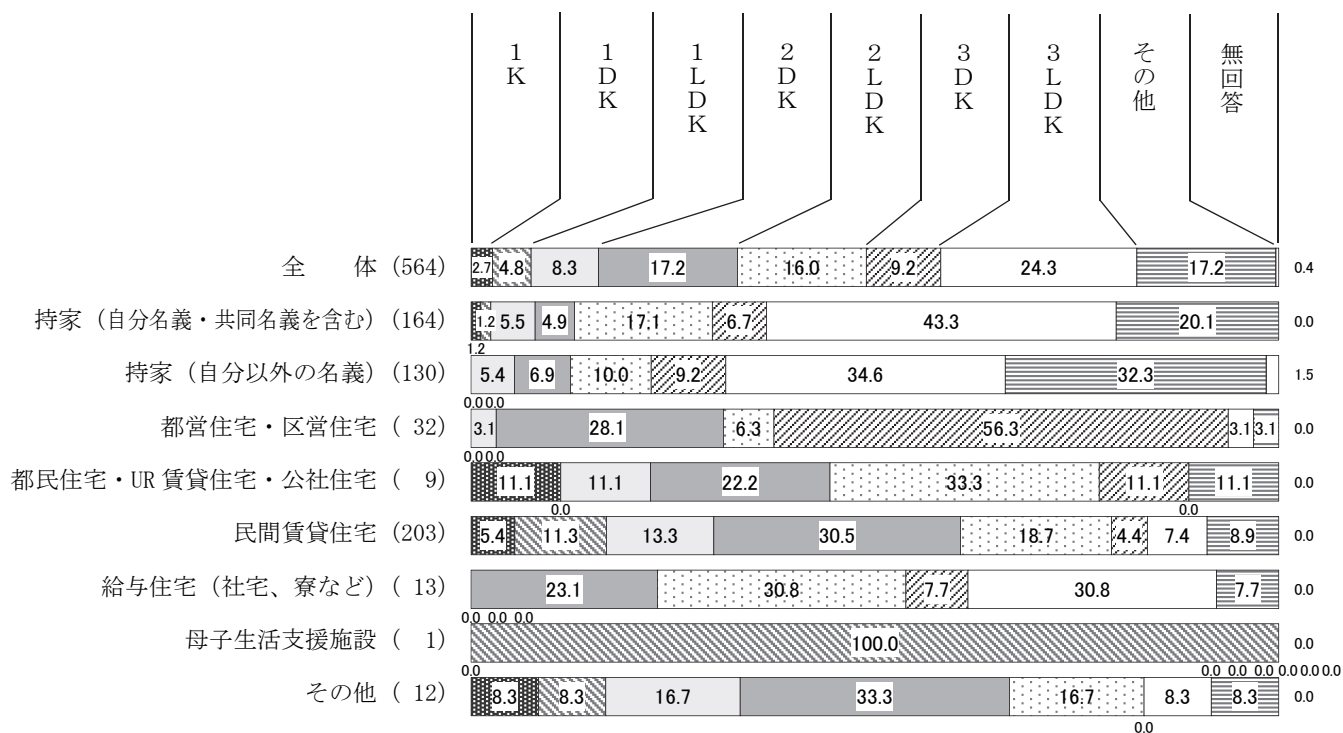
図表 10 住宅の間取り（単数回答）



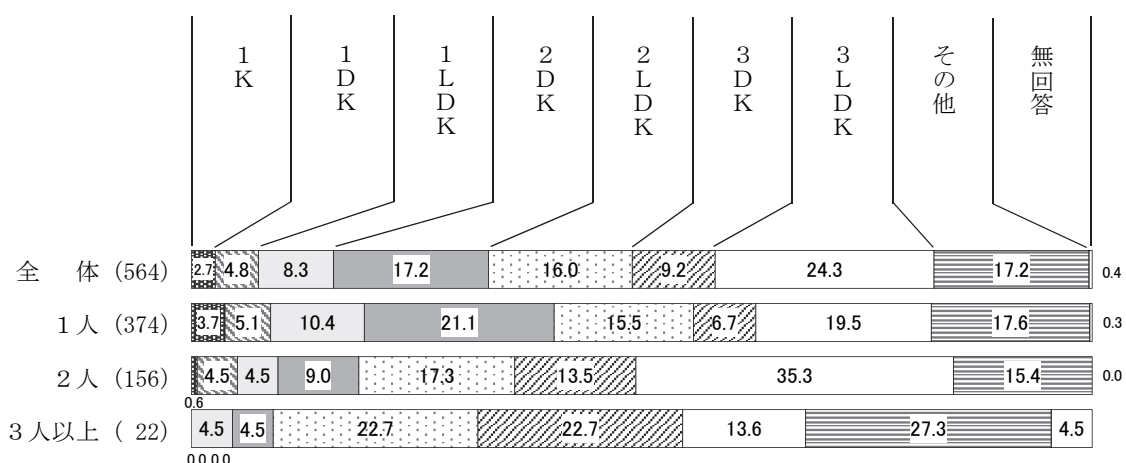
住宅の種類別にみると、持家（自分名義・共同名義を含む）、持家（自分以外の名義）では「3LDK」、民間賃貸住宅では「2DK」、都営住宅・区営住宅では「3DK」の割合が最も高くなっている。

子どもの人数別にみると、子どもが1人では「2DK」、2人では「3LDK」、3人以上では「その他」の割合が最も高くなっている。3人以上の「その他」においては、「4LDK」「5LDK」などの記載があった。

図表 11 住宅の種類別による住宅の間取り（クロス集計）



図表 12 子どもの人数別による住宅の間取り（クロス集計）



## (6) 毎月の住宅費

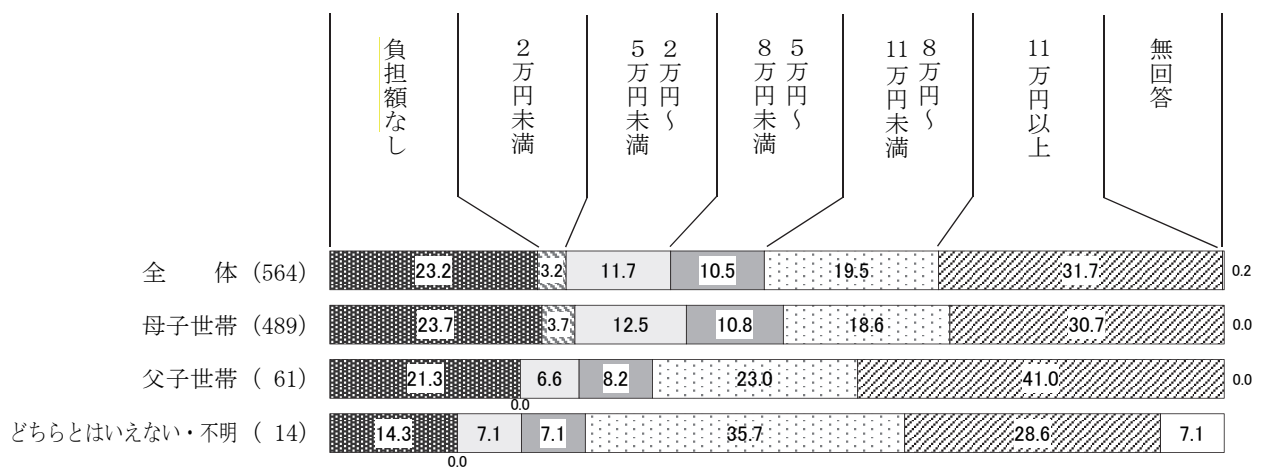
問6 この1年間における毎月の家賃や住宅ローンなどの住宅費について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

※住宅ローンのボーナス払い分は毎月の住宅費に上乗せしてください。

毎月の住宅費は、全体をみると「11万円以上」が31.7%を占め、次いで「負担額なし」23.2%、「8万円～11万円未満」19.5%の順に高くなっている。『5万円未満』（「負担額なし」＋「2万円未満」＋「2万円～5万円未満」）は全体の38.1%、5万円～11万円未満は30.0%である。

世帯別にみると、母子世帯、父子世帯ともに「11万円以上」が最も高い割合であるが、次いで高い割合は母子世帯「負担額なし」、父子世帯は「8万円～11万円未満」である。母子世帯に比べて父子世帯のほうが住宅費は高い状況にある。

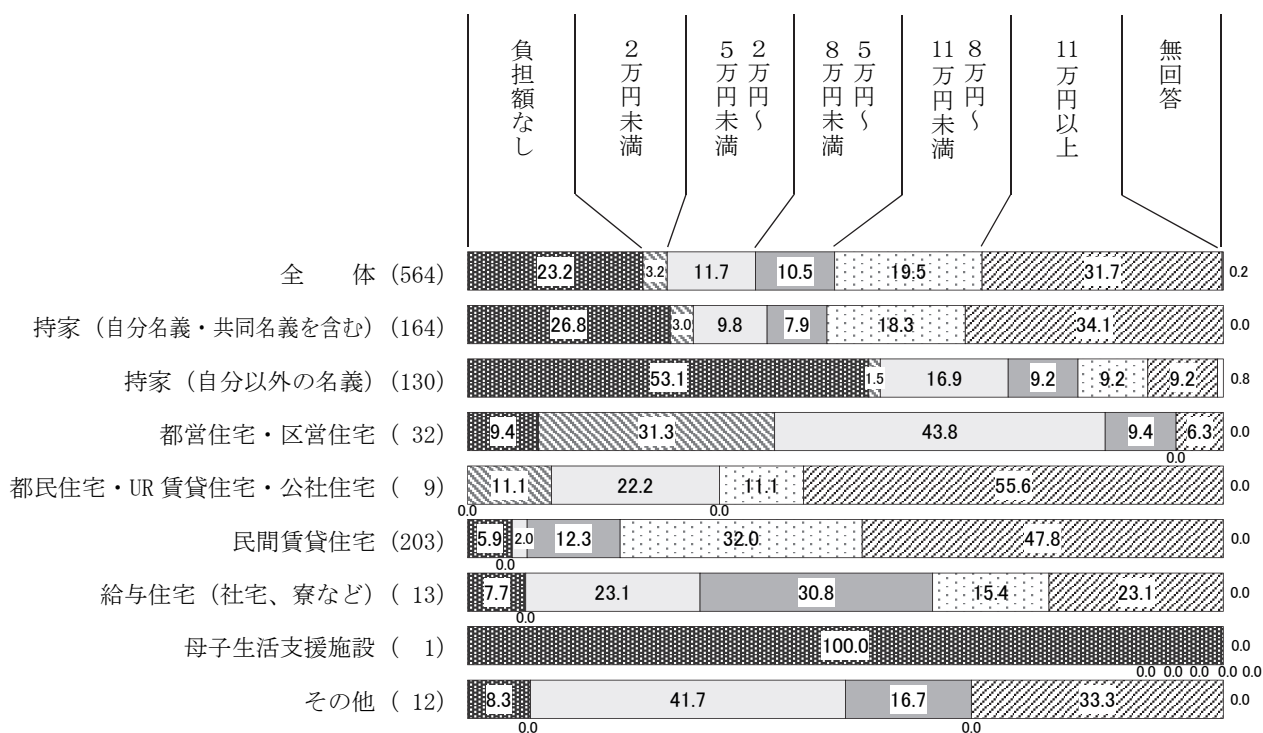
図表 13 毎月の住宅費（単数回答）



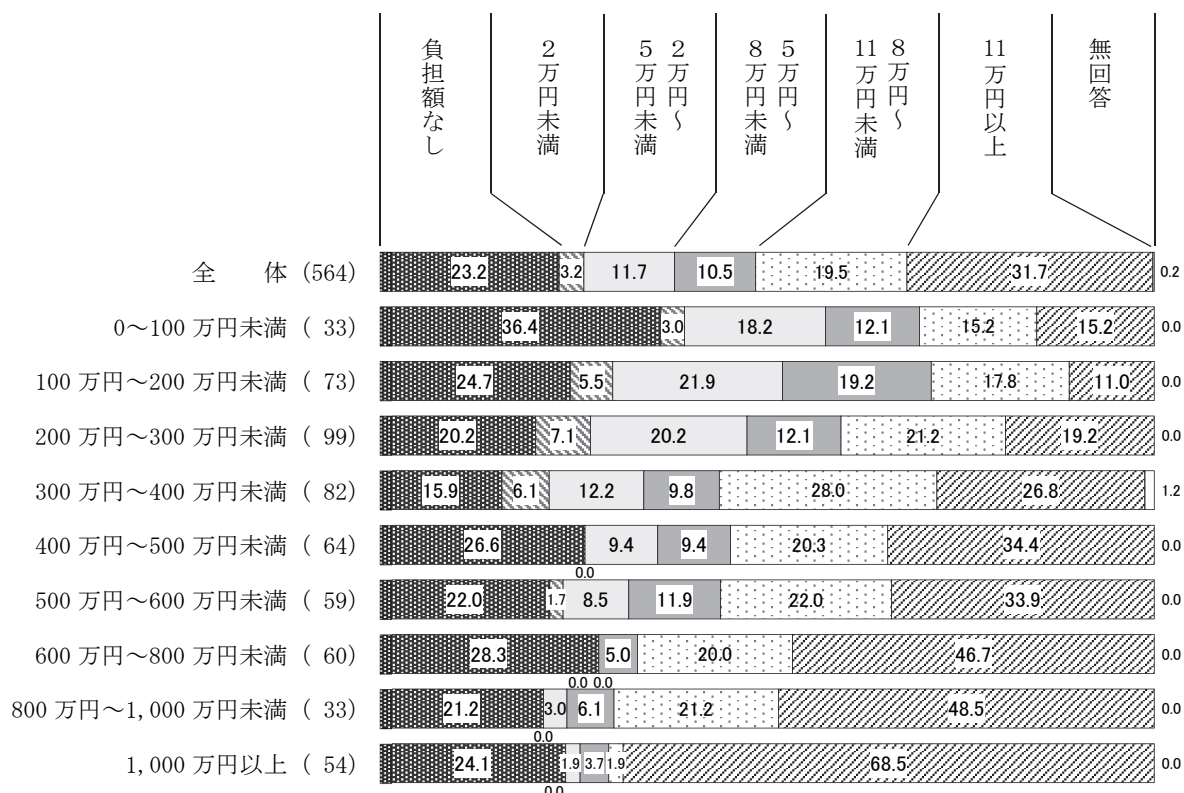
住宅の種類別にみると、持家（自分名義・共同名義を含む）、都民住宅・UR賃貸住宅・公社住宅、民間賃貸住宅では「11 万円以上」、持家（自分以外の名義）では「負担額なし」が最も高い割合になっている。

世帯の手取り合計額別にみると、合計額が高い世帯は「11 万円以上」の割合が高い状況にある。

図表 14 住宅の種類別による毎月の住宅費（クロス集計）



図表 15 世帯の手取り合計額別による毎月の住宅費（クロス集計）



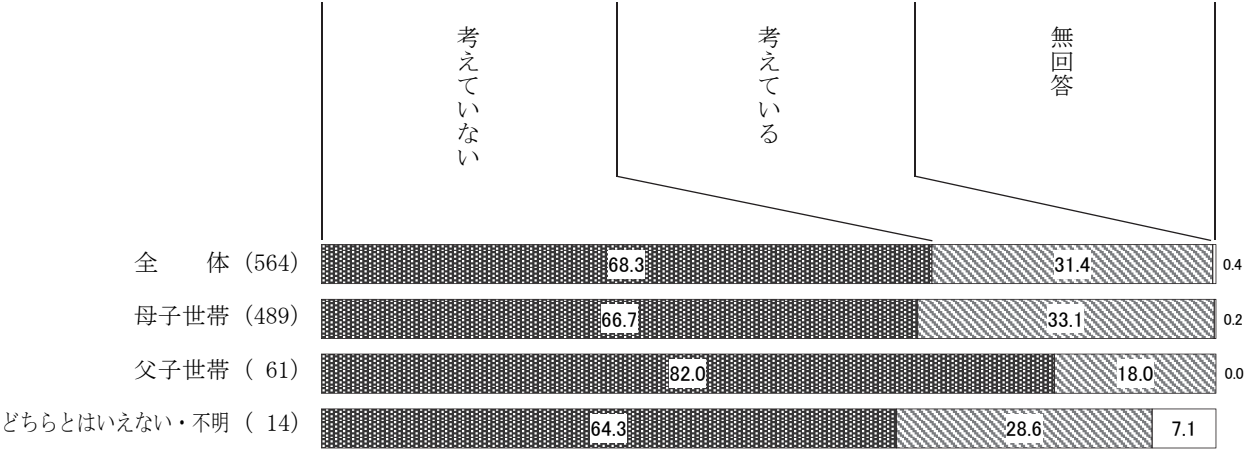
(7) 引っ越しの予定

問7 今、引っ越しを考えていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

引っ越しの予定は、全体をみると「考えていない」68.3%、「考えている」31.4%であり、「考えていない」が「考えている」を大きく上回っている。

世帯別にみると、「考えている」は母子世帯 33.1%、父子世帯 18.0%であり、父子世帯に比べて母子世帯に「考えている」割合が高くなっている。

図表 16 引っ越しの予定（単数回答）



## (8) 引っ越しの困りごと

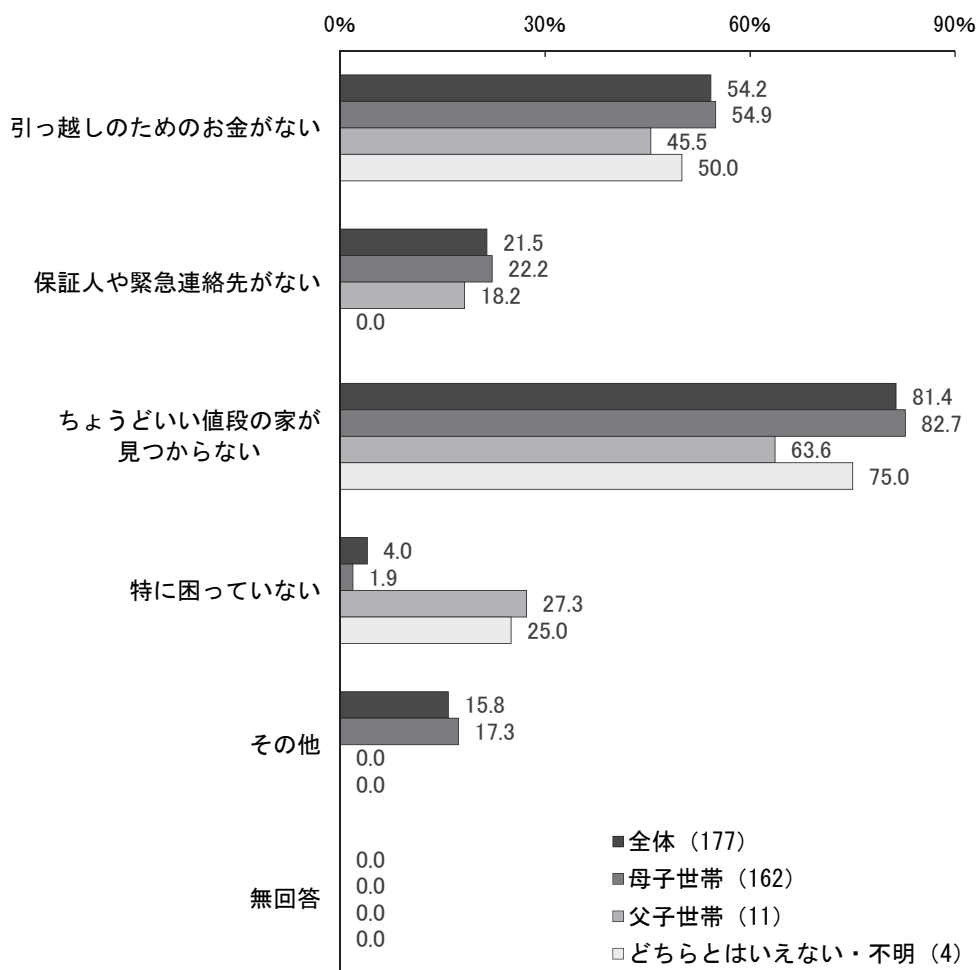
■問7で「考えている」に○をつけた方にお聞きします。

問7-1 引っ越しを考えると、困りごとがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

問7で「考えている」に○をつけた方に引っ越しの困りごとをたずねたところ、全体をみると「ちょうどいい値段の家が見つからない」81.4%が最も高く、次いで「引っ越しのためのお金がない」54.2%の順に高くなっている。「保証人や緊急連絡先がない」は21.5%であり、引っ越しを考えている人の5人に1人が感じている困りごととなっている。

世帯別にみると、母子世帯と父子世帯で大きな違いがあるのは「特に困っていない」であり、母子世帯に比べて父子世帯は「特に困っていない」割合が高くなっている。また、「ちょうどいい値段の家が見つからない」は母子世帯82.7%、父子世帯63.6%であり、母子世帯が父子世帯を19.1ポイント上回っている。

図表 17 引っ越しの困りごと（複数回答）



## (9) ひとり親になってからの年数

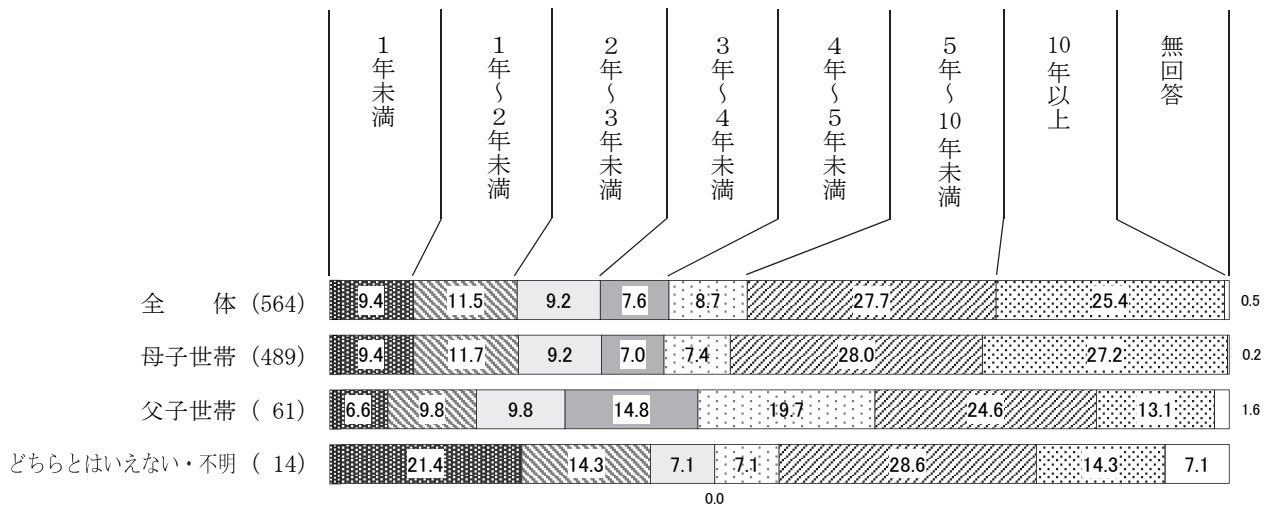
問8 あなたがひとり親になってから何年たちましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※複数回、ひとり親となった経験のある方は、直近の状況について、教えてください。

ひとり親になってからの年数は、全体をみると「5年～10年未満」27.7%が最も高く、次いで「10年以上」25.4%が続いている。これらを合わせた5年以上が5割を超えている。

世帯別にみると、母子世帯、父子世帯ともに最も高い割合は「5年～10年未満」である。次いで高い割合であるのは、母子世帯は「10年以上」、父子世帯は「4年～5年未満」となっている。ひとり親になってからの年数が5年以上は母子世帯55.2%、父子世帯37.7%である。

図表 18 ひとり親になってからの年数（単数回答）



## (10) ひとり親になった理由

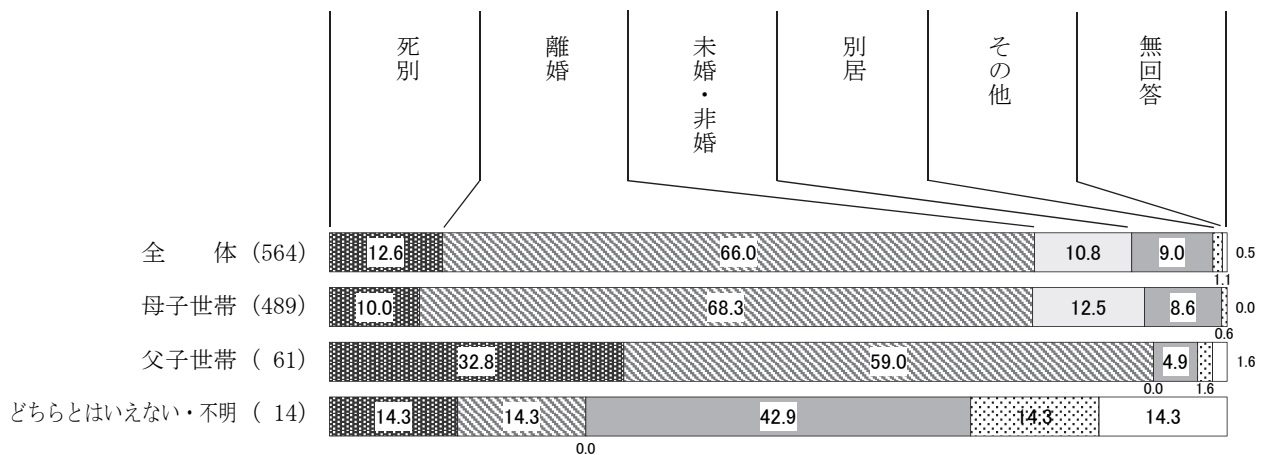
問9 ひとり親になった理由について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

ひとり親になった理由は、全体をみると「離婚」が66.0%を占めて最も高い。次いで「死別」12.6%、「未婚・非婚」10.8%の順に高くなっている。

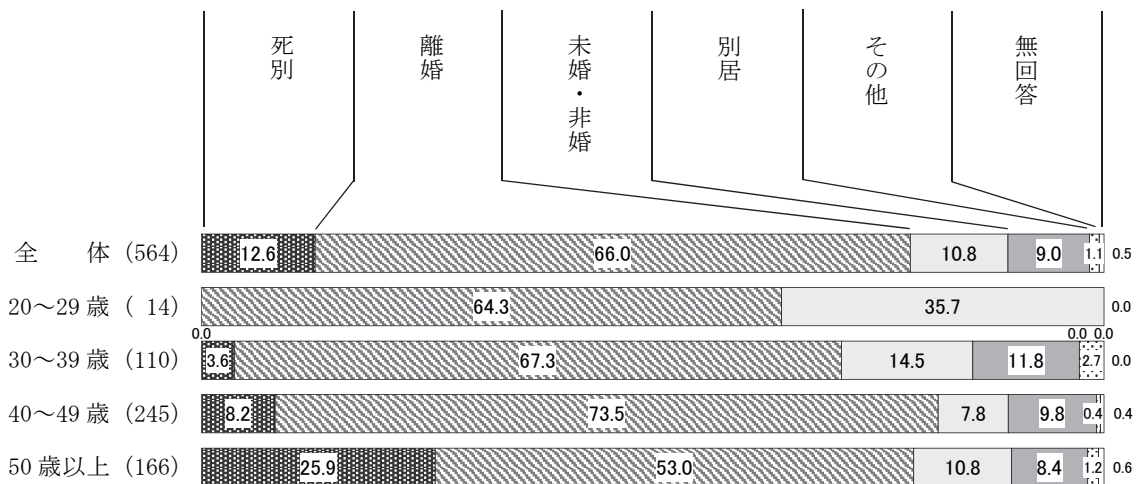
世帯別にみると、父子世帯は母子世帯に比べて「死別」の割合が32.8%と高く、約3人に1人が「死別」を理由にあげている。また、父子世帯の「未婚・非婚」は0.0%である。

回答者の年齢区分別にみると、全ての年齢で最も高い割合は「離婚」である。20～29歳は「未婚・非婚」の割合が他の年齢に比べて高く、「死別」は年齢があがるに従い割合が高くなり50歳以上では2割台となる。

図表 19 ひとり親になった理由（単数回答）



図表 20 年齢区分別によるひとり親になった理由（クロス集計）



※「20歳未満」の回答者はいないため、掲載を省略している。

## 2 養育費について

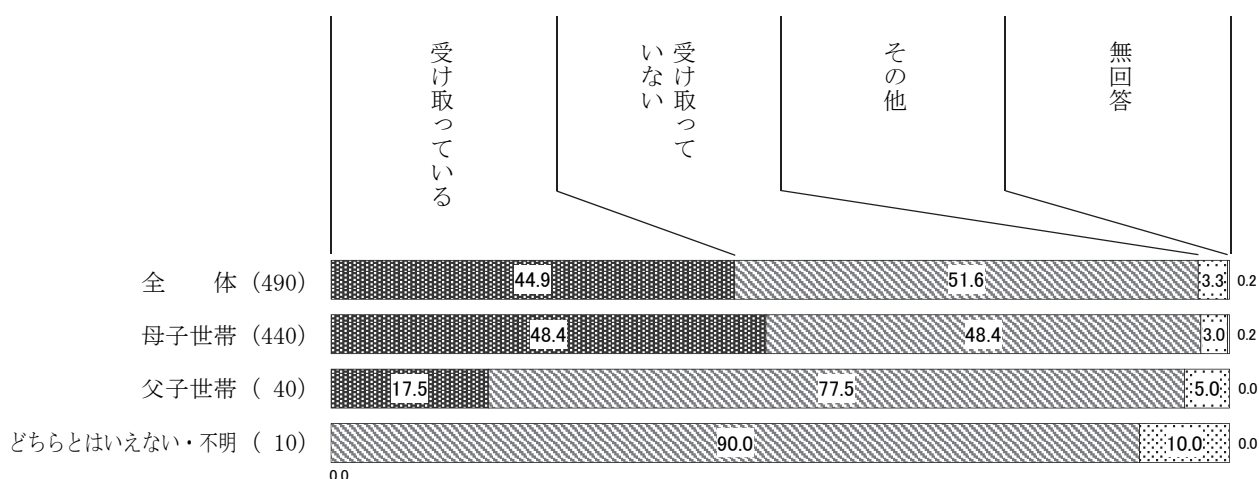
### (1) 養育費の受け取り状況

■問9で「離婚」「未婚・非婚」「別居」「その他」に○をつけた方にお聞きします。  
 問9-1 養育費を受け取っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

問9で「離婚」「未婚・非婚」「別居」「その他」に○をつけた方に養育費の受け取り状況をたずねたところ、全体をみると「受け取っている」44.9%、「受け取っていない」51.6%であり、「受け取っていない」が「受け取っている」を6.7ポイント上回っている。

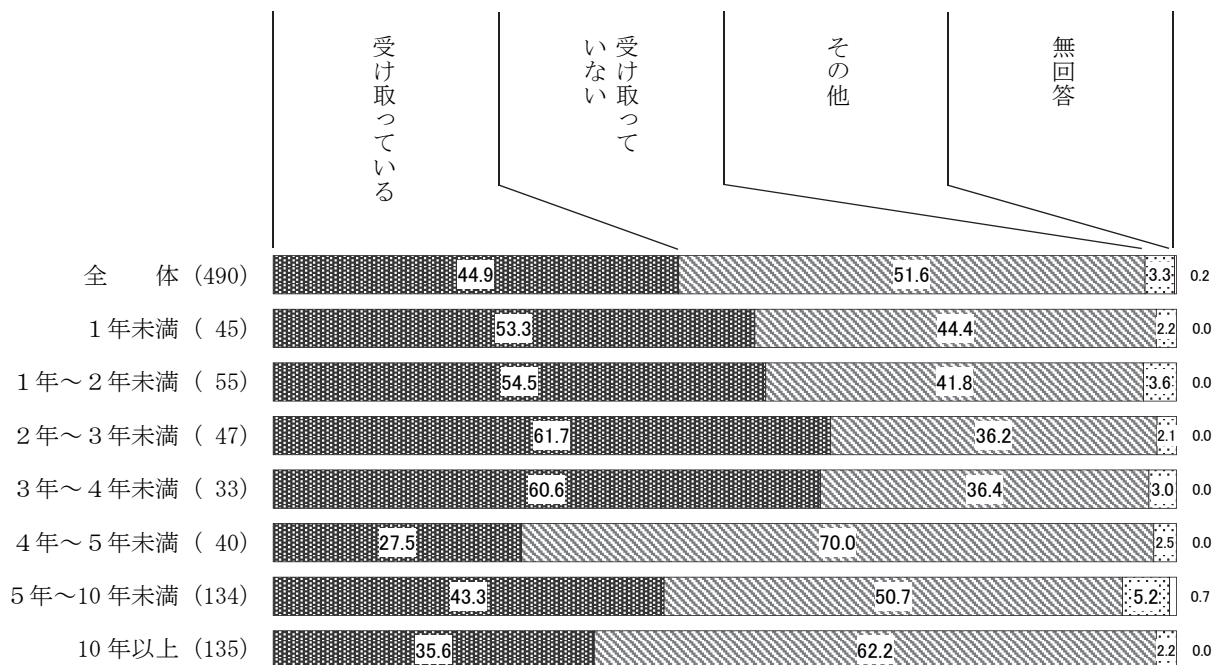
世帯別にみると、母子世帯は「受け取っている」「受け取っていない」とともに48.4%で同じ割合である。父子世帯は「受け取っていない」が77.5%を占め、「受け取っている」17.5%を大きく上回っている。

図表 21 養育費の受け取り状況（単数回答）



ひとり親期間別にみると、ひとり親期間が4年未満の場合は「受け取っている」割合が5割を超え、「受け取っていない」割合を上回っている。4年以上になると、「受け取っていない」割合が5割を超え、「受け取っている」を上回っている。

図表 22 ひとり親期間別による養育費の受け取り状況（クロス集計）



## (2) 養育費の取り決めの方法

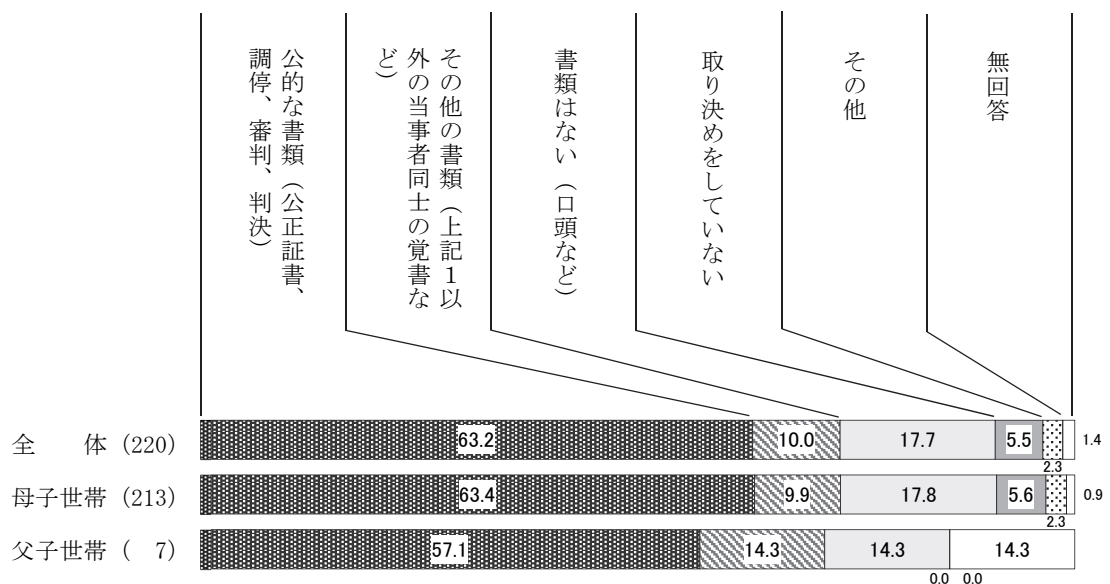
■問9-1で「受け取っている」に○をつけた方にお聞きします。

問9-2 養育費の取り決めについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

問9-1で「受け取っている」に○をつけた方に養育費の取り決めの方法をたずねたところ、全体をみると「公的な書類（公正証書、調停、審判、判決）」が63.2%を占めて最も高く、次いで「書類はない（口頭など）」17.7%、「その他の書類（上記1以外の当事者同士の覚書など）」10.0%の順に高くなっている。「取り決めをしていない」は5.5%である。「その他」においては、「調停中」「相手方が誠意として持参」「LINEにて取り決め」などの記載があった。

世帯別にみると、母子世帯は全体と大きな違いがない結果となっている。父子世帯は回答数が1桁のため参考にとどめるが、「公的な書類（公正証書、調停、審判、判決）」は57.1%と母子世帯に比べると低い割合である。

図表 23 養育費の取り決めの方法（単数回答）



※「どちらともいえない・不明」の回答者はいないため、掲載を省略している。

### (3) 養育費の年額

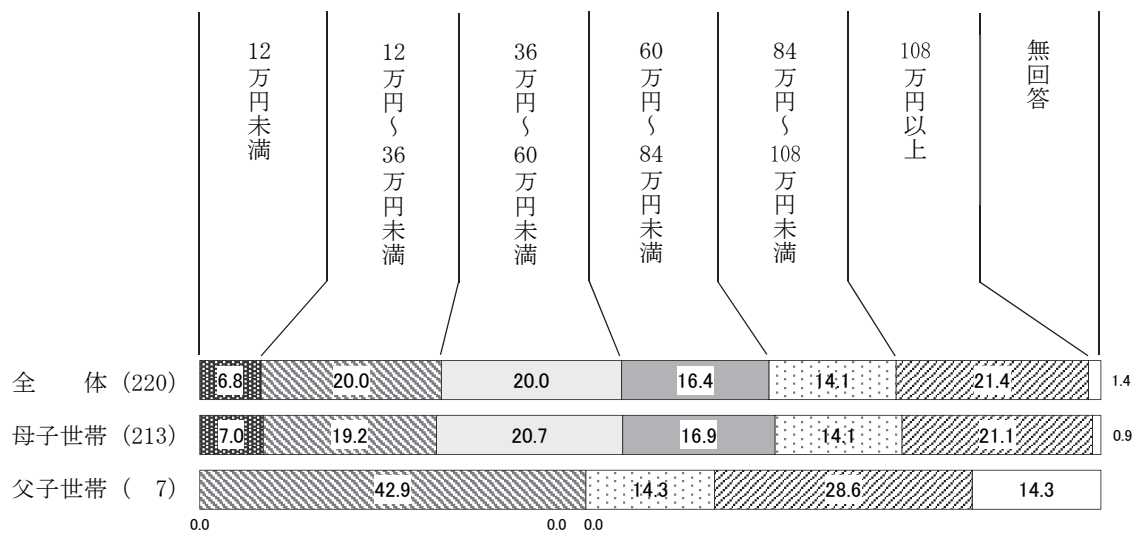
■問9-1で「受け取っている」に○をつけた方にお聞きします。

問9-3 この1年間に受け取った養育費の合計額はいくらですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

問9-1で「受け取っている」に○をつけた方に養育費の年額をたずねたところ、全体をみると「108万円以上」21.4%、「12万円～36万円未満」「36万円～60万円未満」がどちらも20.0%で続いている。

世帯別にみると、母子世帯は全体と大きな違いがない結果となっている。父子世帯は回答数が1桁のため参考にとどめるが、「12万円～36万円未満」が最も高い42.9%となっている。

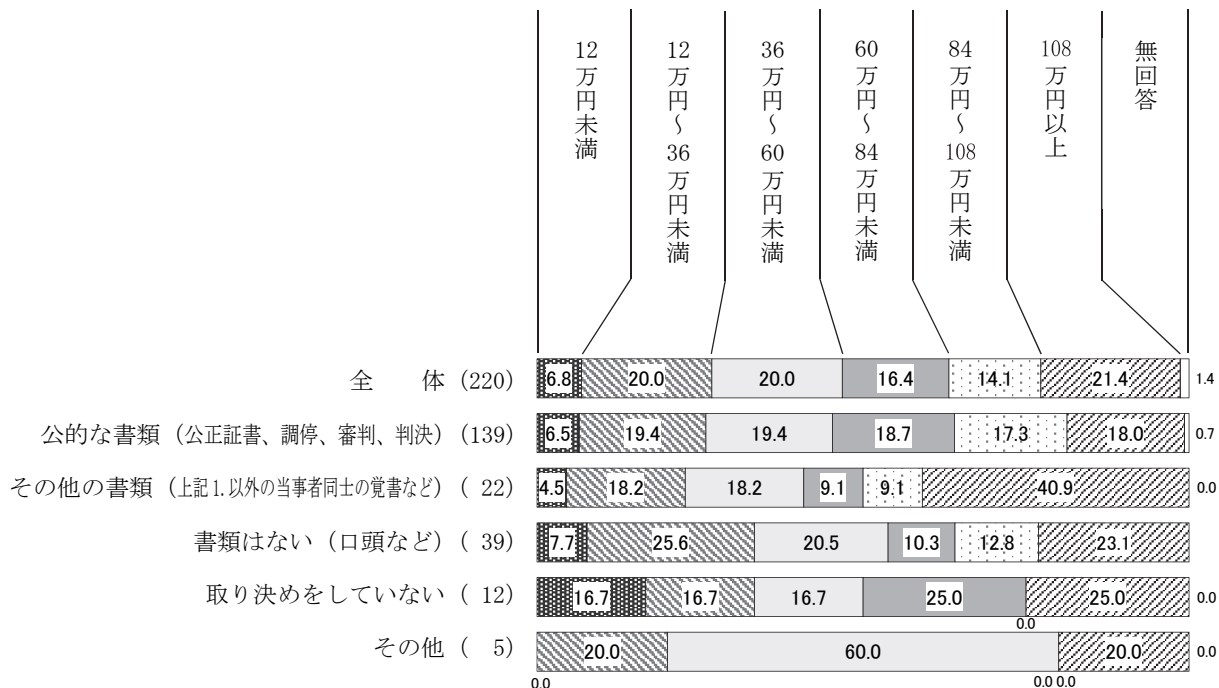
図表 24 養育費の年額（単数回答）



※「どちらともいえない・不明」の回答者はいないため、掲載を省略している。

養育費の取り決めの方法別にみると、公的な書類（公正証書、調停、審判、判決）は全体と大きな違いがない結果となっている。書類はない（口頭など）、取り決めているは他に比べて「12 万円未満」の割合が高い。

図表 25 養育費の取り決めの方法別による養育費の年額（クロス集計）



#### (4) 養育費を受け取っていない理由

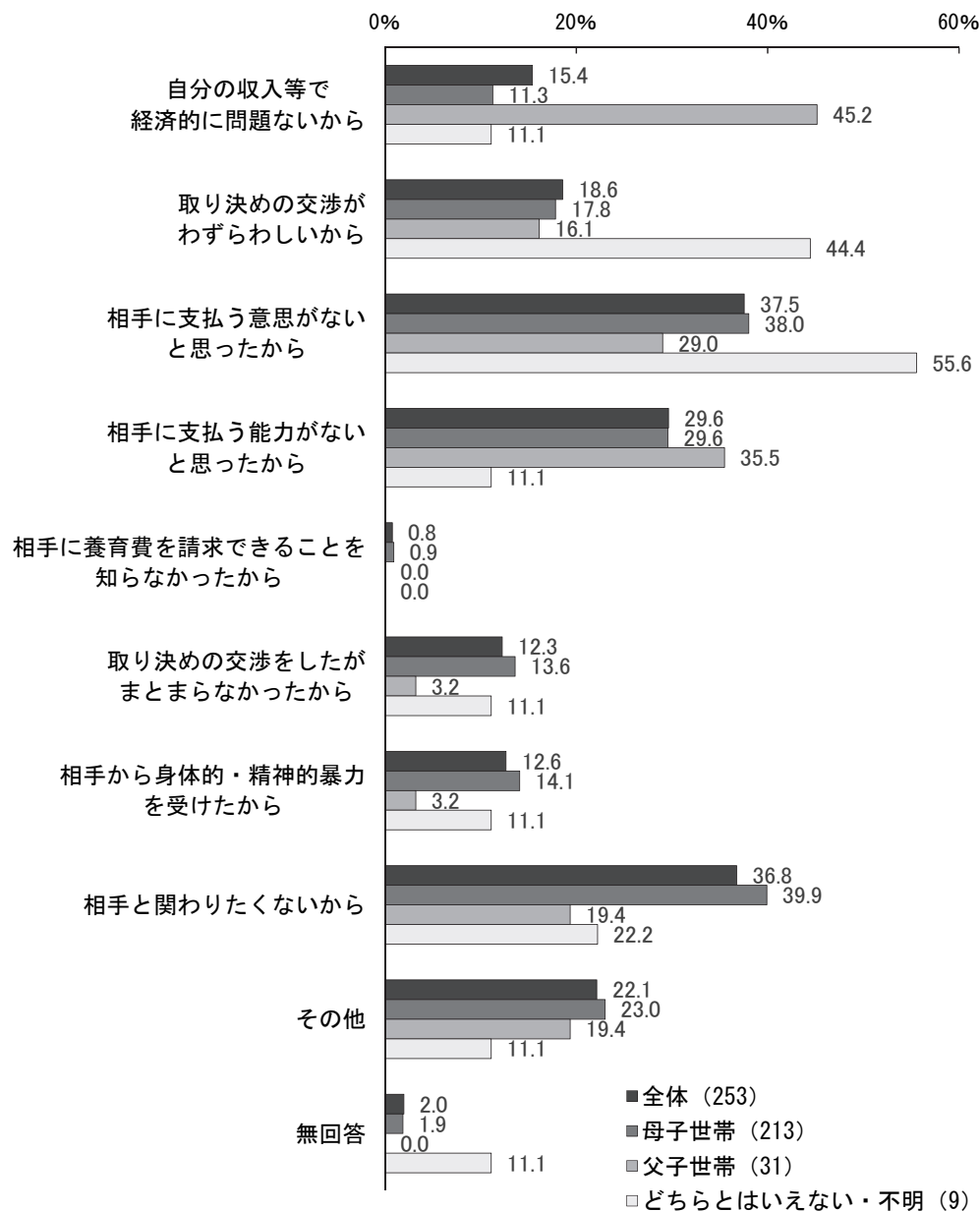
■問9-1で「受け取っていない」に○をつけた方にお聞きします。

問9-4 養育費を受け取っていない理由として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

問9-1で「受け取っていない」に○をつけた方に養育費を受け取っていない理由をたずねたところ、全体をみると「相手に支払う意思がないと思ったから」37.5%、「相手と関わりたくないから」36.8%、「相手に支払う能力がないと思ったから」29.6%が上位となっている。「その他」においては、「協議中」「支払いがない」「連絡がとれない」などの記載があった。

世帯別に最も高い割合をみると、母子世帯では「相手と関わりたくないから」、父子世帯では「自分の収入等で経済的に問題ないから」となっている。

図表 26 養育費を受け取っていない理由（複数回答）



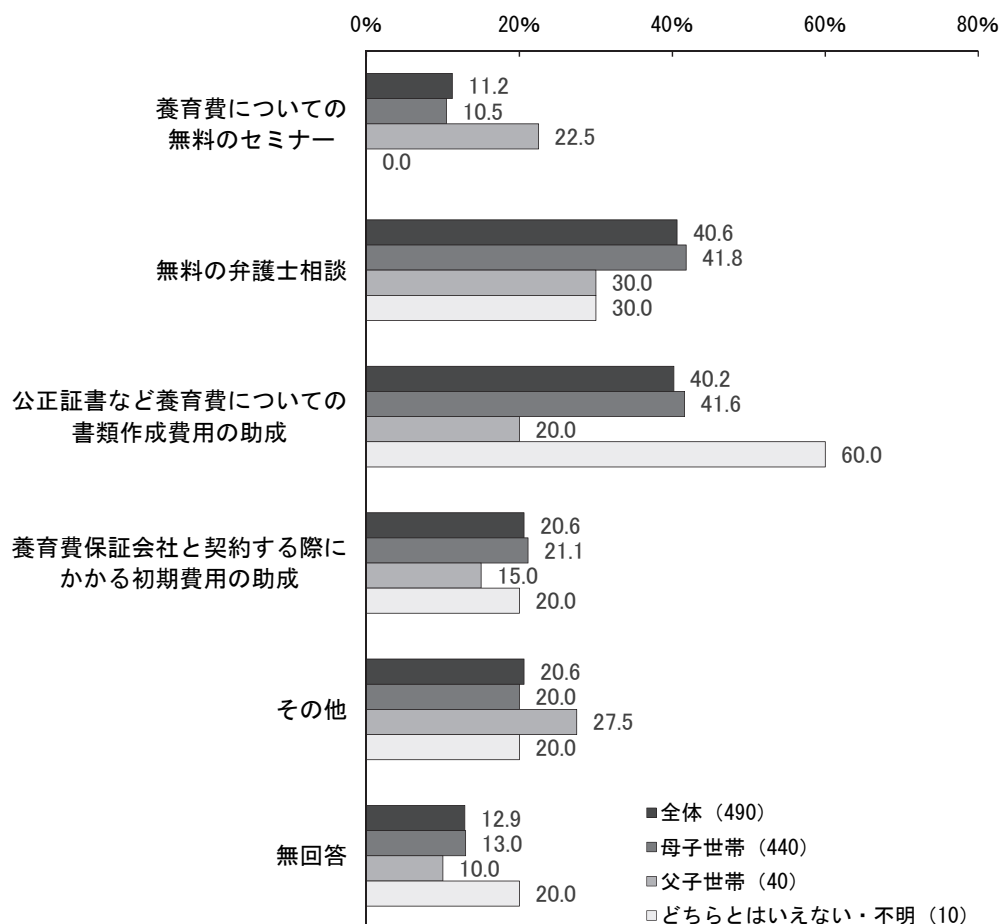
## (5) 養育費を受け取るために必要な支援

■問9で「離婚」「未婚・非婚」「別居」「その他」に○をつけた方にお聞きします。  
 問9-5 養育費を受け取るために、どのような支援があれば利用したいですか。  
 特に必要と思うもの（2つまで）に○をつけてください。

問9で「離婚」「未婚・非婚」「別居」「その他」に○をつけた方に養育費を受け取るために必要な支援をたずねたところ、全体をみると「無料の弁護士相談」40.6%、「公正証書など養育費についての書類作成費用の助成」40.2%が4割を超えて高くなっている。「その他」においては、「支払を徹底するための支援」「特にない・必要ない」などの記載があった。

世帯別に第1位から第3位をみると、母子世帯では「無料の弁護士相談」「公正証書など養育費についての書類作成費用の助成」「養育費保証会社と契約する際にかかる初期費用の助成」、父子世帯は「無料の弁護士相談」「その他」「養育費についての無料のセミナー」となっている。

図表 27 養育費を受け取るために必要な支援（複数回答）



### 3 親子交流（面会）について

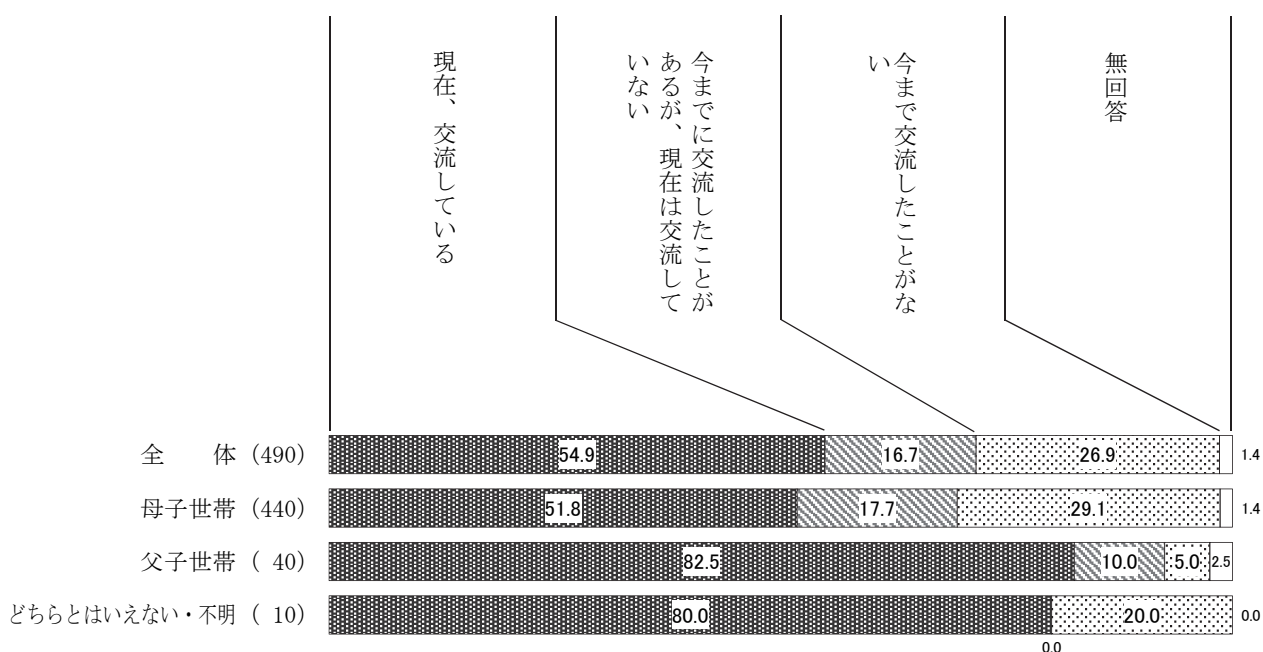
#### （１）親子交流（面会）の実施状況

■問9で「離婚」「未婚・非婚」「別居」「その他」に○をつけた方にお聞きします。  
 問9－6 お子さんとお子さんの親（相手方）との親子交流（面会）の状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

親子交流（面会）の実施状況は、全体をみると「現在、交流している」54.9%が最も高く、次いで「今まで交流したことがない」26.9%、「今までに交流したことがあるが、現在は交流していない」16.7%の順に高くなっている。

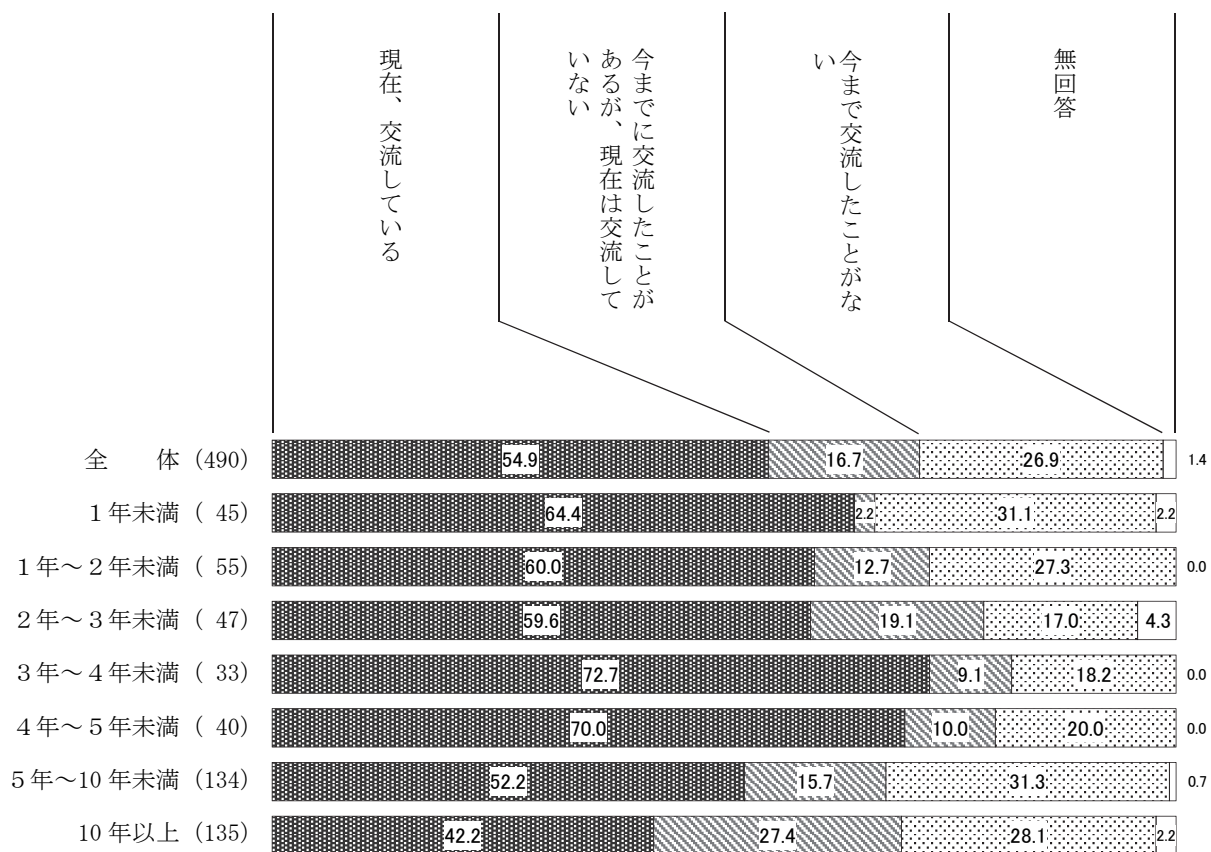
世帯別にみると、「現在、交流している」は母子世帯に比べて父子世帯の割合が高い。

図表 28 親子交流（面会）の実施状況（単数回答）



ひとり親期間別にみると、ひとり親期間が5年以上になると「現在、交流している」割合が全体に比べて低くなり、ひとり親期間が10年以上では「今までに交流したことがあるが、現在は交流していない」割合が高くなる状況にある。

図表 29 ひとり親期間別による親子交流（面会）の実施状況（クロス集計）



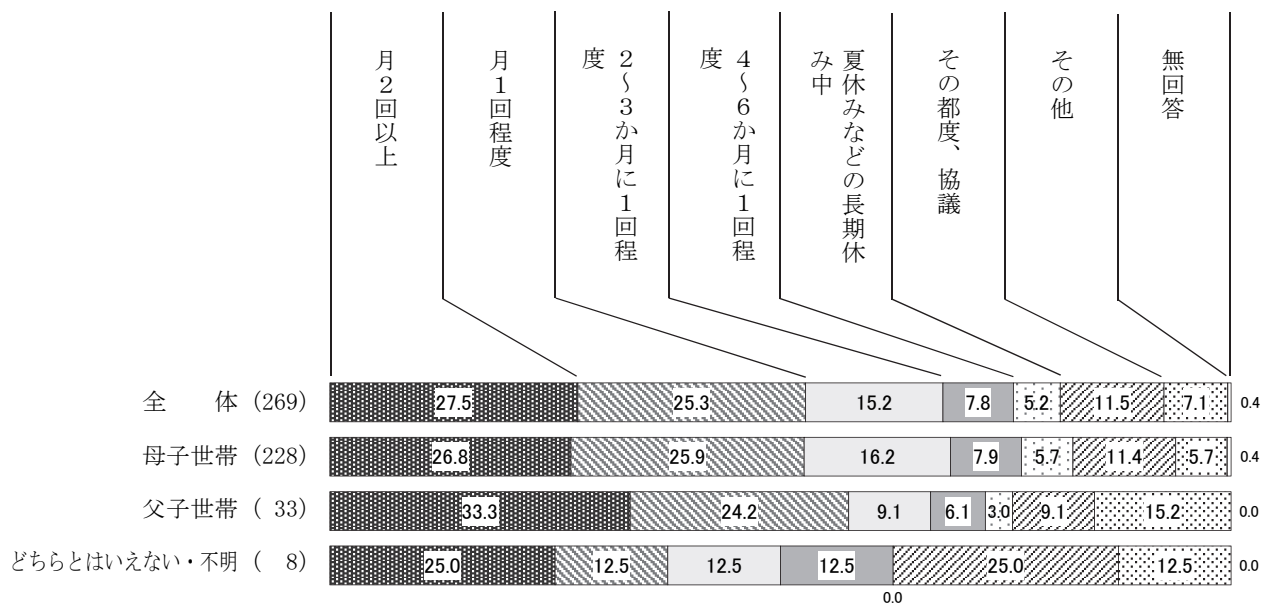
## (2) 親子交流（面会）の頻度

■問9－6で「現在、交流している」に○をつけた方にお聞きします。  
 問9－7 親子交流（面会）の頻度のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。

問9－6で「現在、交流している」に○をつけた方に親子交流（面会）の頻度をたずねたところ、全体をみると「月2回以上」27.5%、「月1回程度」25.3%であり、毎月1回以上交流をしている割合が5割を超えている。「その他」においては、「年に1度」や「2年に1度」程度の頻回ではない状況の記載があった。

世帯別にみると、母子世帯に比べて父子世帯において「月2回以上」の割合が高くなっている。

図表 30 親子交流（面会）の頻度（単数回答）



### (3) 親子交流（面会）をしていない理由

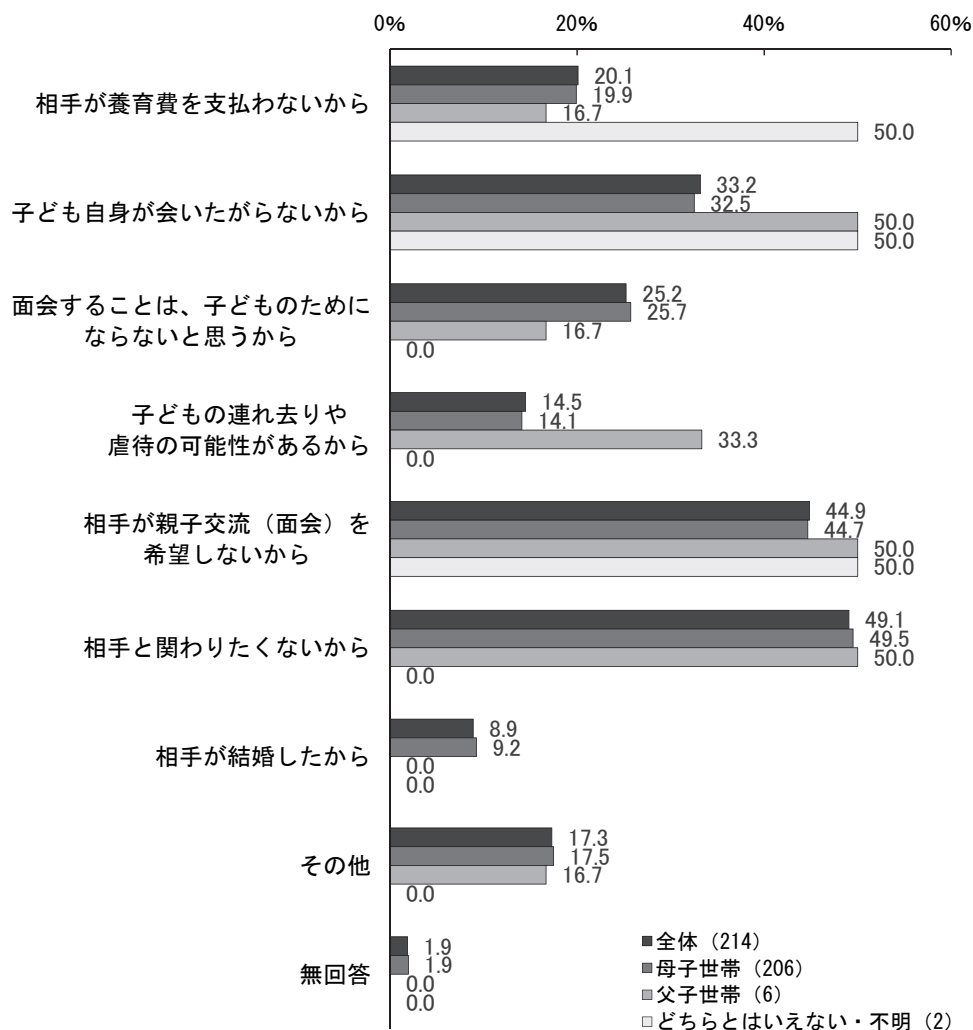
■問9－6で「今までに交流したことがあるが、現在は交流していない」又は「今まで交流したことがない」に○をつけた方にお聞きします。

問9－8 親子交流（面会）をしていない理由として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

問9－6で「今までに交流したことがあるが、現在は交流していない」又は「今まで交流したことがない」に○をつけた方に親子交流（面会）をしていない理由をたずねたところ、全体をみると「相手と関わりたくないから」49.1%、「相手が親子交流（面会）を希望しないから」44.9%が4割を超えて高く、次いで「子ども自身が会いたがらないから」33.2%が続いている。

世帯別にみると、父子世帯は回答数が1桁のため参考にとどめるが、母子世帯、父子世帯ともに上位3位は同じである。母子世帯と父子世帯で違いがあるのは、「子どもの連れ去りや虐待の可能性があるから」（母子世帯 14.1%、父子世帯 33.3%）、「子ども自身が会いたがらないから」（母子世帯 32.5%、父子世帯 50.0%）、「面会することは、子どものためにならないと思うから」（母子世帯 25.7%、父子世帯 16.7%）などである。

図表 31 親子交流（面会）をしていない理由（複数回答）



## 4 「共同親権」について

### (1) 共同親権の認知

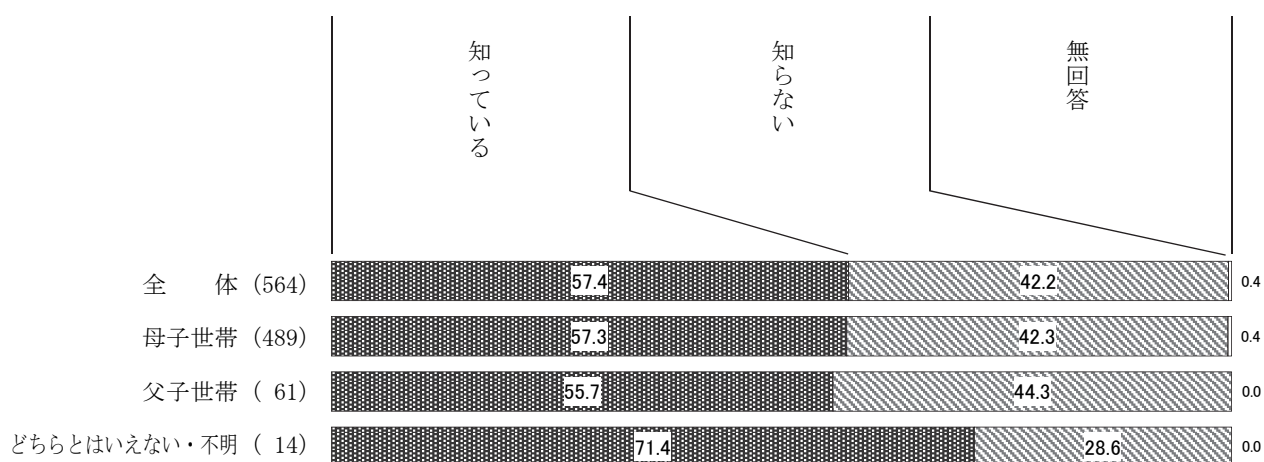
問10 令和8年5月までに「共同親権」(※)の制度が開始される予定にありますが、そのことについて、知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※離婚後に父母双方を子の親権者と定め、別居親も子の監護に責任を持つことです。

共同親権の認知は、全体をみると「知っている」57.4%、「知らない」42.2%であり、「知っている」が「知らない」を15.2ポイント上回っている。

世帯別にみると、母子世帯と父子世帯に大きな違いはみられない。どちらとはいえない・不明においては「知っている」が7割を超えている。

図表 32 共同親権の認知（単数回答）



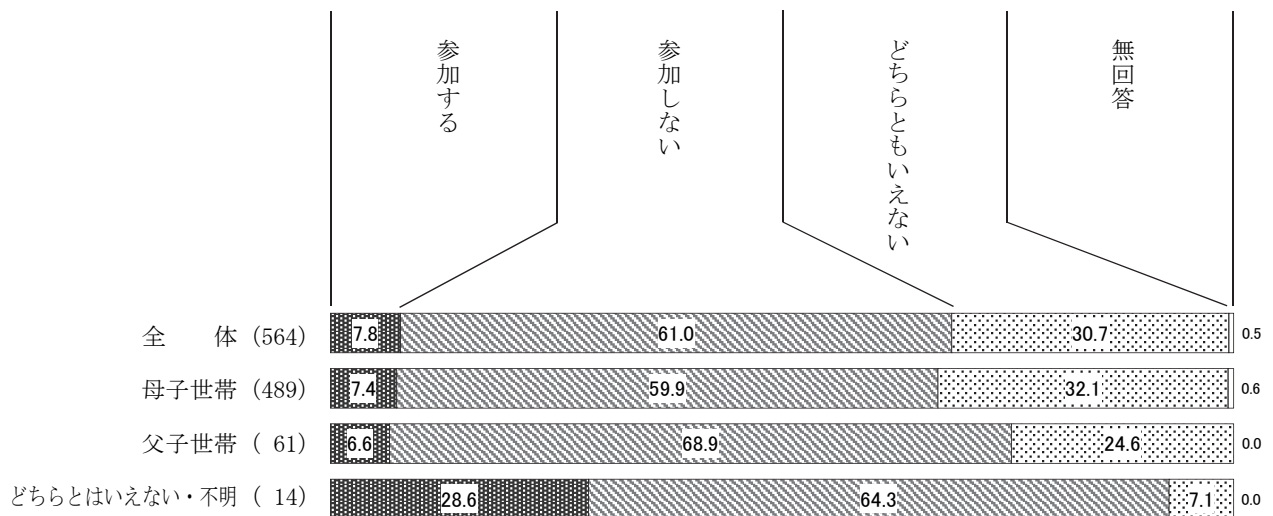
## (2) 共同親権の説明会等への参加希望

問 1 1 共同親権についての説明会又はセミナーを区が開催する場合、参加しますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

共同親権の説明会等への参加希望は、全体をみると「参加する」は 7.8%である。

世帯別にみると、母子世帯に比べて父子世帯は「参加しない」と回答した割合が高くなっている。また、どちらともいえない・不明においては「参加する」が 28.6%である。

図表 33 共同親権の説明会等への参加希望（単数回答）



## 5 仕事について

### (1) ひとり親になる前の仕事の有無

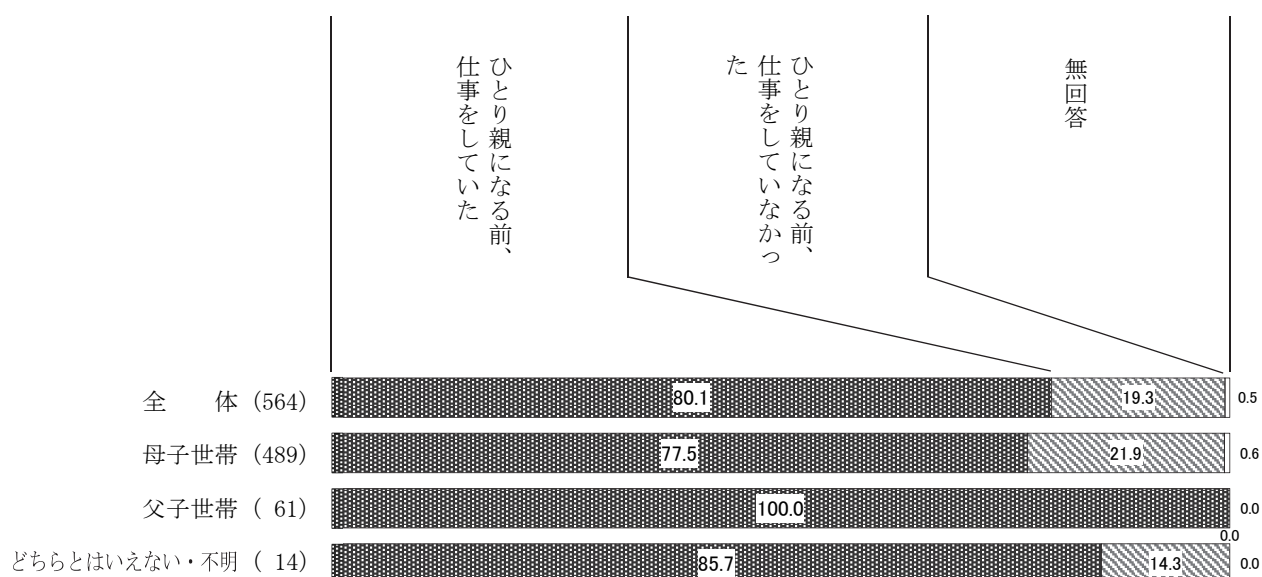
問12 あなたは、ひとり親になる前、仕事をしていましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※育児休業などで仕事を休んでいた方は「1.ひとり親になる前、仕事をしていた」に○をつけてください。

ひとり親になる前の仕事の有無は、全体をみると「ひとり親になる前、仕事をしていた」は80.1%である。

世帯別にみると、「ひとり親になる前、仕事をしていた」は母子世帯77.5%、父子世帯100.0%である。

図表34 ひとり親になる前の仕事の有無（単数回答）



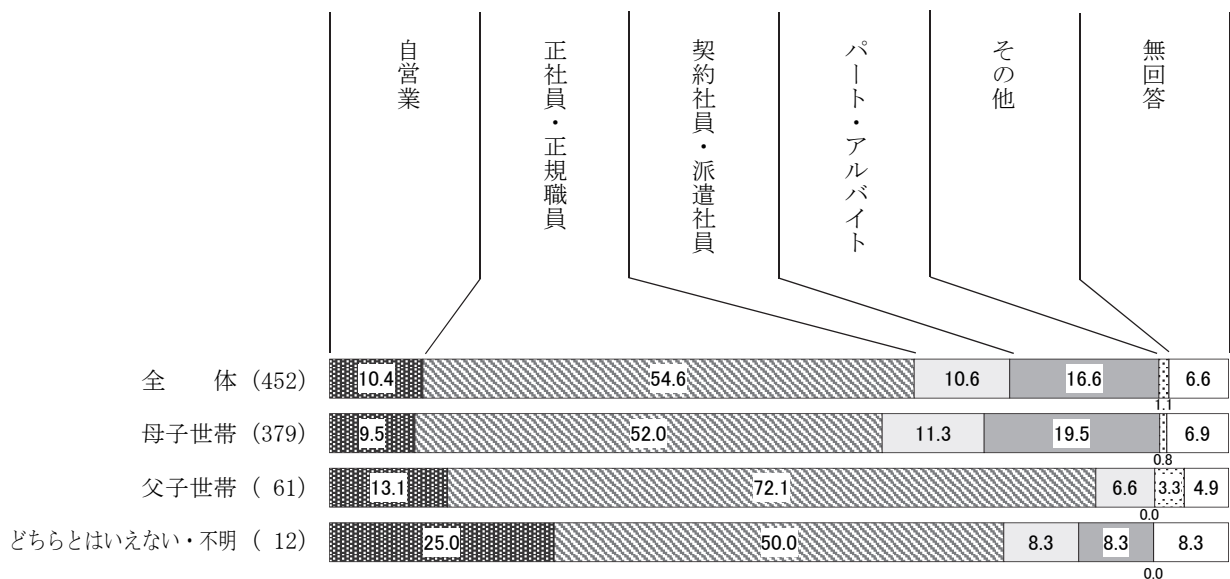
## (2) ひとり親になる前の雇用形態

■問12で「ひとり親になる前、仕事をしていた」に○をつけた方にお聞きします。  
問12-1 どのような働き方でしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

問12で「ひとり親になる前、仕事をしていた」に○をつけた方にひとり親になる前の雇用形態をたずねたところ、全体をみると「正社員・正規職員」が54.6%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」16.6%、「契約社員・派遣社員」10.6%、「自営業」10.4%の順に高くなっている。

世帯別にみると、母子世帯、父子世帯ともに「正社員・正規職員」が最も高いが、「正社員・正規職員」の割合は母子世帯52.0%、父子世帯72.1%と父子世帯に高い割合となっている。母子世帯では「パート・アルバイト」「契約社員・派遣社員」の割合が父子世帯よりも高くなっている。

図表 35 ひとり親になる前の雇用形態（単数回答）



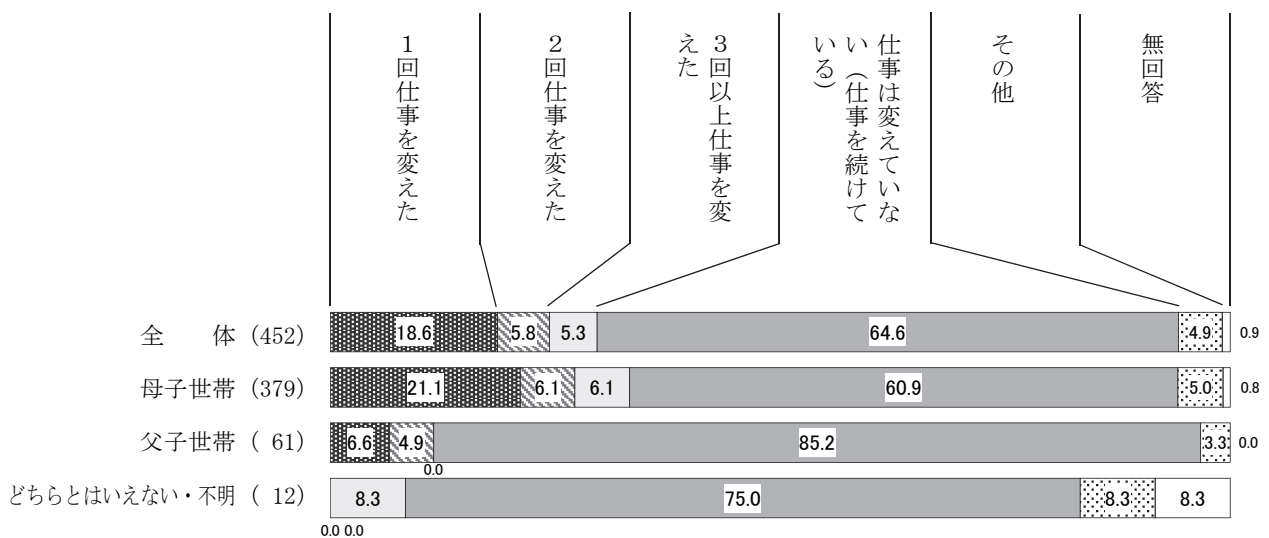
### (3) ひとり親になったことによる転職の有無

■問12で「ひとり親になる前、仕事をしていた」に○をつけた方にお聞きします。  
 問12-2 ひとり親になったことが理由で仕事を変えましたか。あてはまる番号  
 1つに○をつけてください。

問12で「ひとり親になる前、仕事をしていた」に○をつけた方にひとり親になったことによる転職の有無をたずねたところ、全体をみると「仕事は変えていない（仕事を続けている）」が64.6%であり、『仕事を1回以上変えた』割合（「1回仕事を変えた」＋「2回仕事を変えた」＋「3回以上仕事を変えた」、以下同様）は合わせて29.7%となる。

世帯別にみると、父子世帯に比べて母子世帯は『仕事を1回以上変えた』割合が高くなっている。

図表 36 ひとり親になったことによる転職の有無（単数回答）



#### (4) 転職で利用した窓口

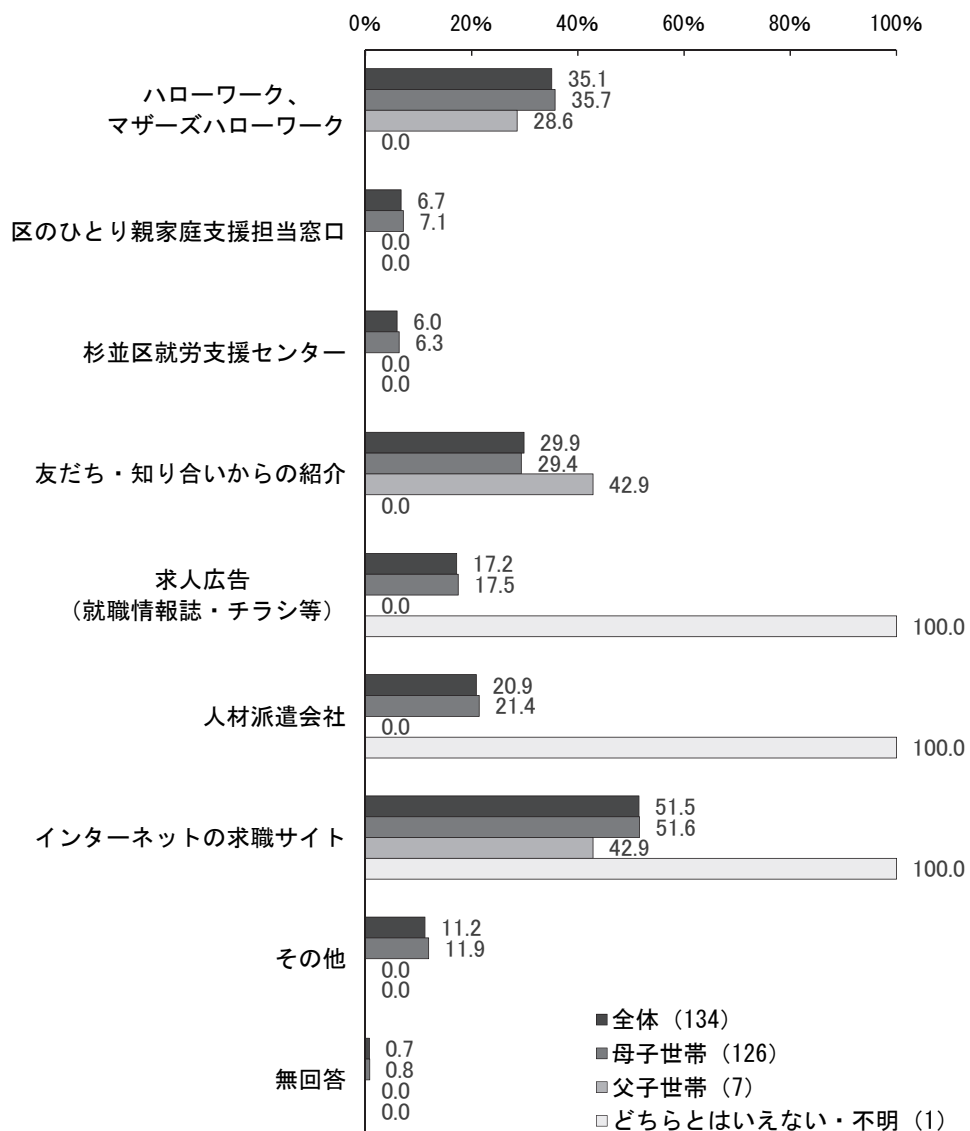
■問12-2で「1回仕事を変えた」「2回仕事を変えた」「3回以上仕事を変えた」に○をつけた方にお聞きします。

問12-3 仕事を変えたときに利用した窓口はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

問12-2で「1回仕事を変えた」「2回仕事を変えた」「3回以上仕事を変えた」に○をつけた方に転職で利用した窓口をたずねたところ、全体をみると「インターネットの求職サイト」が51.5%で最も高く、次いで「ハローワーク、マザーズハローワーク」35.1%、「友だち・知り合いからの紹介」29.9%の順に高くなっている。

世帯別にみると、父子世帯は回答数が1桁のため参考にとどめるが、母子世帯、父子世帯ともに「インターネットの求職サイト」が最も高くなっており、父子世帯においては「友だち・知り合いからの紹介」も同じ割合である。

図表37 転職で利用した窓口（複数回答）



## (5) 現在の仕事の有無

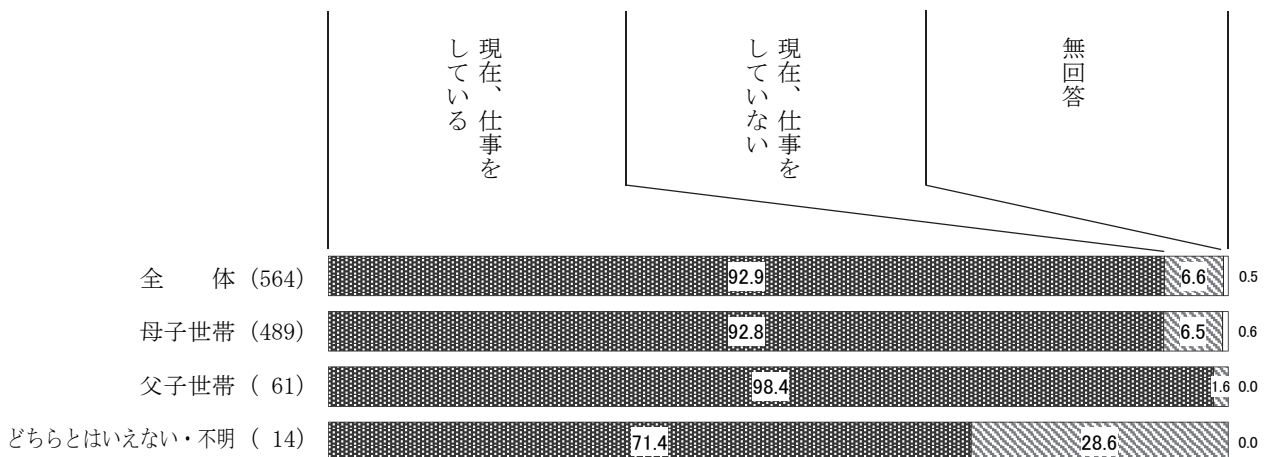
問13 現在、仕事をしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。  
※育児休業などで仕事を休んでいる方は「現在、仕事をしている」に○をつけてください。

現在の仕事の有無は、全体をみると「現在、仕事をしている」が92.9%を占め、ひとり親になる前に仕事をしていた割合（問12）の80.1%を上回る。

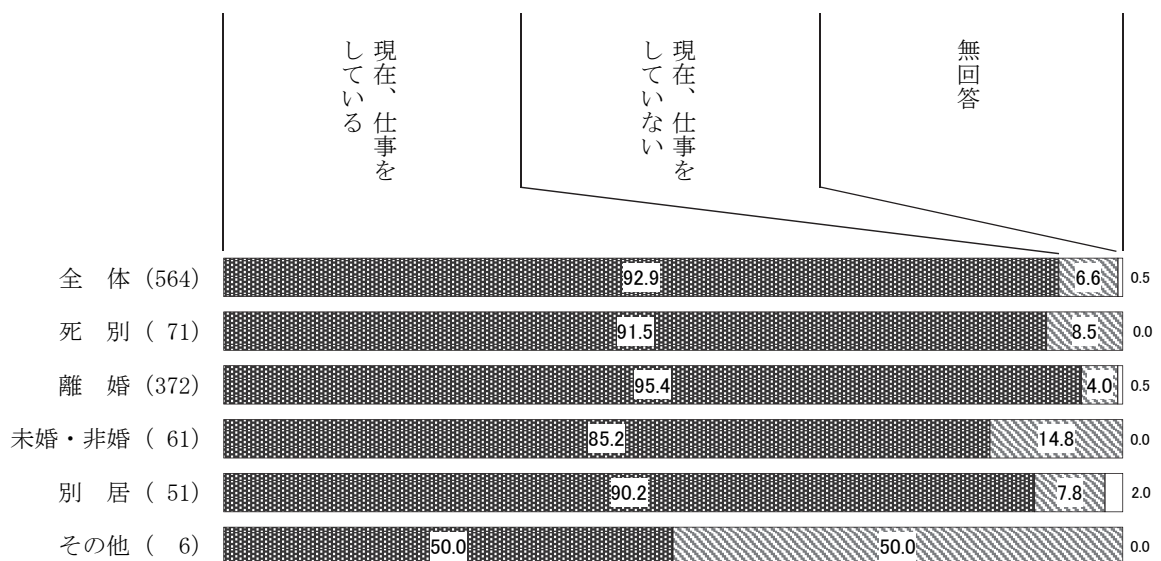
世帯別にみると、母子世帯、父子世帯ともに「現在、仕事をしている」が9割を超えている。

ひとり親になった理由別にみると、死別、離婚、別居は9割以上が「現在、仕事をしている」状況にあるが、未婚・非婚では「現在、仕事をしている」は85.2%と9割を下回る。

図表 38 現在の仕事の有無（単数回答）



図表 39 ひとり親になった理由別による現在の仕事の有無（クロス集計）



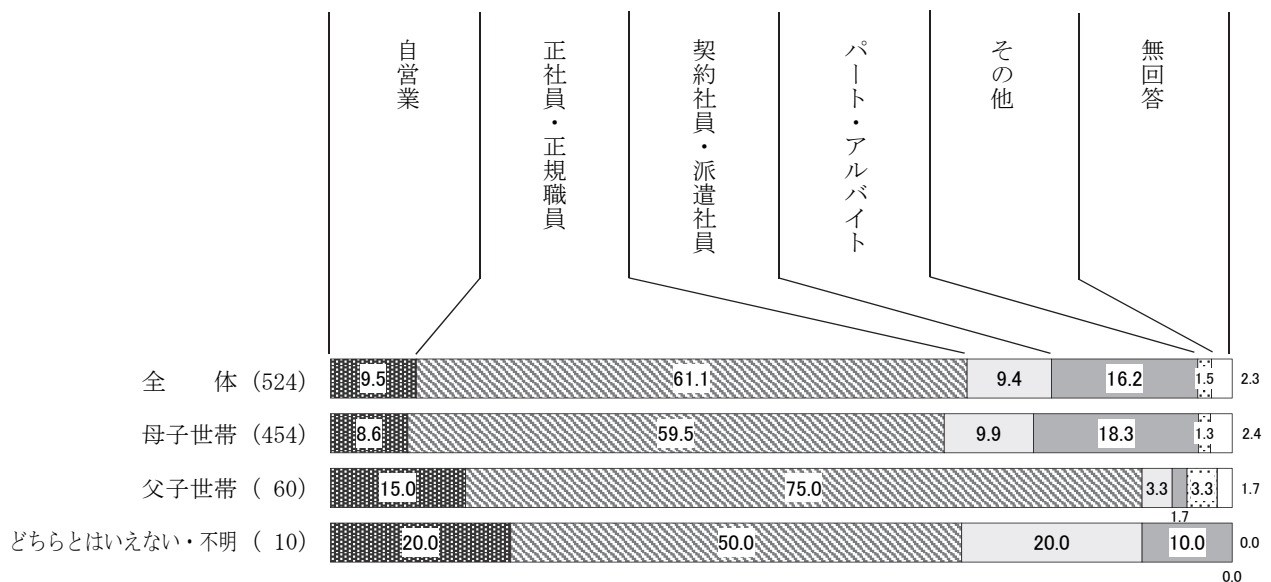
## (6) 現在の雇用形態

■問13で「現在、仕事をしている」に○をつけた方にお聞きします。  
 問13-1 どのような働き方ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。  
 ※いくつか仕事をしている方は、主な働き方を教えてください。

問13で「現在、仕事をしている」に○をつけた方に現在の雇用形態をたずねたところ、全体をみると「正社員・正規職員」が61.1%で最も高く、ひとり親になる前の「正社員・正規職員」の割合54.6%を上回っている。「正社員・正規職員」に次いで高いのは「パート・アルバイト」16.2%であり、「自営業」9.5%、「契約社員・派遣社員」9.4%はそれぞれ約1割となっている。

世帯別にみると、母子世帯、父子世帯ともに「正社員・正規職員」が最も高いが、「正社員・正規職員」の割合は母子世帯59.5%、父子世帯75.0%と父子世帯において高い割合となっている。

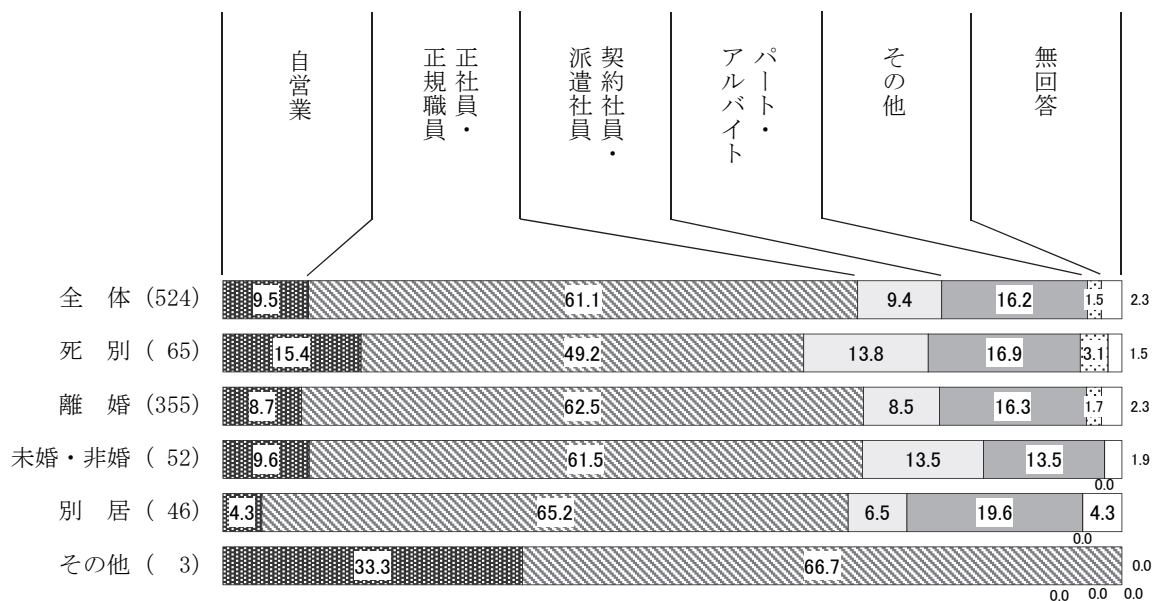
図表 40 現在の雇用形態（単数回答）



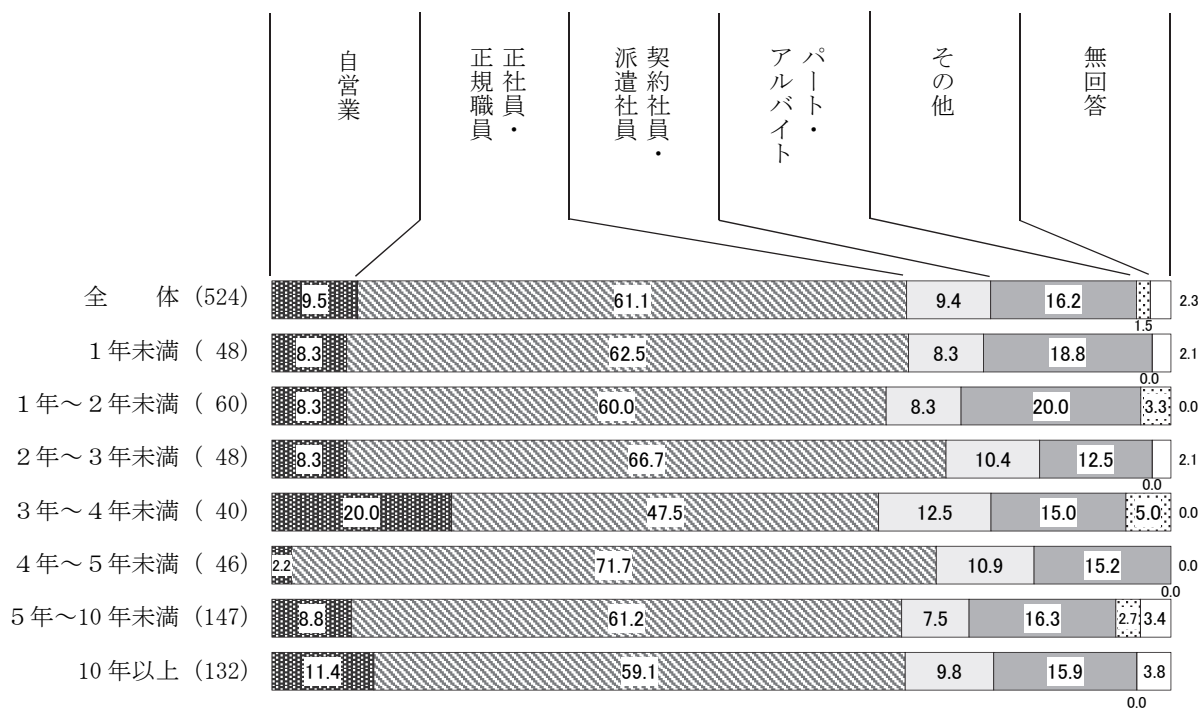
ひとり親になった理由別にみると、全ての理由において「正社員・正規職員」が最も高い割合である。「正社員・正規職員」以外について割合が他に比べて高くなっている雇用形態をみると、死別は「自営業」、未婚・非婚は「契約社員・派遣社員」、別居は「パート・アルバイト」となっている。

ひとり親期間別にみると、全ての理由において「正社員・正規職員」が最も高い割合である。

図表 41 ひとり親になった理由別による現在の雇用形態（クロス集計）

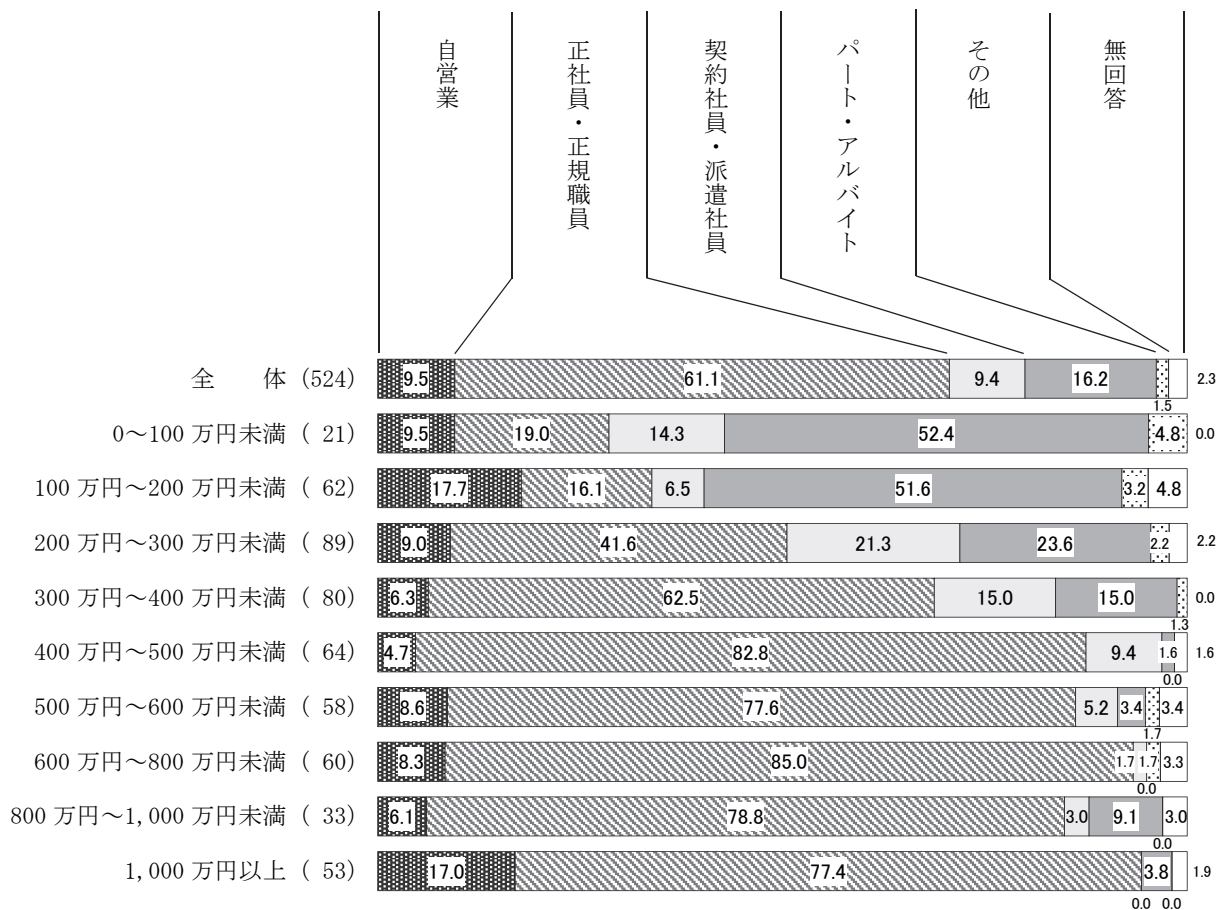


図表 42 ひとり親期間別による現在の雇用形態（クロス集計）



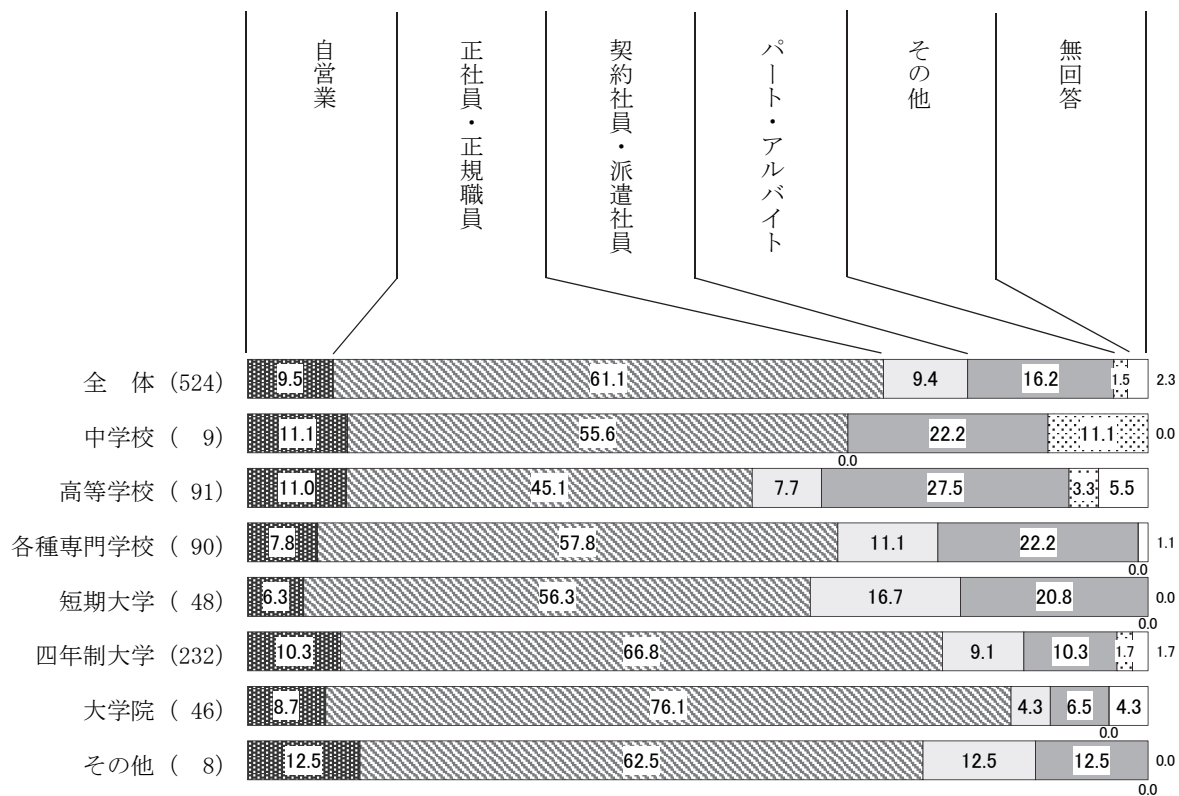
世帯の手取り合計額別にみると、300 万円未満においては「正社員・正規職員」の割合が5割以下と全体を下回る。200 万円未満では「パート・アルバイト」の割合が最も高くなっている。

図表 43 世帯の手取り合計額別による現在の雇用形態（クロス集計）



最終学歴別にみると、「正社員・正規職員」は四年制大学 66.8%、大学院 76.1%となり全体を上回っている。中学校、高等学校、各種専門学校、短期大学は、四年制大学や大学院に比べて「パート・アルバイト」の割合が高い。

図表 44 最終学歴別による現在の雇用形態（クロス集計）



## (7) 帰宅時間

■問13で「現在、仕事をしている」に○をつけた方にお聞きします。

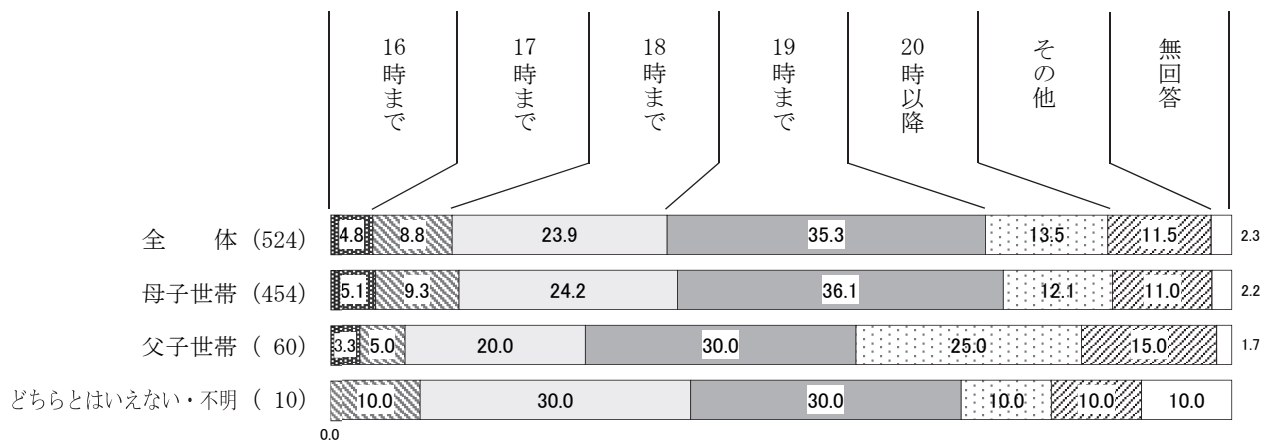
問13-2 いつも何時に家に帰りますか（自営業の方は、仕事が終わる時間は何時ですか）。あてはまる番号1つに○をつけてください。

問13で「現在、仕事をしている」に○をつけた方に帰宅時間をたずねたところ、全体をみると「19時まで」が35.3%で最も高く、次いで「18時まで」23.9%、「20時以降」13.5%の順に高くなっている。

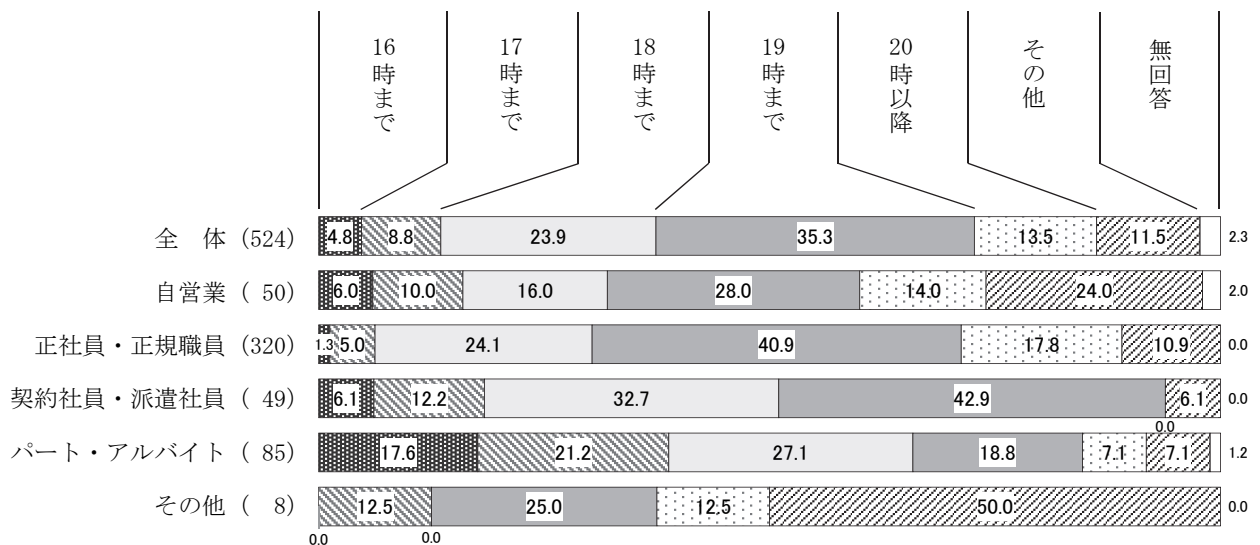
世帯別にみると、母子世帯、父子世帯ともに「19時まで」が最も高いが、母子世帯は「18時まで」、父子世帯は「20時以降」が次いで高く、父子世帯のほうが帰宅時間が遅い。

現在の雇用形態別にみると、自営業、正社員・正規職員、契約社員・派遣社員は「19時まで」が最も高く、パート・アルバイトでは「18時まで」が最も高くなっている。

図表 45 帰宅時間（単数回答）



図表 46 現在の雇用形態別による帰宅時間（クロス集計）



## (8) 現在の仕事の継続年数

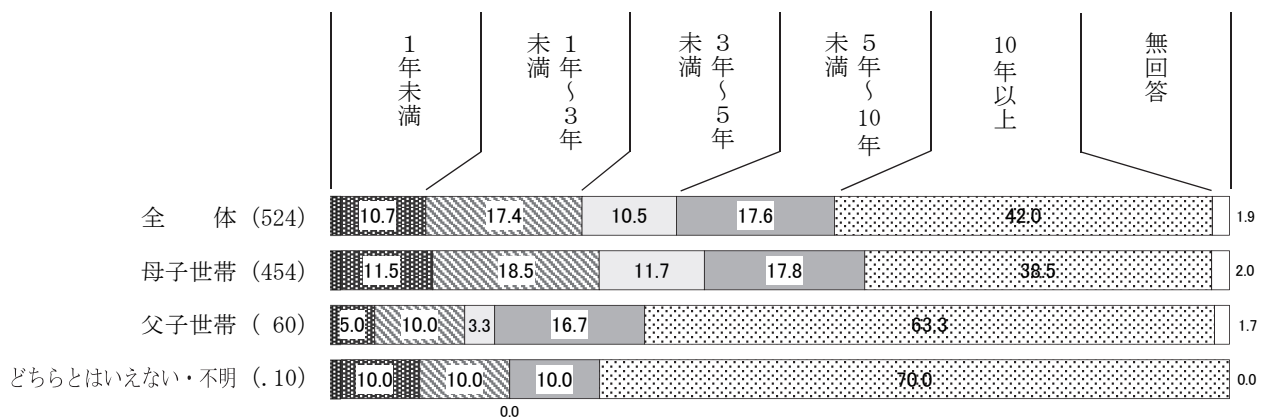
■問13で「現在、仕事をしている」に○をつけた方にお聞きします。  
 問13-3 現在の仕事を何年続けていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。  
 ※いくつか仕事をしている方は、主な仕事について、教えてください。

問13で「現在、仕事をしている」に○をつけた方に現在の仕事の継続年数をたずねたところ、全体をみると「10年以上」が42.0%で最も高く、次いで「5年～10年未満」17.6%が高くなっている。5年以上の割合が59.6%を占めている。

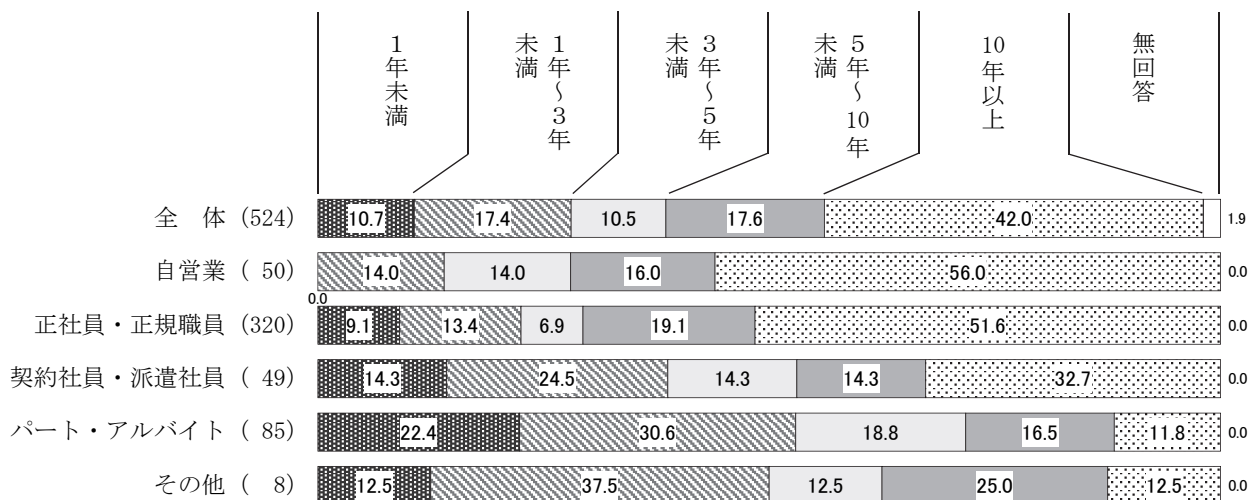
世帯別にみると、母子世帯、父子世帯ともに「10年以上」が最も高いが、父子世帯では「10年以上」が63.3%を占め、母子世帯に比べて「10年以上」の割合が高くなっている。

現在の雇用形態別にみると、自営業、正社員・正規職員は「10年以上」が5割を超えている。パート・アルバイトは「1年～3年未満」の割合が最も高いなど、継続年数は他に比べて短い状況にある。

図表 47 現在の仕事の継続年数（単数回答）



図表 48 現在の雇用形態別による現在の仕事の継続年数（クロス集計）



## (9) 転職希望の有無

■問13で「現在、仕事をしている」に○をつけた方にお聞きします。

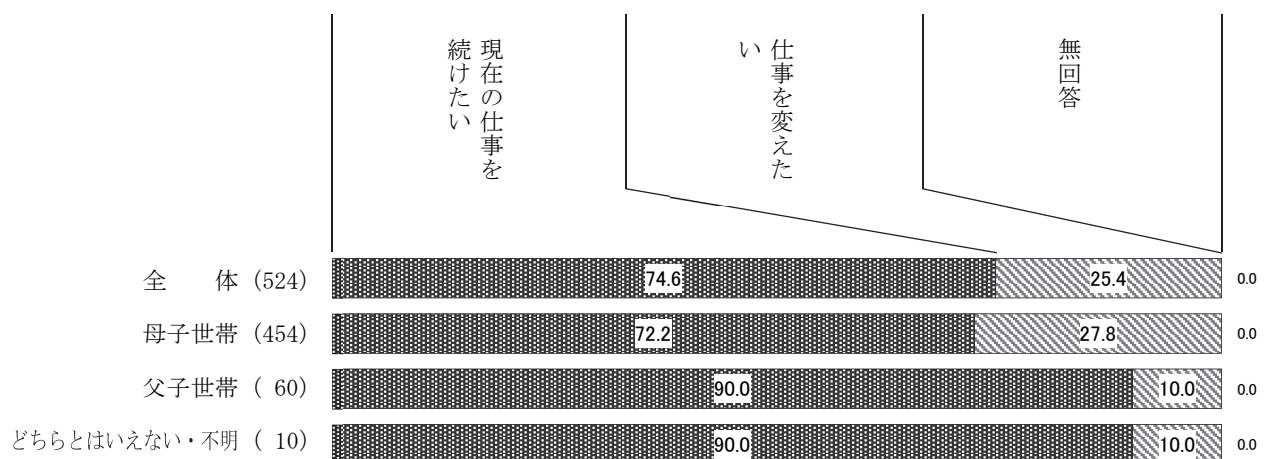
問13-4 現在の仕事をこれからも続けたいと考えていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

問13で「現在、仕事をしている」に○をつけた方に転職希望の有無をたずねたところ、全体をみると「現在の仕事を続けたい」が74.6%で最も高くなっている。「仕事を变えたい」は約4人に1人にあたる25.4%である。

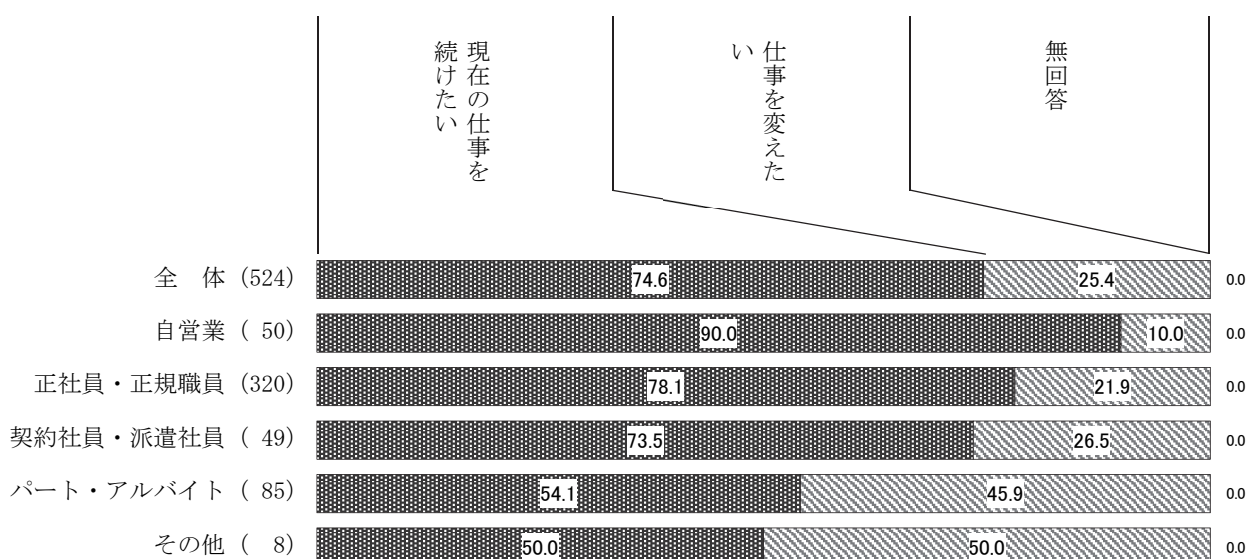
世帯別にみると、母子世帯、父子世帯ともに「現在の仕事を続けたい」が最も高いが、父子世帯では「現在の仕事を続けたい」が90.0%を占める。母子世帯では「仕事を变えたい」が27.8%となっている。

現在の雇用形態別にみると、パート・アルバイトにおいて「仕事を变えたい」が45.9%であり、他に比べて高くなっている。

図表 49 転職希望の有無（単数回答）



図表 50 現在の雇用形態別による転職希望の有無（クロス集計）



## (10) 転職したい理由

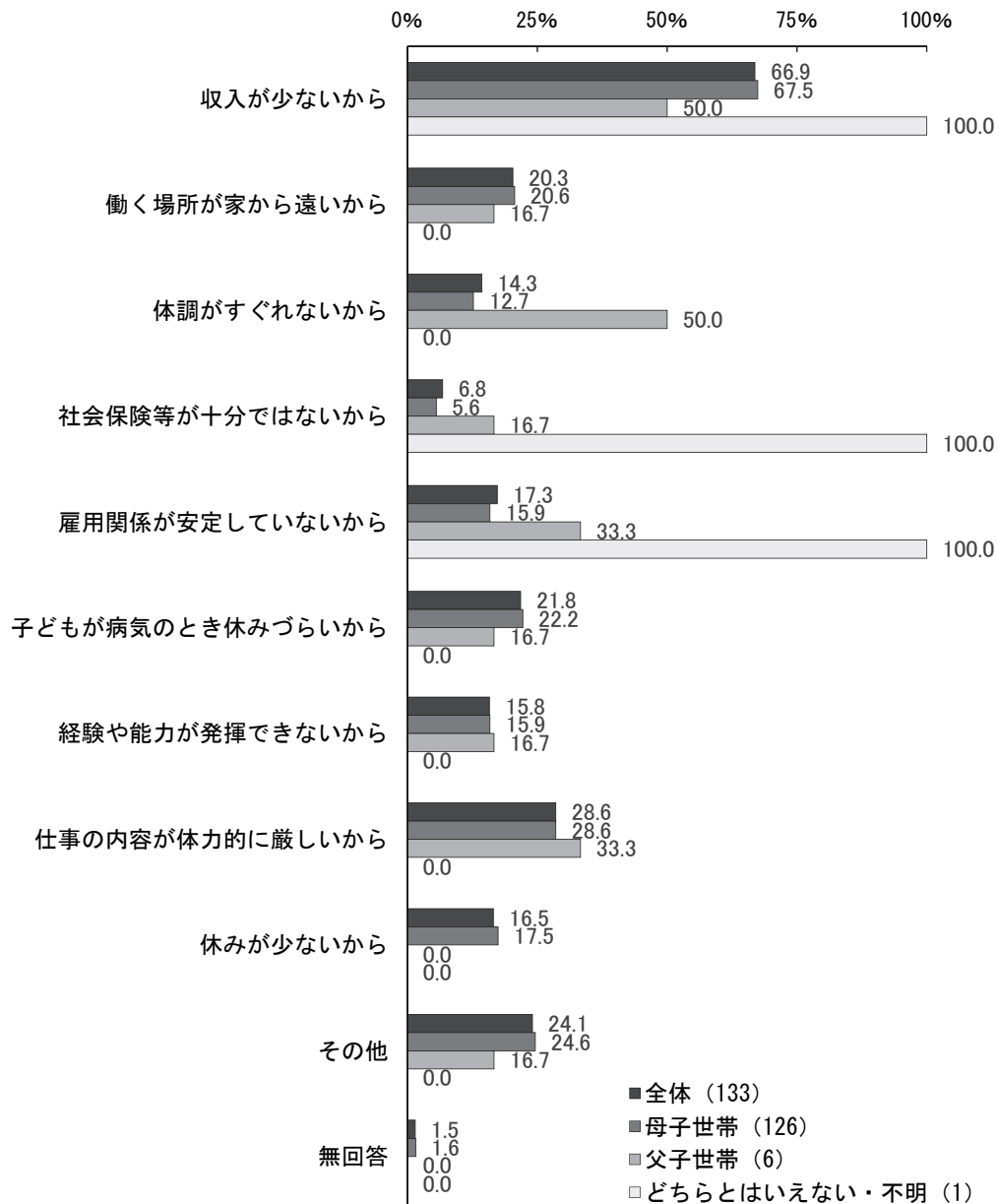
■問13-4で「仕事を変えたい」に○をつけた方にお聞きします。

問13-5 仕事を変えたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

問13-4で「仕事を変えたい」に○をつけた方に転職したい理由をたずねたところ、全体をみると「収入が少ない」66.9%が最も高く、次いで「仕事の内容が体力的に難しいから」28.6%、「その他」24.1%が続いている。「その他」においては、「やりたい仕事ではない」「正社員を希望」「在宅やりモートを希望」などの記載があった。

世帯別にみると、父子世帯は回答数が1桁のため参考にとどめるが、母子世帯、父子世帯ともに「収入が少ない」が最も高いが、父子世帯では「体調がすぐれない」が「収入が少ない」と同じ割合となっている。

図表 51 転職したい理由（複数回答）



現在の雇用形態別にみると、全ての雇用形態において最も高い割合は「収入が少ないから」である。次いで高い割合は、正社員・正規職員は「その他」、契約社員・派遣社員は「雇用関係が安定していないから」、パート・アルバイトは「仕事の内容が体力的に厳しいから」である。

図表 52 現在の雇用形態別による転職したい理由（クロス集計）

		全 体	収入 が少ない から	働く 場所が 家から 遠いから	体調が すぐれ ないから	社会保 険等が 十分で はない から	雇用関 係が安 定して いない から	子ども が病気 のとき 休みづ らいから	経験や 能力が 発揮で きない から	仕事の内 容が体 力的に 厳しい から	休みが 少ない から	その他	無回 答
全 体		133 100.0	89 66.9	27 20.3	19 14.3	9 6.8	23 17.3	29 21.8	21 15.8	38 28.6	22 16.5	32 24.1	2 1.5
現在の 雇用 形態別	自営業	5 100.0	4 80.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
	正社員・正規職員	70 100.0	39 55.7	17 24.3	12 17.1	3 4.3	6 8.6	18 25.7	12 17.1	20 28.6	13 18.6	24 34.3	0 0.0
	契約社員・派遣社員	13 100.0	9 69.2	1 7.7	0 0.0	0 0.0	6 46.2	3 23.1	2 15.4	2 15.4	3 23.1	3 23.1	1 7.7
	パート・アルバイト	39 100.0	32 82.1	9 23.1	5 12.8	5 12.8	10 25.6	7 17.9	5 12.8	14 35.9	5 12.8	4 10.3	0 0.0
	その他	4 100.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0

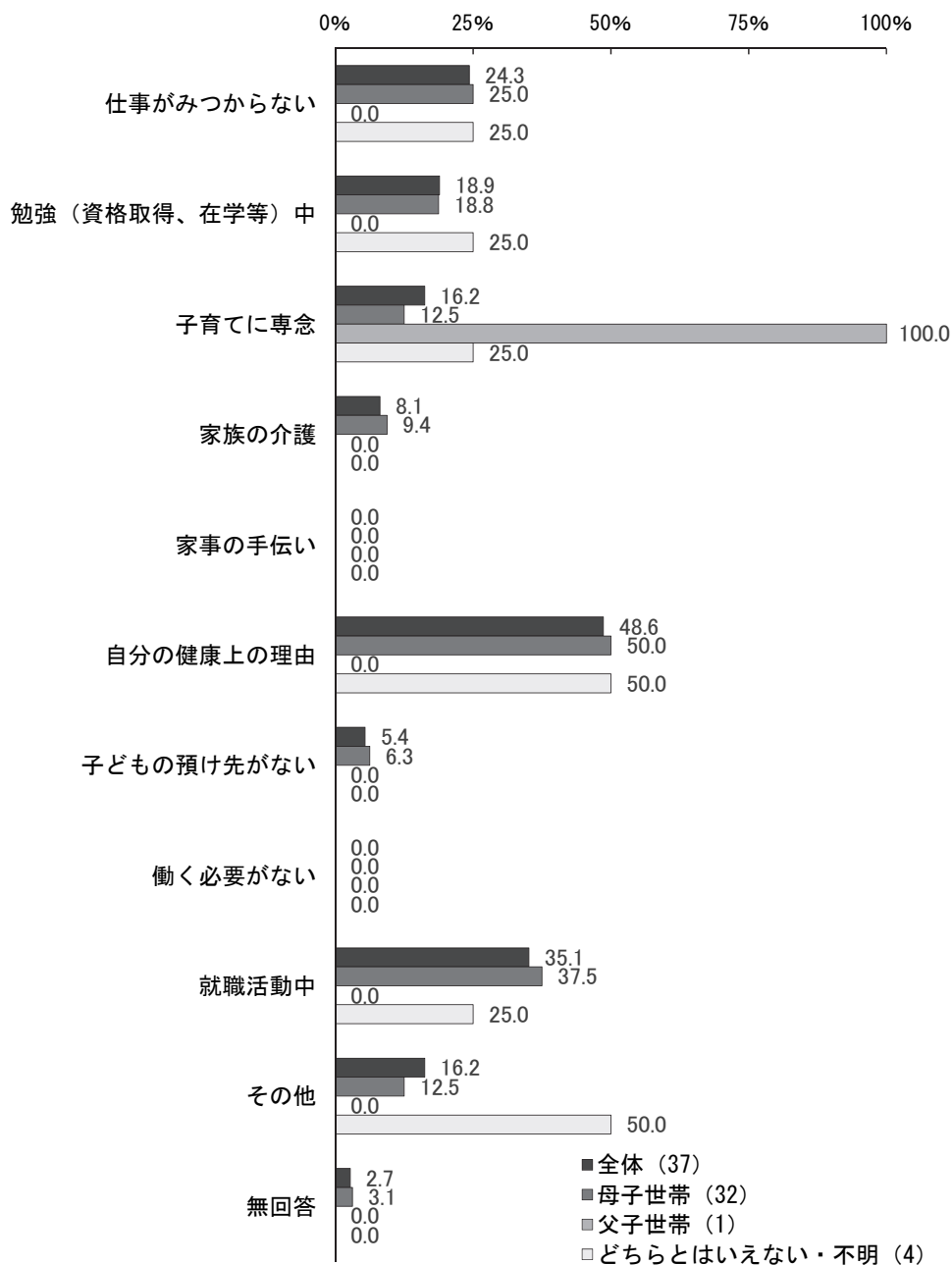
## (11) 仕事をしていない理由

■問13で「現在、仕事をしていない」に○をつけた方にお聞きします。  
 問13-6 仕事をしていない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

問13で「現在、仕事をしていない」に○をつけた方に仕事をしていない理由をたずねたところ、全体をみると「自分の健康上の理由」が48.6%で最も高く、次いで「就職活動中」35.1%、「仕事がみつからない」24.3%が続いている。

世帯別にみると、母子世帯で最も高いのは「自分の健康上の理由」50.0%、父子世帯は回答数が一人であるため参考にとどめるが「子育てに専念」100.0%である。

図表53 仕事をしていない理由（複数回答）

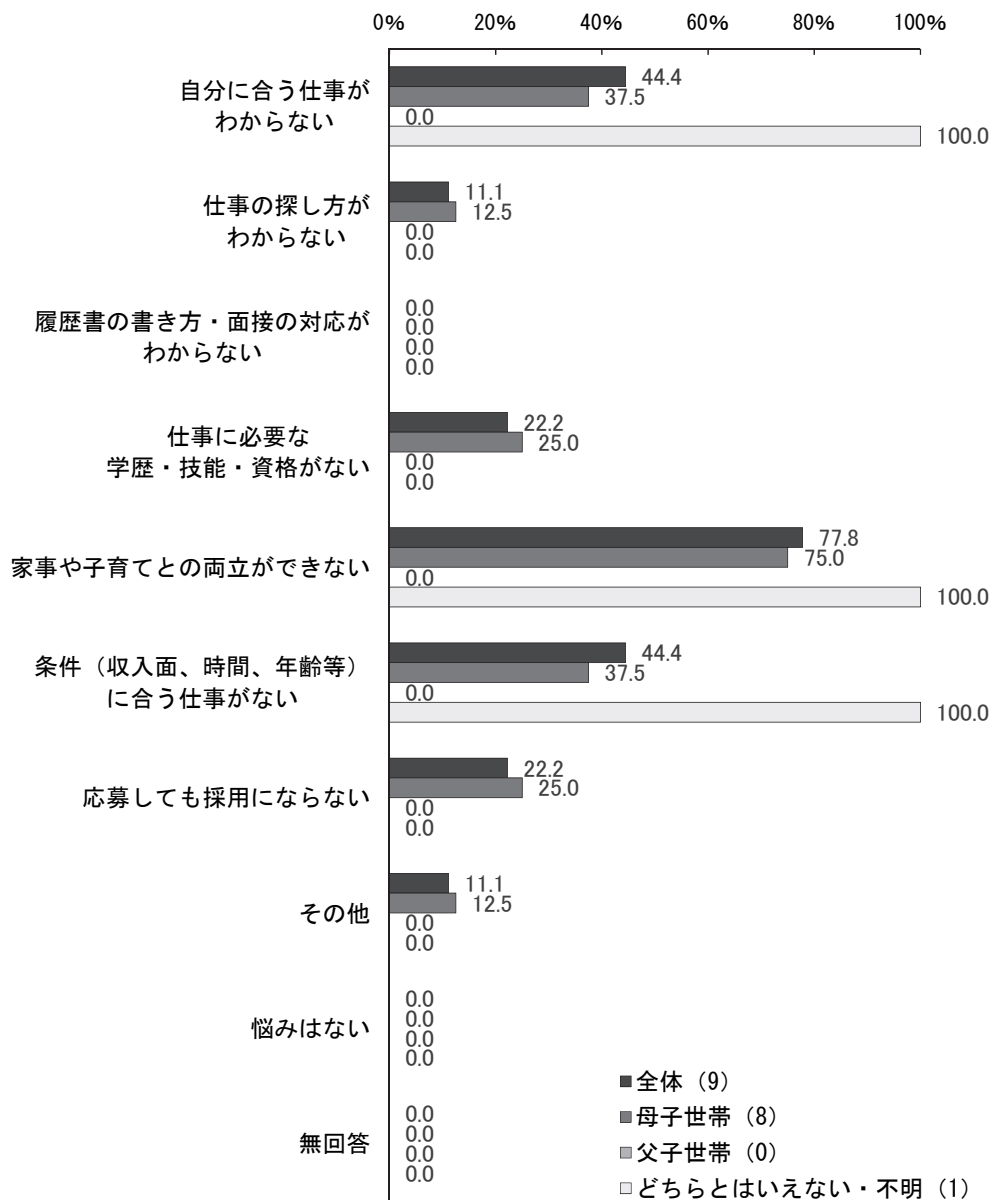


## (12) 仕事を探すときの悩み

■問13-6で「仕事が見つからない」に○をつけた方にお聞きします。  
 問13-7 仕事を探すときの悩みは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

問13-6で「仕事が見つからない」に○をつけた方に仕事を探すときの悩みをたずねたところ、全体をみると「家事や子育てとの両立ができない」が77.8%で最も高くなっている。

図表 54 仕事を探すときの悩み（複数回答）



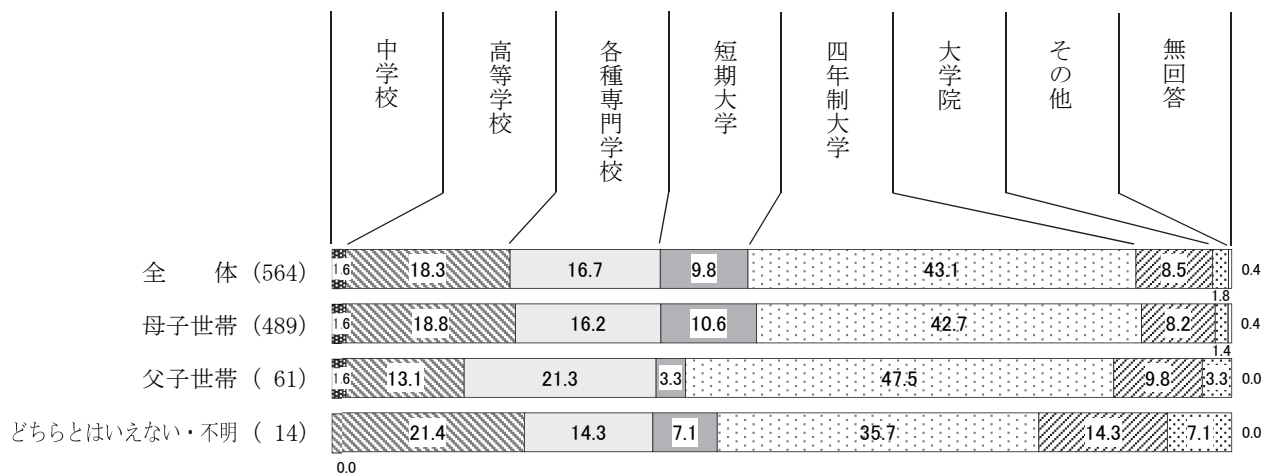
### (13) 最終学歴

問14 あなたの最終学歴について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

最終学歴は、全体をみると「四年制大学」が43.1%で最も高く、次いで「高等学校」18.3%、「各種専門学校」16.7%が続いている。

世帯別にみると、母子世帯は「四年制大学」に次いで「高等学校」、父子世帯は「四年制大学」に次いで「各種専門学校」が高い割合となっている。

図表 55 最終学歴（単数回答）



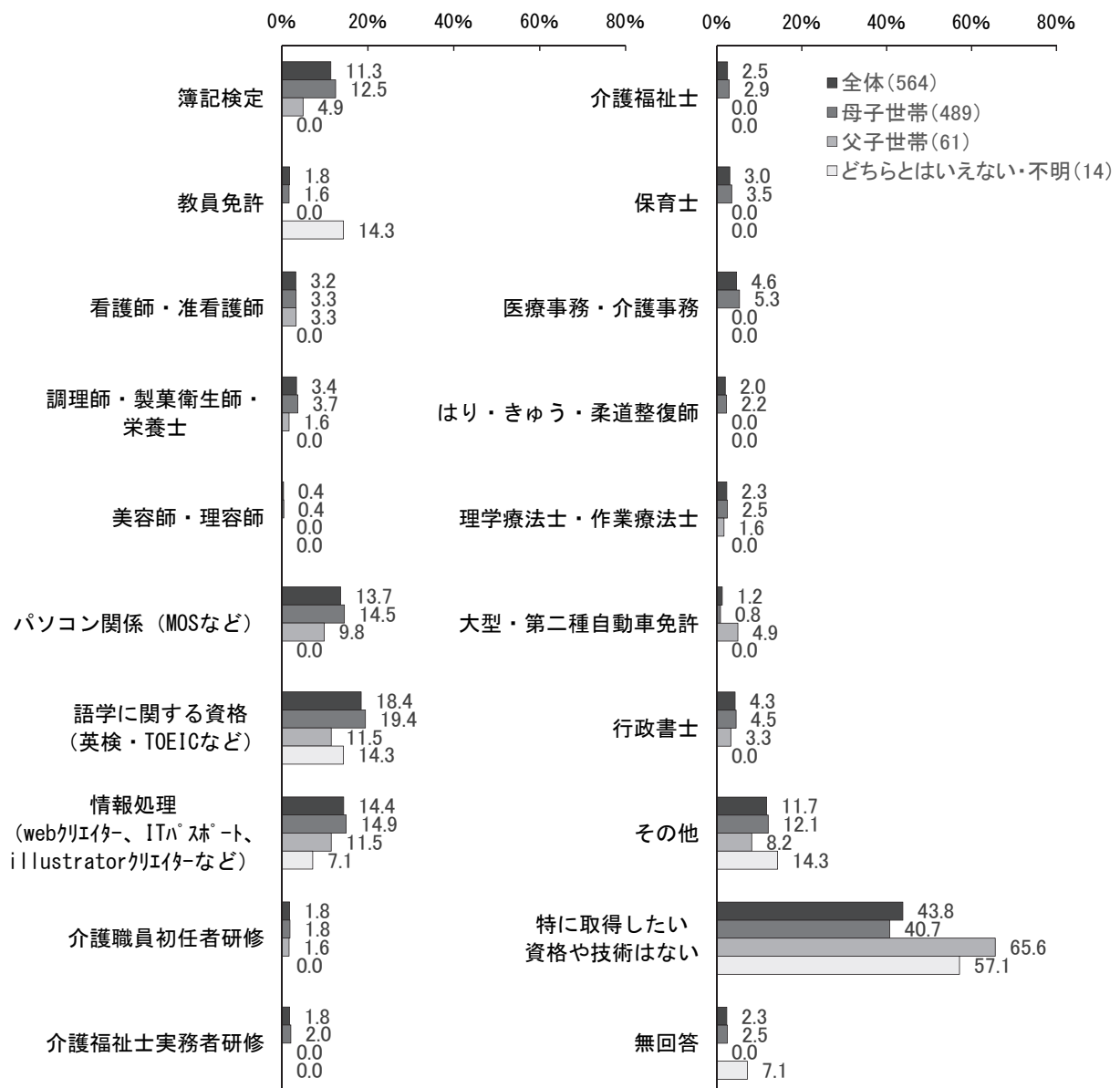
## (14) 今後、取得したい資格等

問15 これから就職や転職に向けて取得したい資格や技術はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

今後、取得したい資格等は、全体をみると「特に取得したい資格や技術はない」が43.8%で最も高く、次いで「語学に関する資格（英検・TOEICなど）」18.4%、「情報処理（webクリエイター、ITパスポート、illustratorクリエイターなど）」14.4%の順に高くなっている。「その他」において2件以上の記載があった資格等は、「ファイナンシャルプランナー」「社会保険労務士」「宅地建物取引士」「中小企業診断士」「社会福祉士」「弁護士」「登録販売者」「日本語教育に関する資格」である。

世帯別にみると、「特に取得したい資格や技術はない」は母子世帯は40.7%、父子世帯65.6%であり、母子世帯に比べて父子世帯において高い割合となっている。

図表56 今後、取得したい資格等（複数回答）



## 6 経済状況について

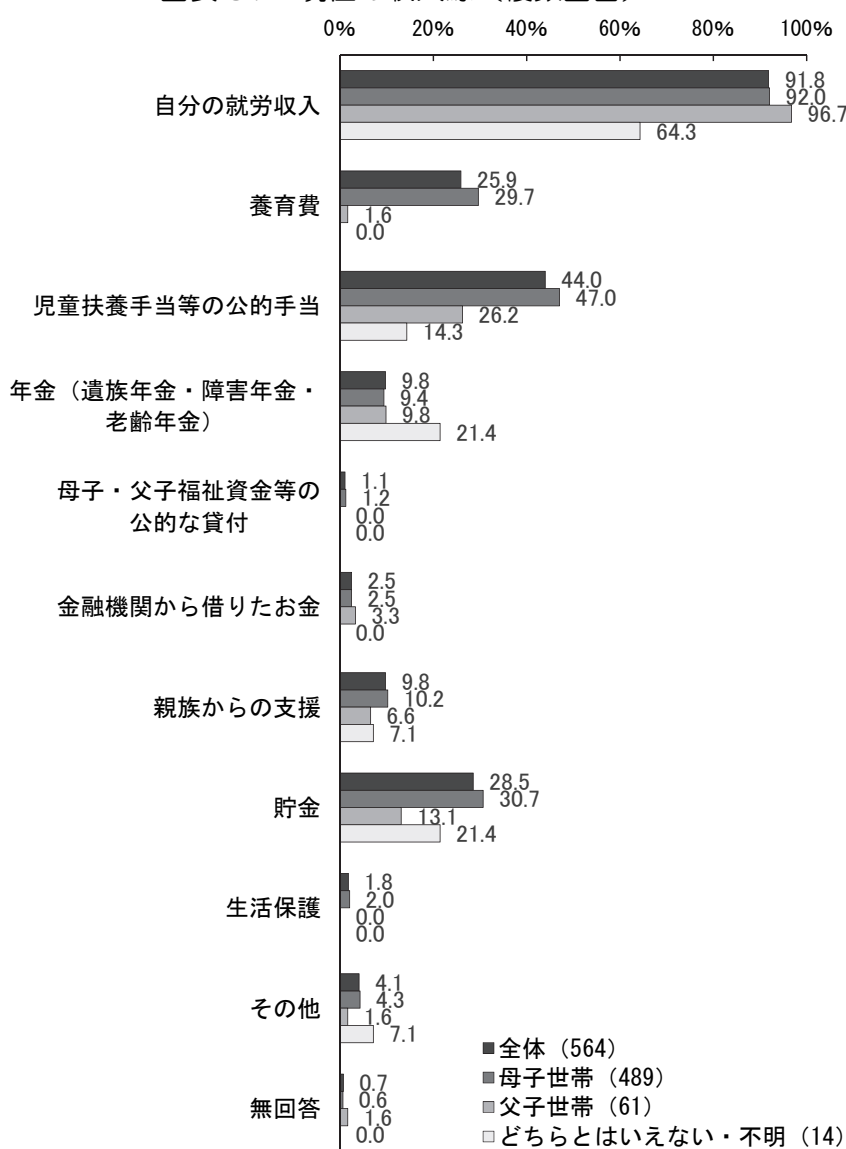
### (1) 現在の収入源

問16 現在、どのような収入等で生活していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

現在の収入源は、全体をみると「自分の就労収入」が91.8%で最も高く、次いで「児童扶養手当等の公的手当」44.0%、「貯金」28.5%、「養育費」25.9%の順に高くなっている。「その他」においては、「不動産収入」「親の年金や収入」「資産運用」などの記載があった。

世帯別にみると、父子世帯に比べて母子世帯が高いのは「養育費」、「児童扶養手当等の公的手当」「母子・父子福祉資金等の公的な貸付」「親族からの支援」「貯金」「生活保護」「その他」、母子世帯に比べて父子世帯が高いのは「自分の就労収入」「年金（遺族年金・障害年金・老齢年金）」「金融機関から借りたお金」である。

図表 57 現在の収入源（複数回答）



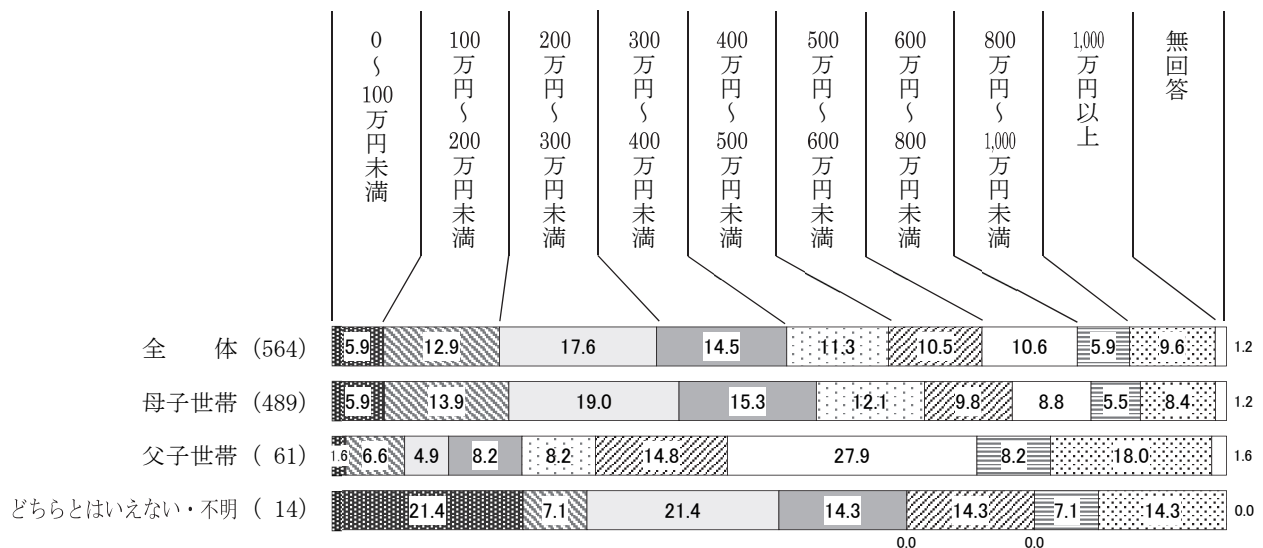
## (2) 世帯の手取り合計額

問17 昨年（令和6年1月～令和6年12月）1年間の世帯の手取り合計額（養育費・手当等や同じ世帯の方の所得すべてを含みます）はどのくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

世帯の手取り合計額は、全体をみると「200万円～300万円未満」17.6%が最も高く、次いで「300万円～400万円未満」14.5%の順に高くなっている。世帯の手取り合計額が200万円未満は全体の18.8%、300万円未満は36.4%、400万円未満は50.9%となる。

世帯別にみると、母子世帯で最も高い割合は「200万円～300万円未満」19.0%、父子世帯では「600万円～800万円未満」27.9%である。世帯の手取り合計額が400万円未満が占める割合は、母子世帯は54.1%、父子世帯は21.3%であり、母子世帯は父子世帯に比べて世帯の手取り合計額が少ない状況にある。

図表58 世帯の手取り合計額（単数回答）



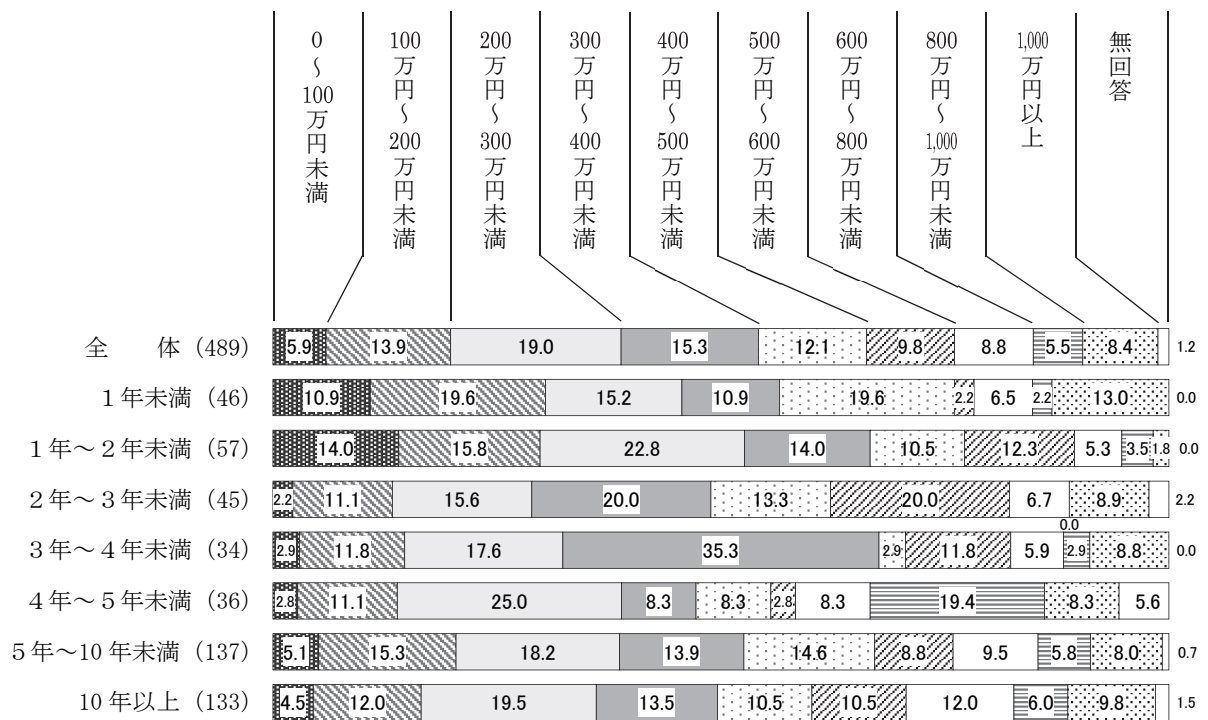
## 【母子世帯】

ひとり親期間別にみると、2年未満において300万円未満の割合が高い状況がある。

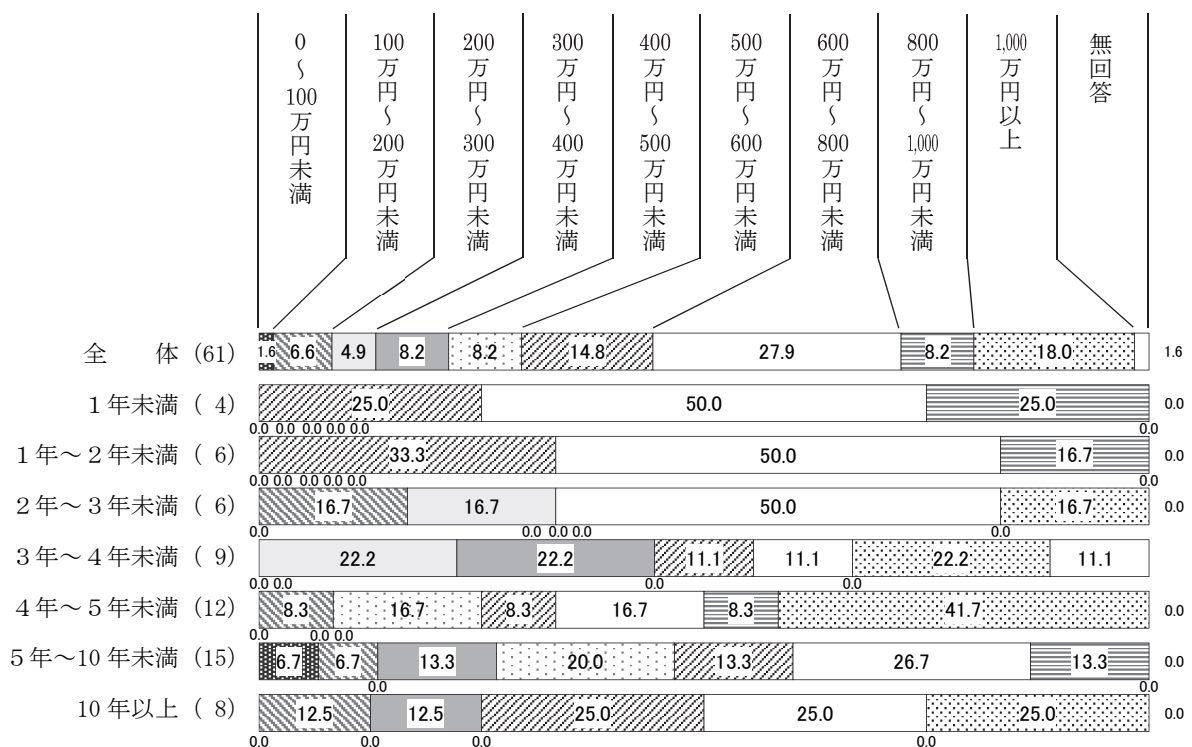
## 【父子世帯】

ひとり親期間別にみると、回答者数が少なく、ひとり親期間による特徴的な傾向はみられない。

図表 59 【母子世帯】ひとり親期間別による世帯の手取り合計額（クロス集計）



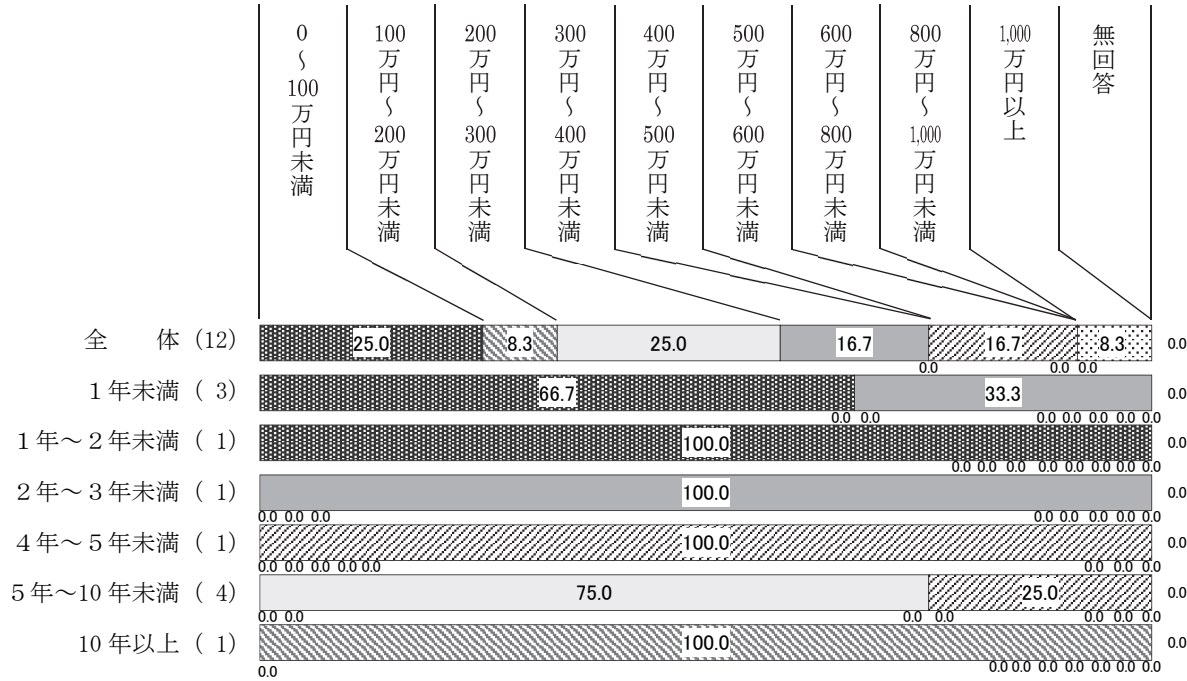
図表 60 【父子世帯】ひとり親期間別による世帯の手取り合計額（クロス集計）



【どちらともいえない・不明世帯】

ひとり親期間別にみると、回答者数が少なく、ひとり親期間による特徴的な傾向はみられない。

図表 61 【どちらともいえない・不明】ひとり親期間別による世帯の手取り合計額（クロス集計）



※「3 年～4 年未満」の回答者はいないため、掲載を省略している。

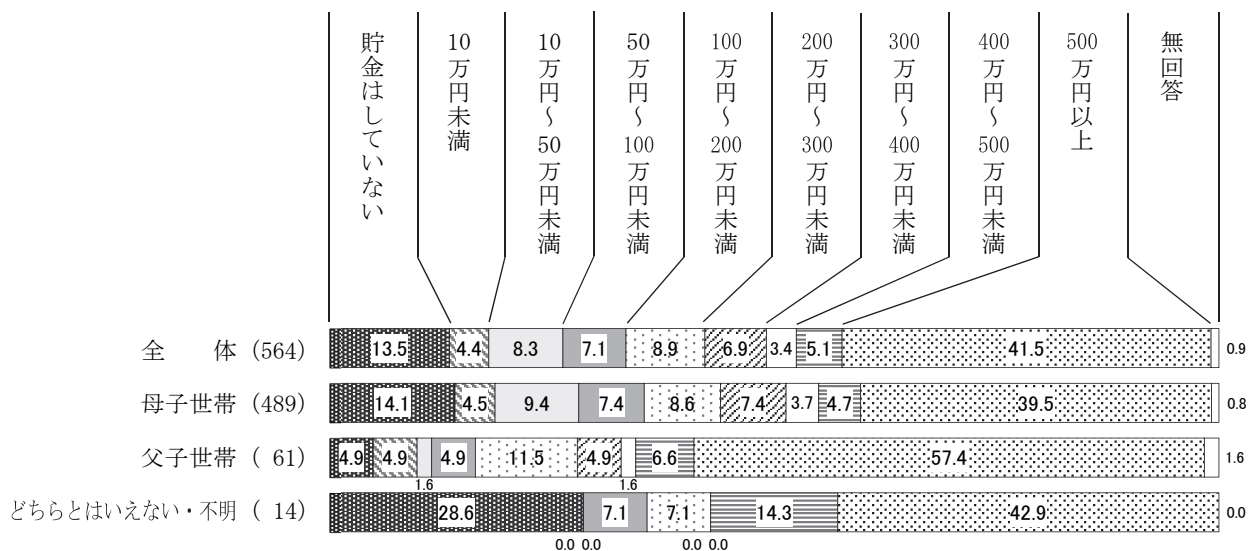
### (3) 貯金の状況

問18 世帯の貯金の状況はどのようになっていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

貯金の状況は、全体をみると「500万円以上」が41.5%を占め、次いで「貯金はない」13.5%、「100万円～200万円未満」8.9%が続いている。貯金が100万円未満は全体の33.3%、200万円未満は42.2%、300万円未満は49.1%となる。

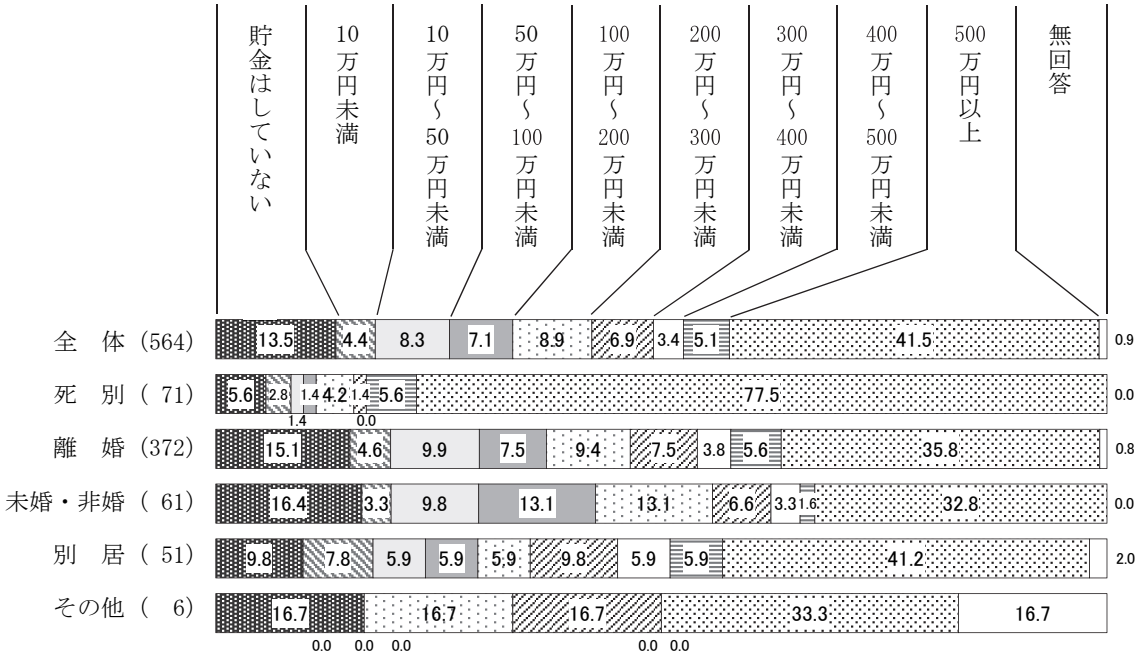
世帯別にみると、「500万円以上」の割合は母子世帯39.5%、父子世帯57.4%である。母子世帯の貯金は100万円未満35.4%、200万円未満44.0%、300万円未満51.4%、父子世帯の貯金は100万円未満16.3%、200万円未満27.8%、300万円未満32.7%であり、母子世帯は父子世帯に比べて貯金が少ない状況にある。

図表62 貯金の状況（単数回答）



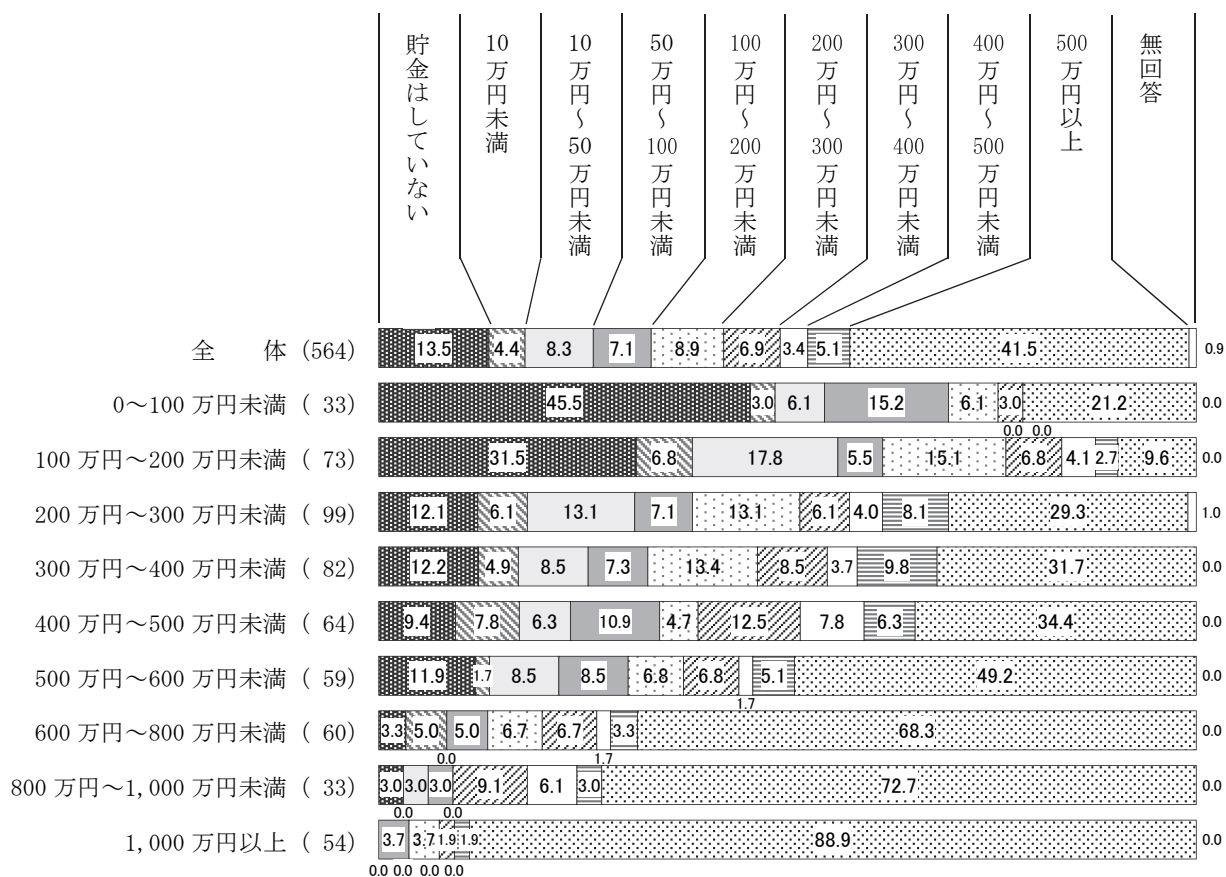
ひとり親になった理由別にみると、貯金額については、死別、別居、離婚、未婚・非婚の順に高い状況となっている。具体的にみると、死別では「500 万円以上」が 77.5% を占め、他の理由に比べて「500 万円以上」の割合が高い一方で、離婚、未婚・非婚は「貯金はしていない」割合が他の理由に比べて高くなっている。

図表 63 ひとり親になった理由別による貯金の状況（クロス集計）



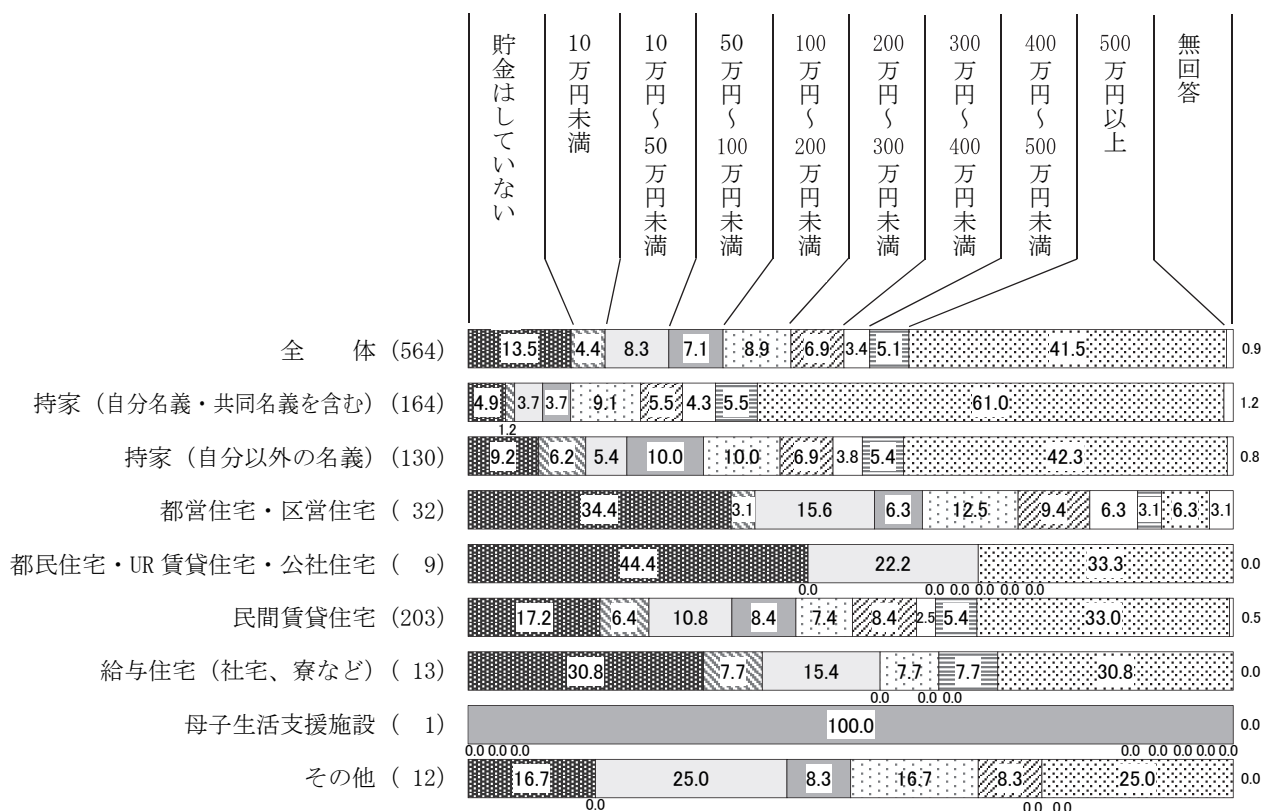
世帯の手取り合計額別にみると、合計額が200万円以上では収入が高くなるに従い貯金「500万円以上」の割合が増加し、合計額1,000万円以上では貯金「500万円以上」が9割近くを占めている。合計額600万円以上においては、「500万円以上」の割合は6割を超えている。

図表 64 世帯の手取り合計額別による貯金の状況（クロス集計）



住宅の種類別にみると、持家（自分名義・共同名義を含む）、持家（自分以外の名義）は貯金「500 万円以上」の割合が全体を上回っている。都営住宅・区営住宅、都民住宅・UR 賃貸住宅・公社住宅、民間賃貸住宅などの賃貸は、持家に比べて「貯金はしていない」割合が高い状況にある。

図表 65 住宅の種類別による貯金の状況（クロス集計）



#### (4) 現在の暮らしむき

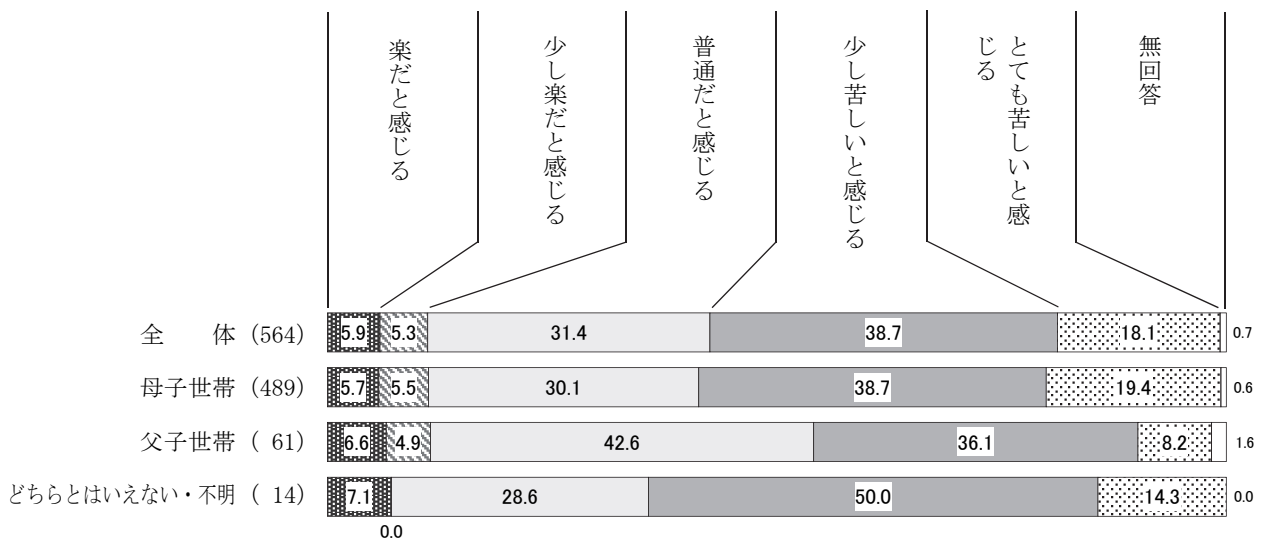
問 19 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

現在の暮らしむきは、全体をみると「少し苦しいと感じる」38.7%が最も高く、次いで「普通だと感じる」31.4%、「とても苦しいと感じる」18.1%の順に高くなっている。

『苦しいと感じる』（「少し苦しいと感じる」＋「とても苦しいと感じる」、以下同様）は56.8%、『楽だと感じる』（「楽だと感じる」＋「少し楽だと感じる」）は11.2%である。

世帯別に最も高い割合をみると、母子世帯は「少し苦しいと感じる」38.7%、父子世帯は「普通だと感じる」42.6%となっている。『苦しいと感じる』割合は、母子世帯は58.1%、父子世帯44.3%である。

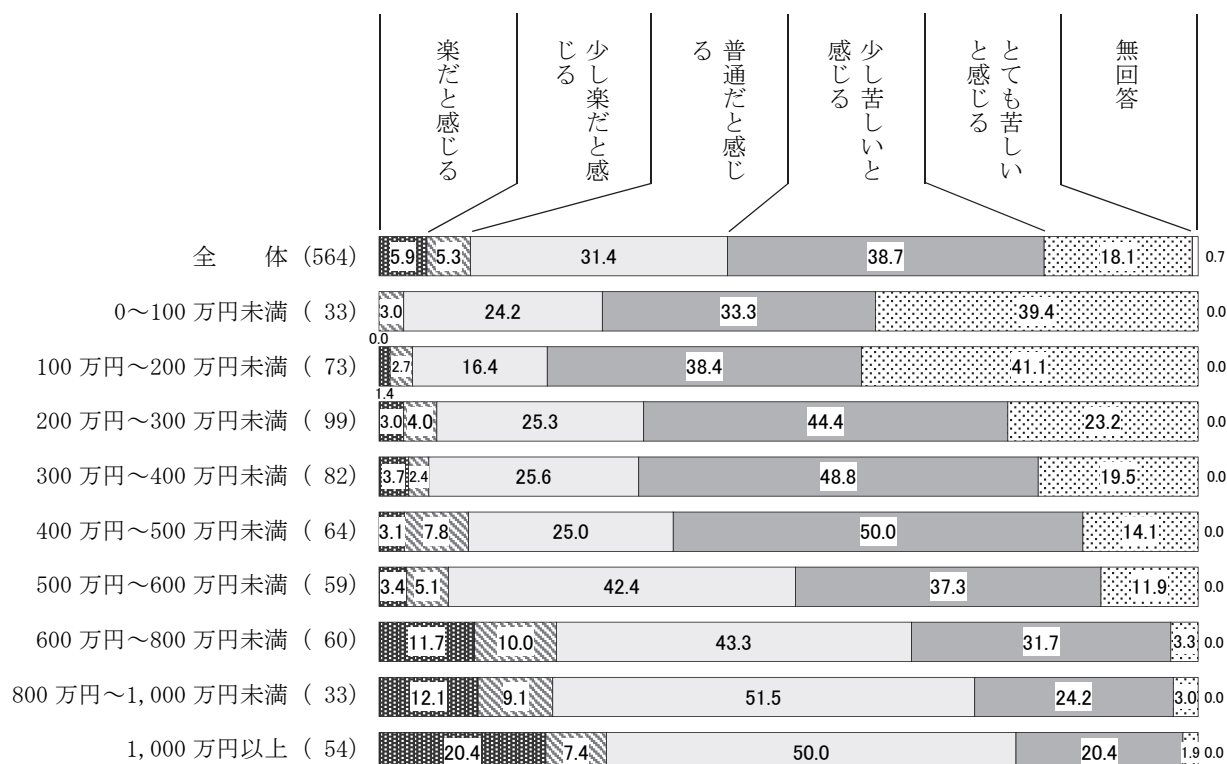
図表 66 現在の暮らしむき（単数回答）



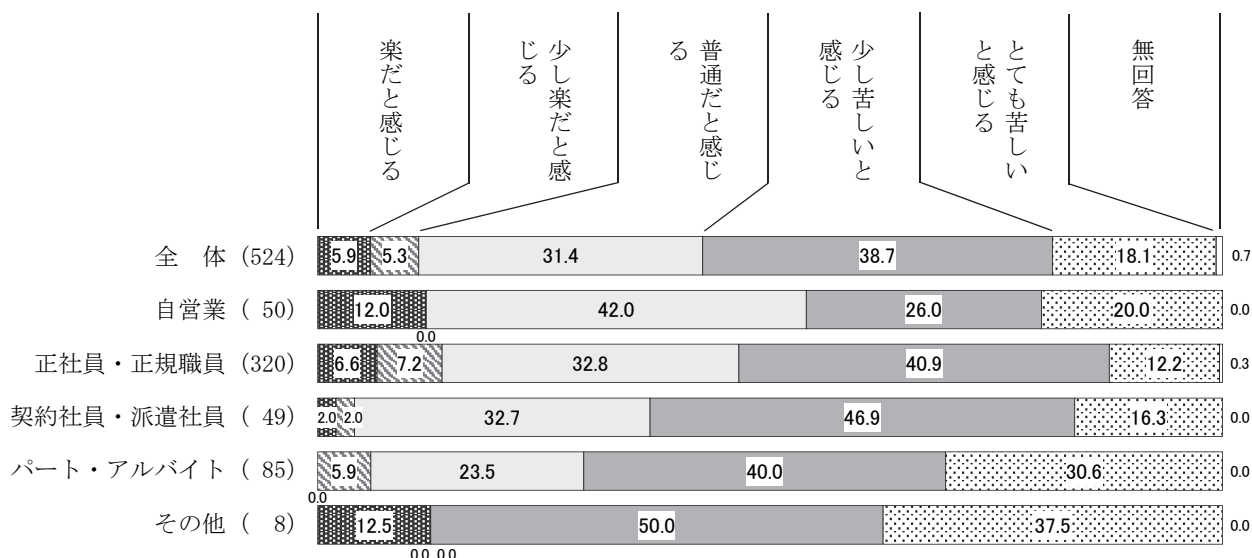
世帯の手取り合計額別にみると、合計額が500万円未満は『苦しいと感じる』割合が6割を超えるが、500万円以上になると「普通だと感じる」割合が最も高くなる。600万円以上になると『楽だと感じる』が2割を超える。

現在の雇用形態別にみると、自営業は「普通だと感じる」割合が最も高いが、自営業以外の雇用形態は「少し苦しいと感じる」が最も高くなっている。『苦しいと感じる』割合は、パート・アルバイト、契約社員・派遣社員、正社員・正規職員、自営業の順に高くなっている。

図表 67 世帯の手取り合計額別による現在の暮らしむき（クロス集計）



図表 68 現在の雇用形態別による現在の暮らしむき（クロス集計）



## 7 子育てについて

### (1) 子どもが病気のと時の子どもの世話

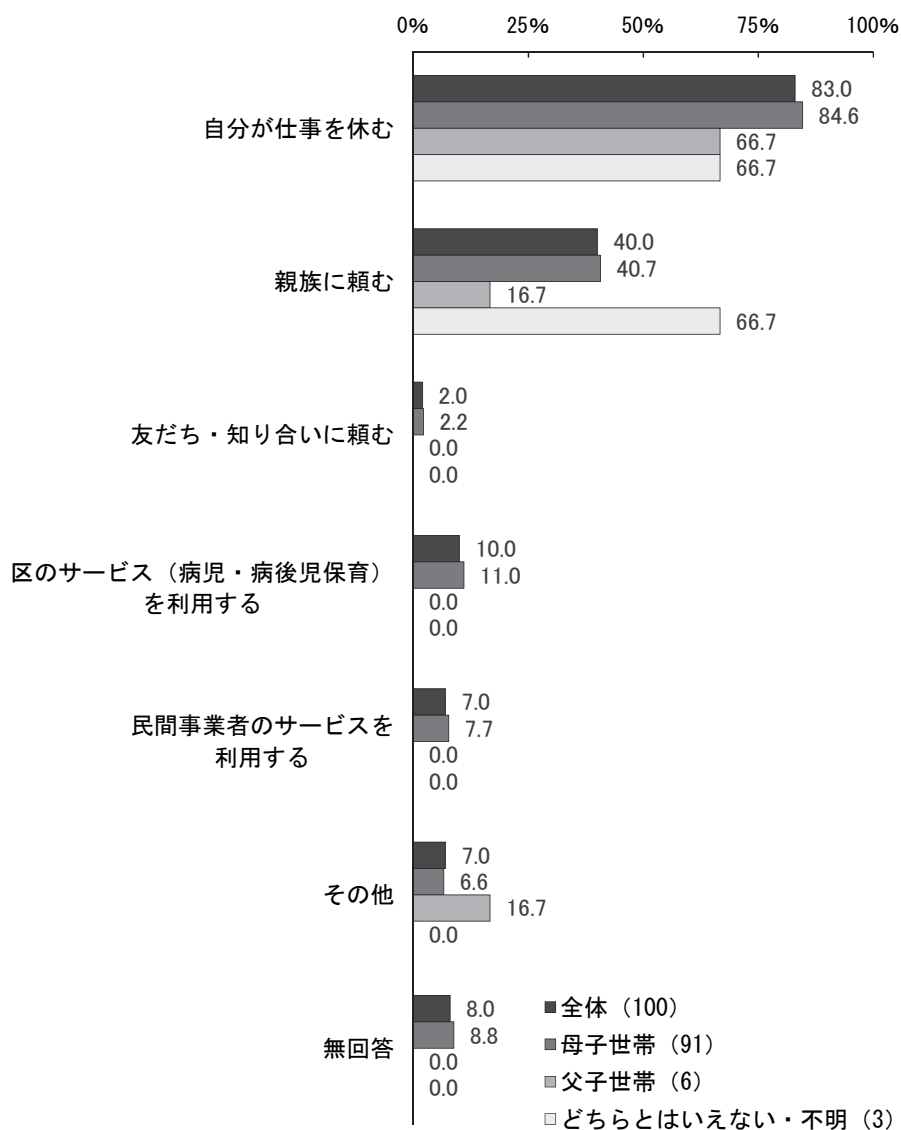
■ 小学校入学前のお子さんと一緒に暮らしている方にお聞きます。

問20 あなたのお子さんが病気のと時、お子さんの世話をどうしていますか（どうしますか）。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもが病気のと時の子どもの世話は、全体をみると「自分が仕事を休む」83.0%が最も高く、他を大きく上回っている。次いで「親族に頼む」40.0%、「区のサービス（病児・病後児保育）を利用する」10.0%の順に高くなっている。「その他」においては、「テレワークをしながら世話」などの記載があった。

世帯別にみると、父子世帯は回答数が1桁のため参考にとどめるが、母子世帯では父子世帯より「自分が仕事を休む」割合が高い。

図表 69 子どもが病気のと時の子どもの世話（複数回答）



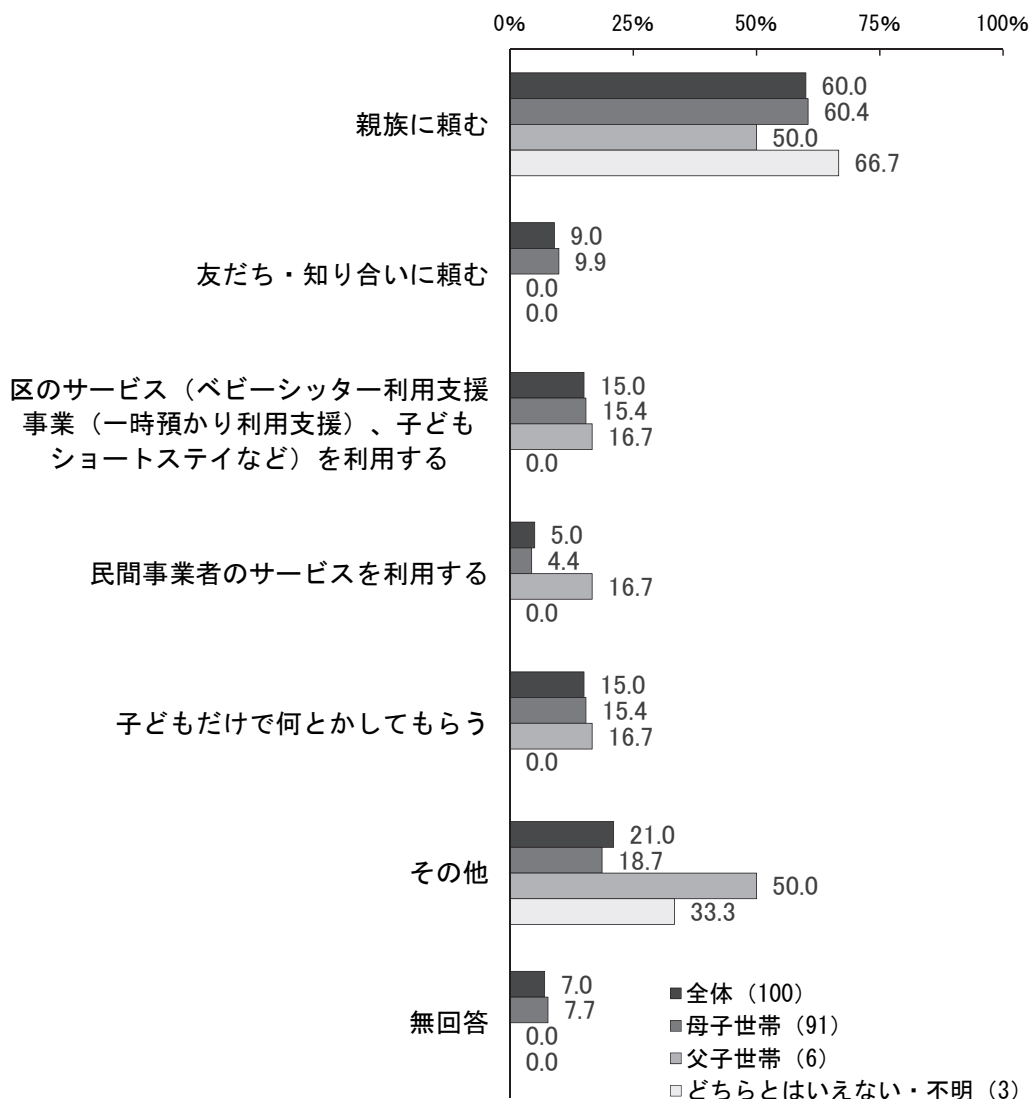
## (2) 父母自身が病気などのときの子どもの世話

問21 あなたが病気などで、お子さんの世話ができないとき、どうしていますか（どうしますか）。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

父母自身が病気などのときの子どもの世話は、全体をみると「親族に頼む」60.0%が最も高く、他を大きく上回っている。次いで「その他」21.0%、「区のサービス（ベビーシッター利用支援事業（一時預かり利用支援）、子どもショートステイなど）を利用する」「子どもだけで何とかしてもらう」がどちらも15.0%となっている。「その他」においては、「自分でなんとかする」などの記載があった。

世帯別にみると、父子世帯は回答数が1桁のため参考にとどめるが、母子世帯では父子世帯より「親族に頼む」割合が高く、父子世帯では母子世帯より「区のサービス（ベビーシッター利用支援事業（一時預かり利用支援）、子どもショートステイなど）を利用する」「民間事業者のサービスを利用する」「子どもだけで何とかしてもらう」が高くなっている。

図表 70 父母自身が病気などのときの子どもの世話（複数回答）



### (3) 子どもと過ごす時間

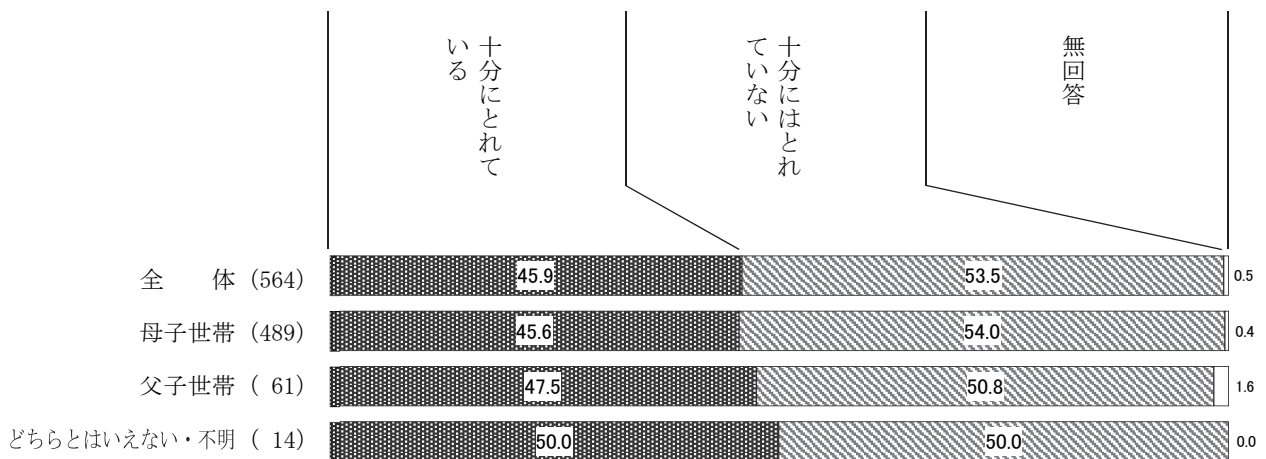
問22 家庭でお子さんと過ごす時間について、どう感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

子どもと過ごす時間は、全体をみると「十分にはとれていない」53.5%であり、「十分にとれている」45.9%を上回っている。

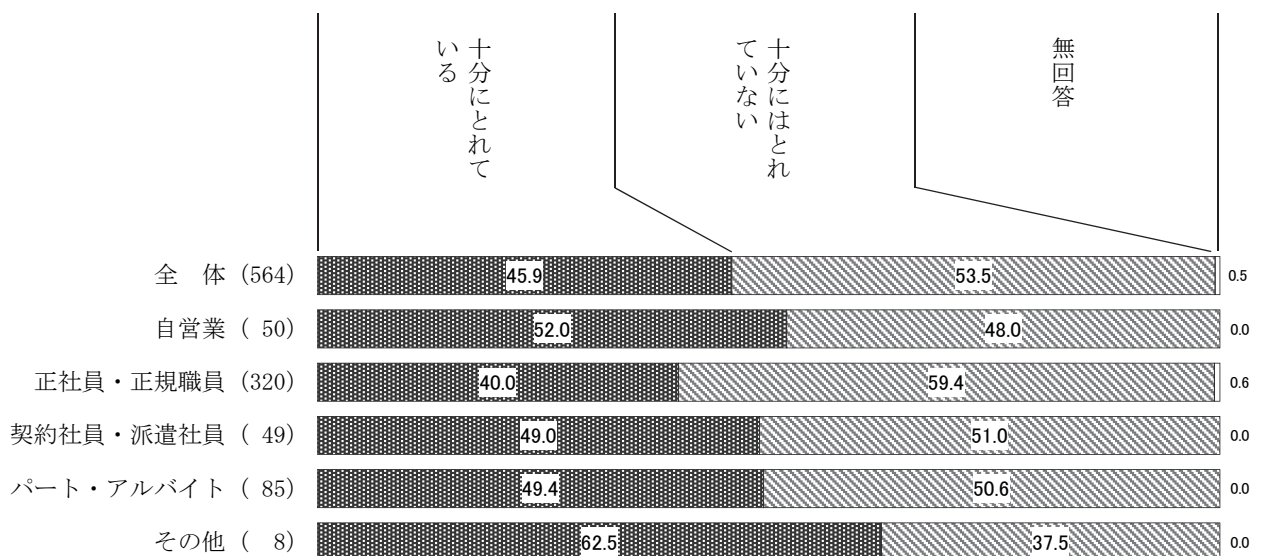
世帯別にみると、父子世帯に比べて母子世帯に「十分にはとれていない」割合が高い。

現在の雇用形態別にみると、正社員・正規職員、契約社員・派遣社員、パート・アルバイトは「十分にはとれていない」が5割を超え、「十分にとれている」を上回っている。一方で、自営業では「十分にとれている」が5割を超え、「十分にはとれていない」を上回っている。

図表 71 子どもと過ごす時間（単数回答）



図表 72 現在の雇用形態別による子どもと過ごす時間（クロス集計）



#### (4) 子どもとの会話・やりとり

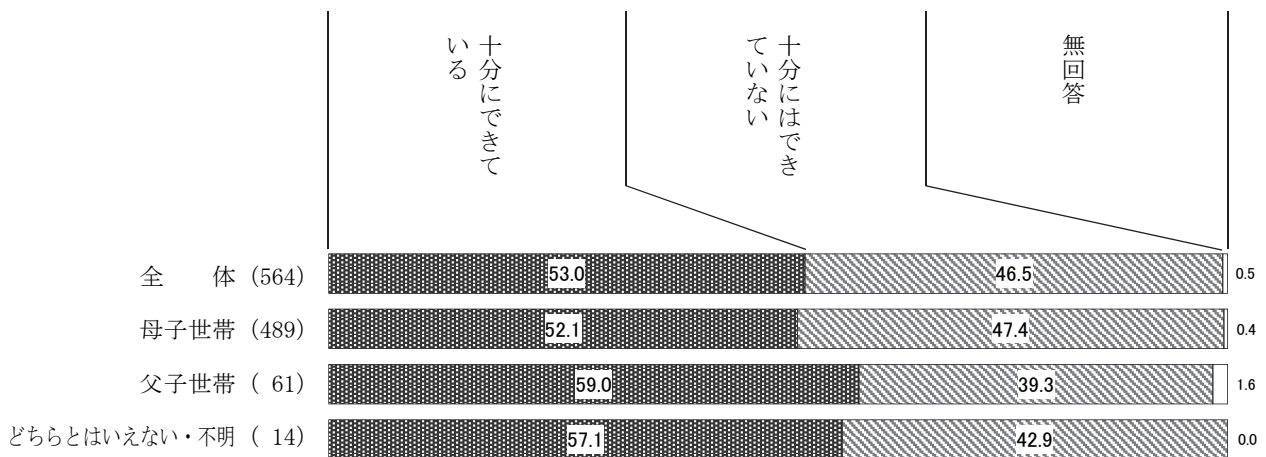
問23 お子さんとの会話・やりとりについて、どう感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

子どもとの会話・やりとりは、全体をみると「十分にできている」53.0%であり、「十分にはできていない」46.5%を上回っている。

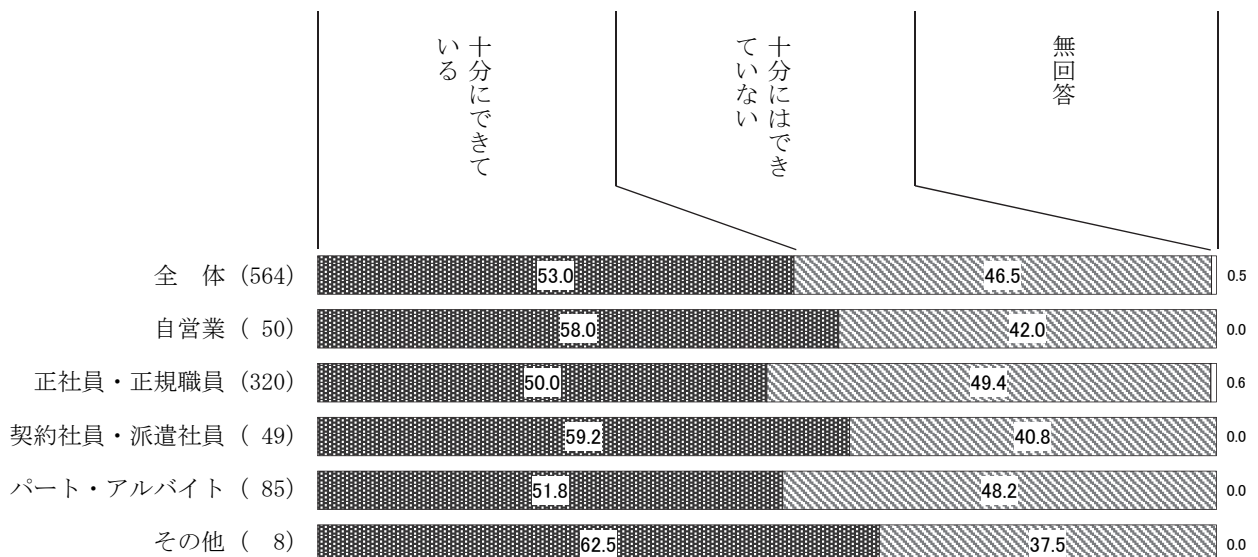
世帯別にみると、母子世帯に比べて父子世帯に「十分にできている」割合が高い。

現在の雇用形態別にみると、自営業、契約社員・派遣社員は「十分にできている」割合が他の雇用形態に比べて高くなっている。

図表 73 子どもとの会話・やりとり（単数回答）



図表 74 現在の雇用形態別による子どもとの会話・やりとり（クロス集計）



## (5) 子どもと一緒にした体験

問24 この1年間で、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。①～⑥のそれぞれにあてはまる番号1つに○をつけてください。

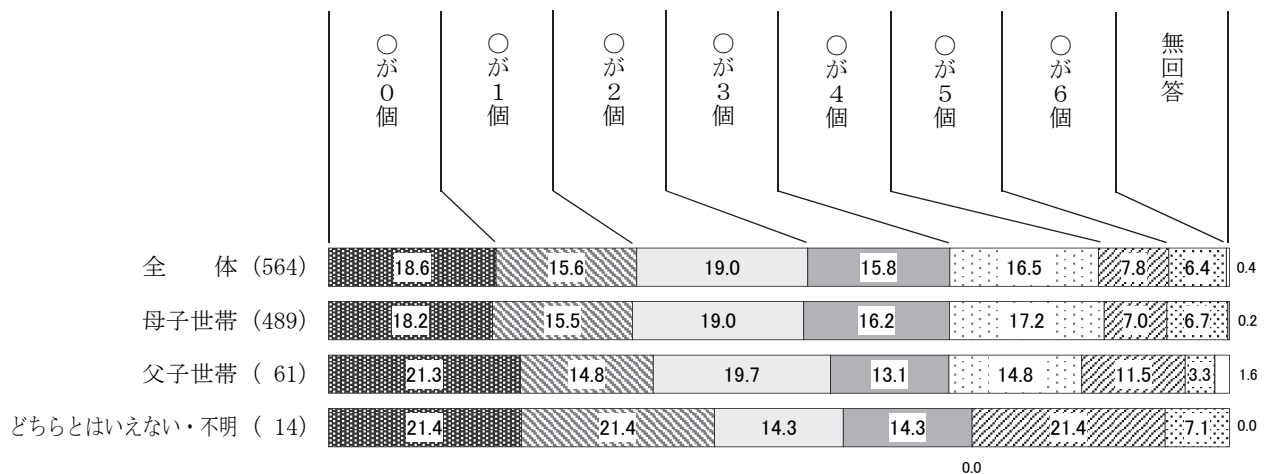
子どもと一緒にした体験について全体でみると、「ある」割合は⑥旅行（国内・海外）に行く 62.9%が最も高い。次いで⑤遊園地やテーマパークに行く 48.9%、④スポーツ観戦や劇場に行く 42.6%、②博物館・科学館・美術館などに行く 42.0%が、4割を超えた体験となっている。①海水浴に行く 24.1%、③キャンプやバーベキューに行く 23.6%などの屋外体験は、「ある」は2割台と低くなっている。

「ない／金銭的な理由で」の割合が他に比べて高いのは⑤遊園地やテーマパークに行く、⑥旅行（国内・海外）に行く、「ない／時間の制約で」の割合が他に比べて高いのは①海水浴に行く、②博物館・科学館・美術館などに行くである。

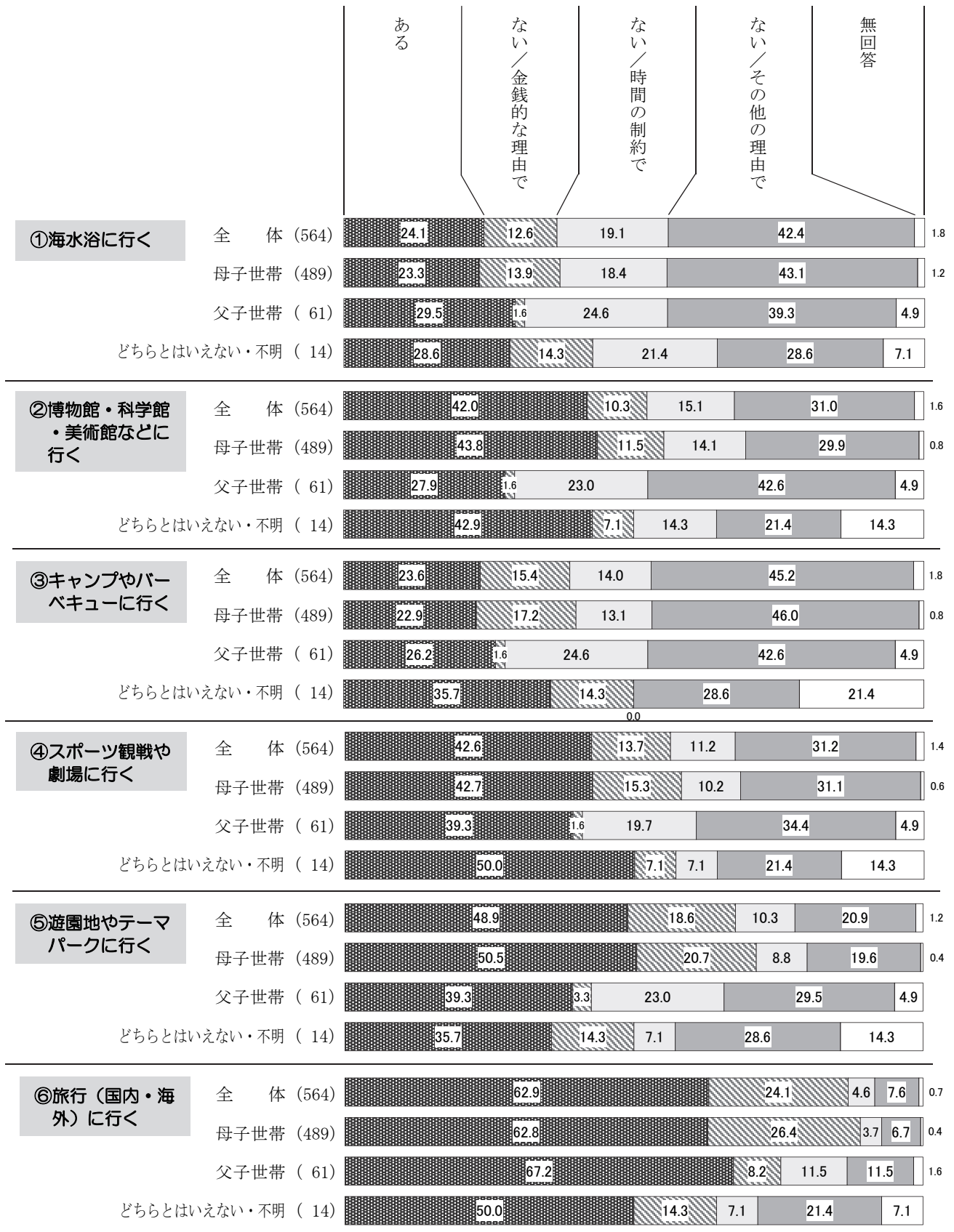
世帯別にみると、母子世帯は父子世帯に比べて②博物館・科学館・美術館などに行く、④スポーツ観戦や劇場に行く、⑤遊園地やテーマパークに行くの割合が高く、一方で、父子世帯は母子世帯に比べて①海水浴に行く、③キャンプやバーベキューに行く、⑥旅行（国内・海外）に行く割合が高くなっている。

「ない／金銭的な理由で」は、①～⑥全ての項目で母子世帯が父子世帯を上回り、「ない／時間の制約で」は全ての項目で父子世帯が母子世帯を上回っている。

図表 75 【参考】子どもと一緒にした体験（①～⑥において経験が「ある」に○があった個数）



図表 76 子どもと一緒にした体験（単数回答）



## 8 健康について

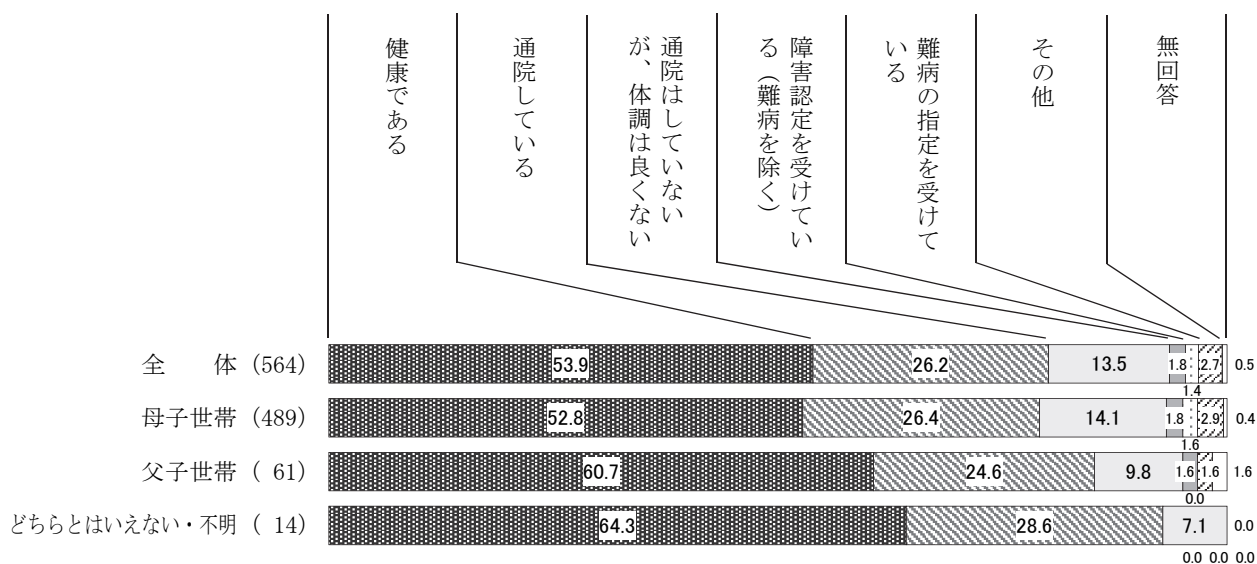
### (1) 父母自身の健康状態

問25 あなたの、現在の健康状態はいかがですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

父母自身の健康状態は、全体をみると「健康である」が53.9%で最も高く、次いで「通院している」26.2%、「通院はしていないが、体調は良くない」13.5%の順に高くなっている。

世帯別にみると、「健康である」は母子世帯52.8%、父子世帯60.7%であり、母子世帯に比べて父子世帯に「健康である」割合が高くなっている。

図表 77 父母自身の健康状態（単数回答）



## 9 エネルギー機器の使用などについて

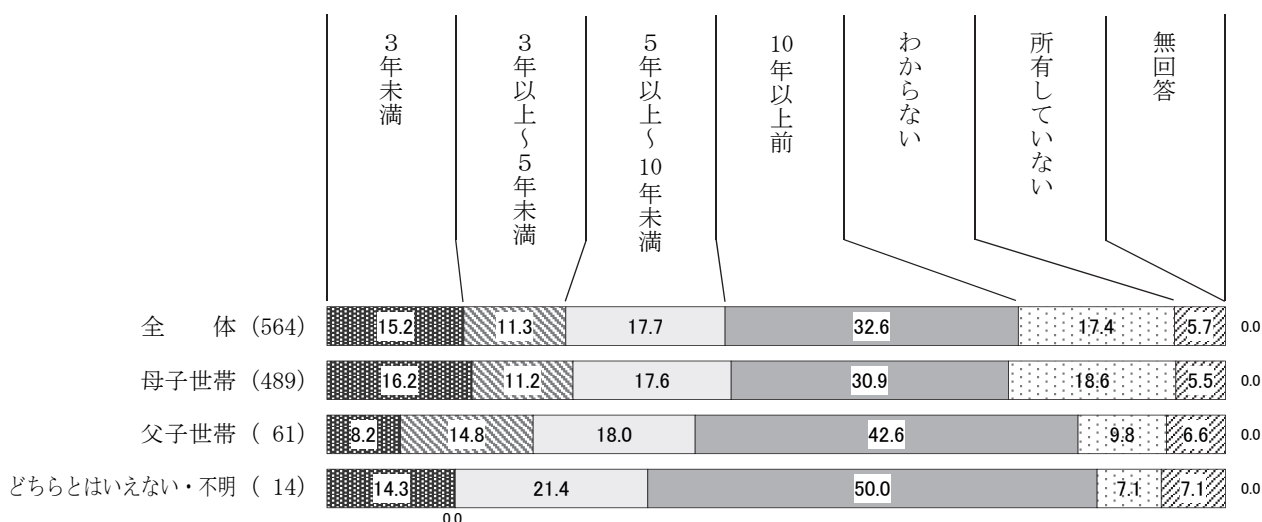
### (1) 使用しているエアコンの購入時期

問26 現在、ご家庭で使用しているエアコン（一番古いもの）を購入したのはいつ頃ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

使用しているエアコンの購入時期は、全体をみると「10年以上前」が32.6%で最も高く、次いで「5年以上～10年未満」17.7%、「わからない」17.4%の順に高くなっている。5年未満はあわせて26.5%である。

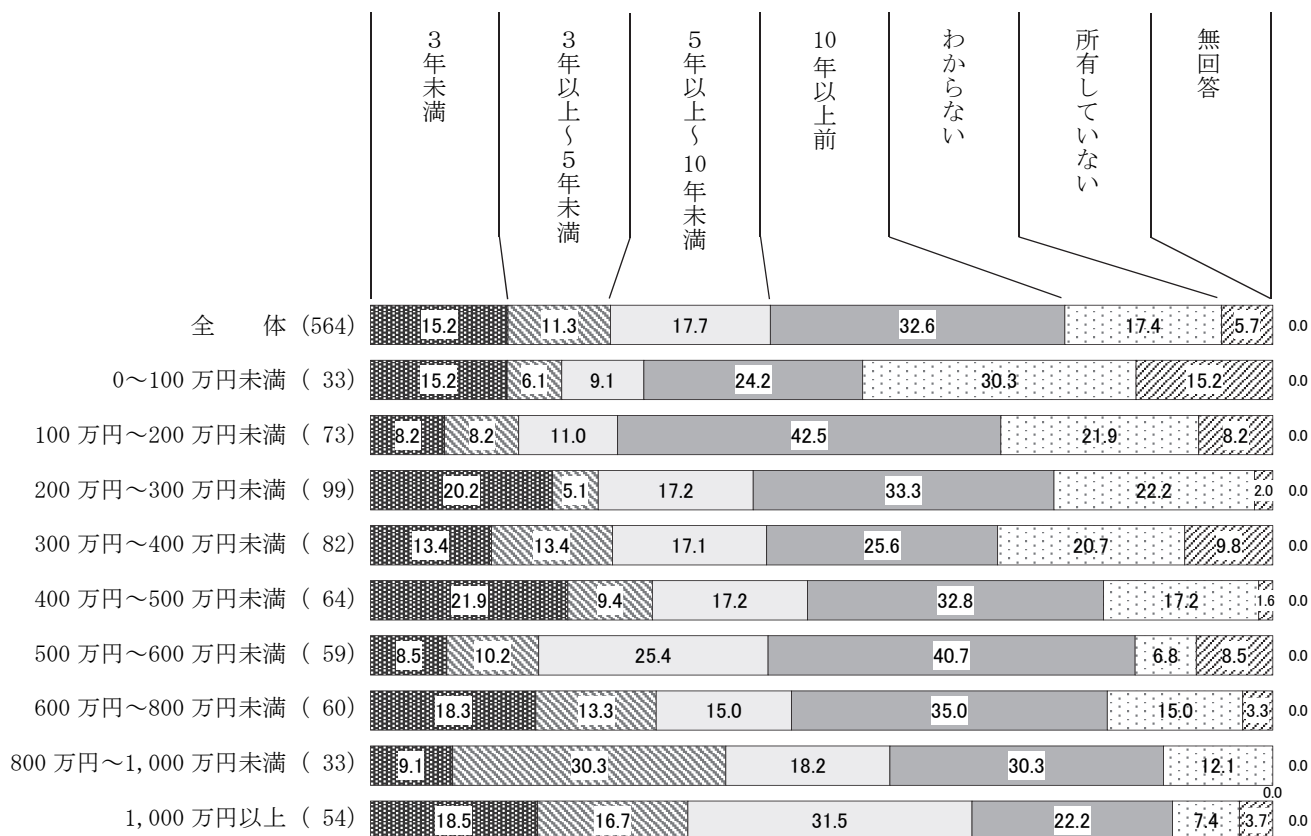
世帯別にみると、5年未満は父子世帯に比べて母子世帯に高く、「10年以上前」は母子世帯に比べて父子世帯に高くなっている。

図表 78 使用しているエアコンの購入時期（単数回答）



世帯の手取り合計額別にみると、合計額が 400 万円未満では「10 年以上前」「わからない」の割合が高いが、400 万円～500 万円未満、600 万円～800 万円未満では「3 年未満」「10 年以上前」、500 万円～600 万円未満、1,000 万円以上では「5 年以上 10 年未満」「10 年以上前」、800 万円～1,000 万円未満では「3 年以上～5 年未満」「10 年以上前」の割合が高くなっている。400 万円以上では「わからない」の割合は全体を下回っている。

図表 79 世帯の手取り合計額別による使用しているエアコンの購入時期（クロス集計）



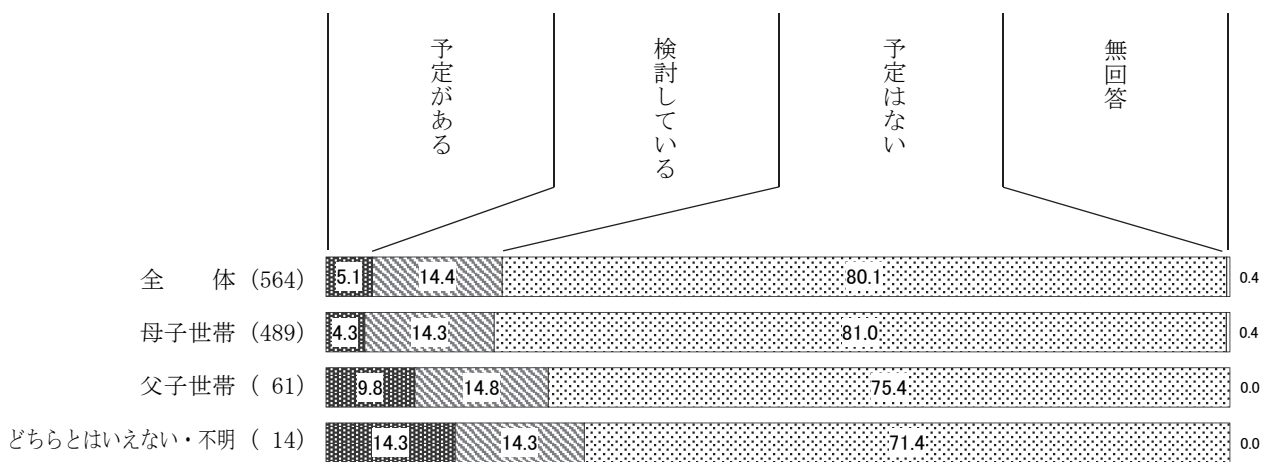
## (2) エアコンの買い替え又は購入予定

問26-1 おおむね1年以内にエアコンを買い替え又は購入する予定はありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

エアコンの買い替え又は購入予定は、全体をみると「予定はない」が80.1%を占めている。「検討している」は14.4%、「予定がある」は5.1%である。

世帯別にみると、母子世帯に比べて父子世帯に「予定がある」「検討している」が高く、父子世帯では24.6%が購入予定又は検討をしている状況となっている。

図表 80 エアコンの買い替え又は購入予定（単数回答）



### (3) エアコンの買い替え又は購入予定がない理由

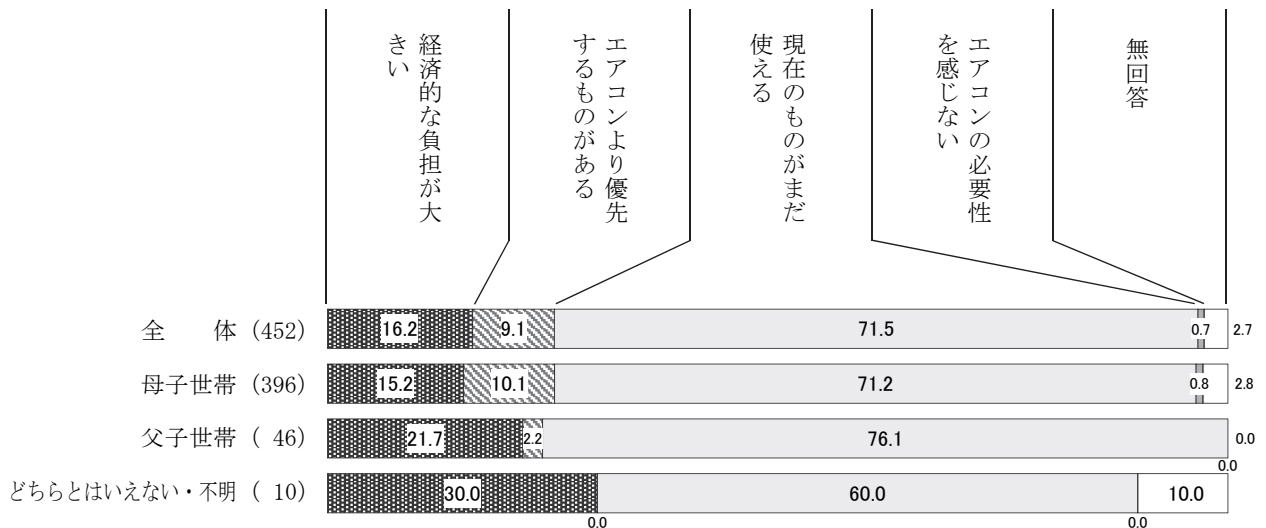
■問26-1で、「予定はない」に○をつけた方にお聞きします。

問26-2 予定はないとした最も大きな理由として、あてはまる番号1つに○をつけてください。

問26-1で、「予定はない」に○をつけた方にエアコンの買い替え又は購入予定がない理由をたずねたところ、全体をみると「現在のものがまだ使える」が71.5%と高くなっている。次いで「経済的な負担が大きい」16.2%、「エアコンより優先するものがある」9.1%の順に高くなっている。

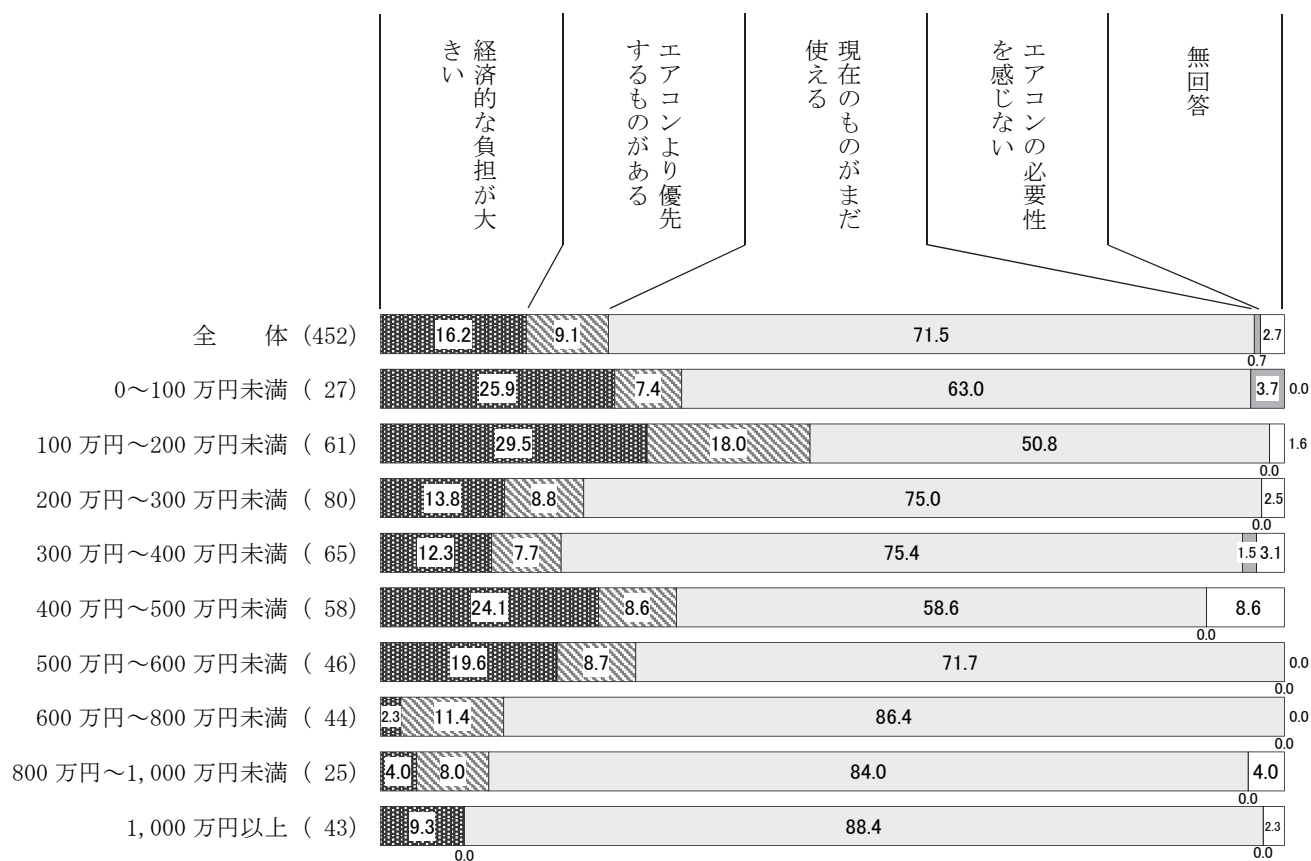
世帯別にみると、父子世帯に比べて母子世帯は「エアコンより優先するものがある」、「経済的な負担が大きい」「現在のものがまだ使える」が高くなっている。

図表 81 エアコンの買い替え又は購入予定がない理由（単数回答）



世帯の手取り合計額別にみると、合計額が 200 万円未満、400 万円～500 万円未満、500 万円～600 万円未満では「経済的な負担が大きい」が高く、100 万円～200 万円未満では「エアコンより優先するものがある」の割合が他に比べて高くなっている。

図表 82 世帯の手取り合計額別によるエアコンの買い替え又は購入予定がない理由（クロス集計）



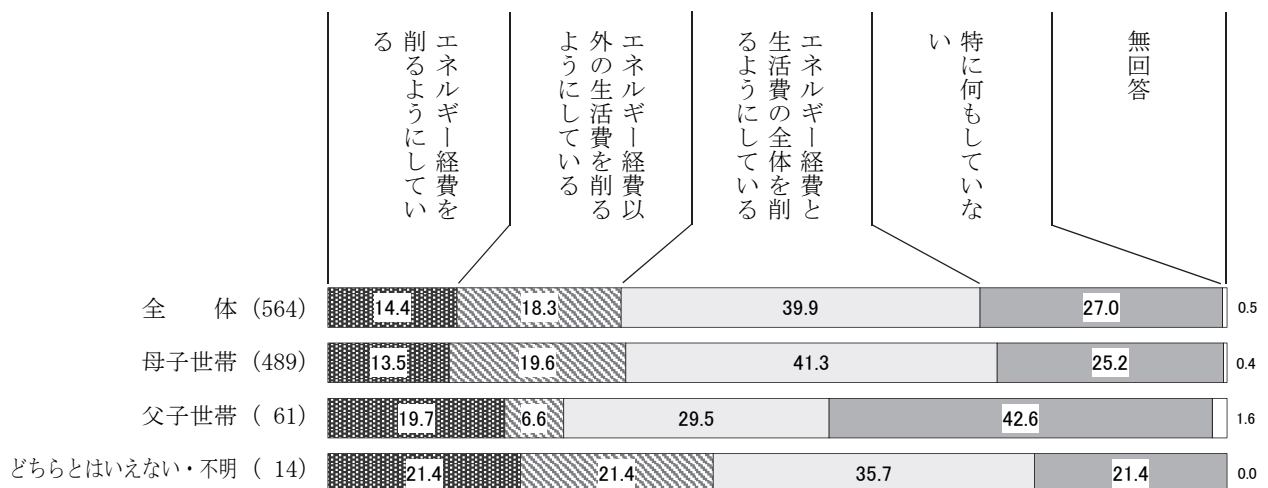
#### (4) エネルギー経費の家計への負担

問26-3 エネルギー経費（電気・ガス・ガソリン代など）が家計の負担となっていて、エアコンやガスなどの使用を控えたり、その他の生活費（食費、服飾費、住居費など）を削減していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

エネルギー経費の家計への負担は、「特に何もしていない」は27.0%であり、『経費を削るようにしている』（全体－「特に何もしていない」－「無回答」）は72.5%である。削っている経費は、「エネルギー経費と生活費の全体を削るようにしている」が39.9%で最も高く、次いで「エネルギー経費以外の生活費を削るようにしている」18.3%、「エネルギー経費を削るようにしている」14.4%の順に高くなっている。

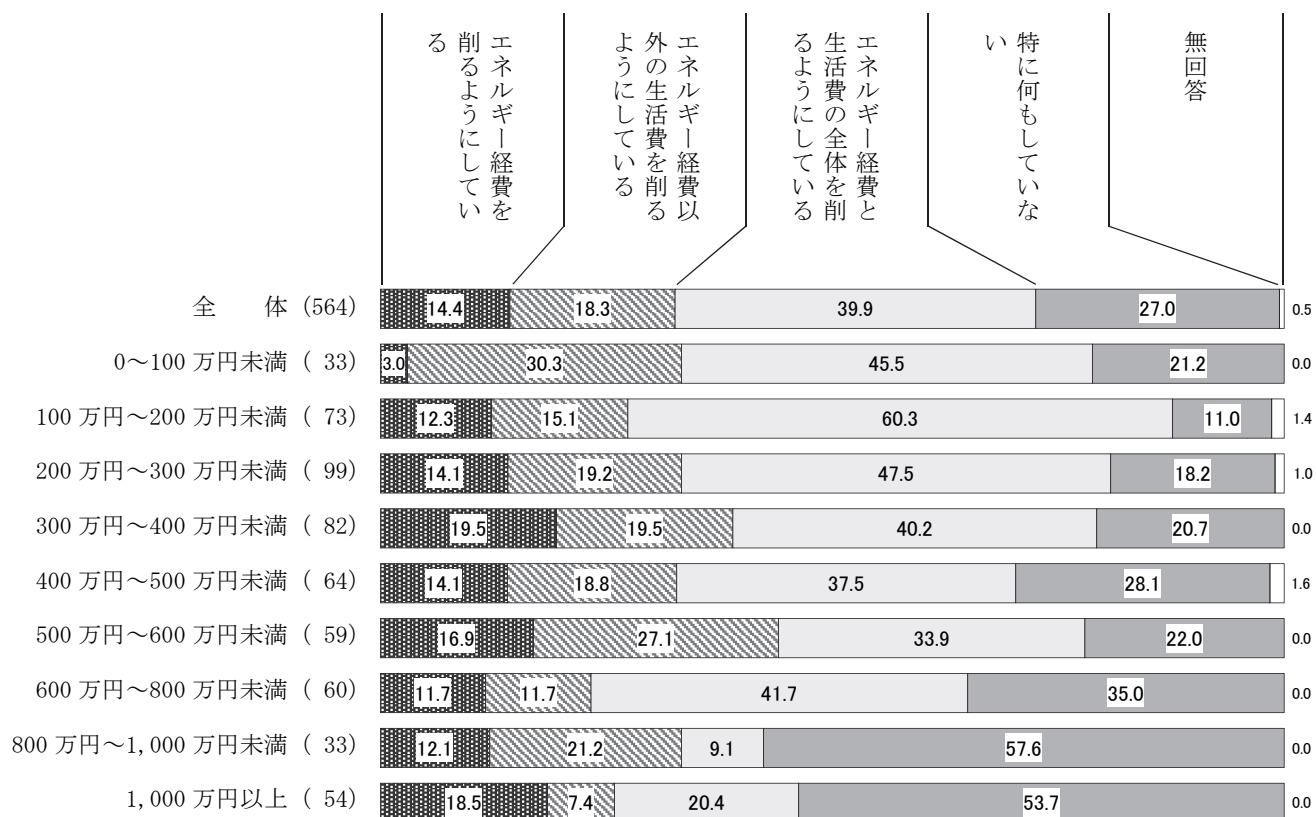
世帯別にみると、母子世帯では「エネルギー経費と生活費の全体を削るようにしている」41.3%、父子世帯では「特に何もしていない」42.6%がそれぞれ最も高くなっている。

図表 83 エネルギー経費の家計への負担（単数回答）



世帯の手取り合計額別にみると、合計額が800万円以上は5割以上が「特に何もしていない」と回答している。一方で、600万円未満では7割以上がエネルギー経費、エネルギー経費以外の生活費などを削るようにしていると回答している。

図表 84 世帯の手取り合計額別によるエネルギー経費の家計への負担（クロス集計）



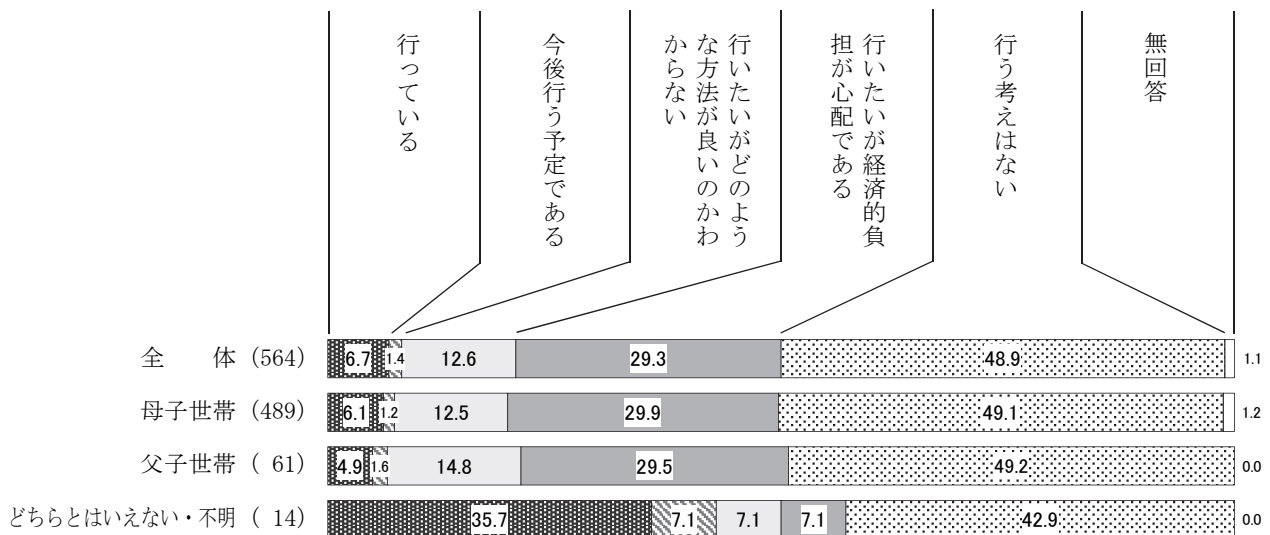
## (5) エネルギー経費削減への取り組み

問26-4 エネルギー経費削減のため、住宅の壁、床、屋根、窓などの耐熱化や太陽光発電機器の導入などの対策を行っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

耐熱化や太陽光発電機器の導入などのエネルギー経費削減への取り組みは、全体をみると既に「行っている」が6.7%、「今後行う予定である」1.4%であり、最も高い割合は「行う考えはない」の48.9%である。『行いたい』（「行いたいけどどのような方法が良いのかわからない」＋「行いたいけど経済的負担が心配である」）は41.9%である。

世帯別にみると、母子世帯、父子世帯ともに「行う考えはない」が最も高い割合となっており、母子世帯、父子世帯では大きな違いはみられない。どちらともはいえない・不明世帯では「行っている」が35.7%となっている。

図表 85 エネルギー経費削減への取り組み（単数回答）



## 10 悩みや困りごとなどについて

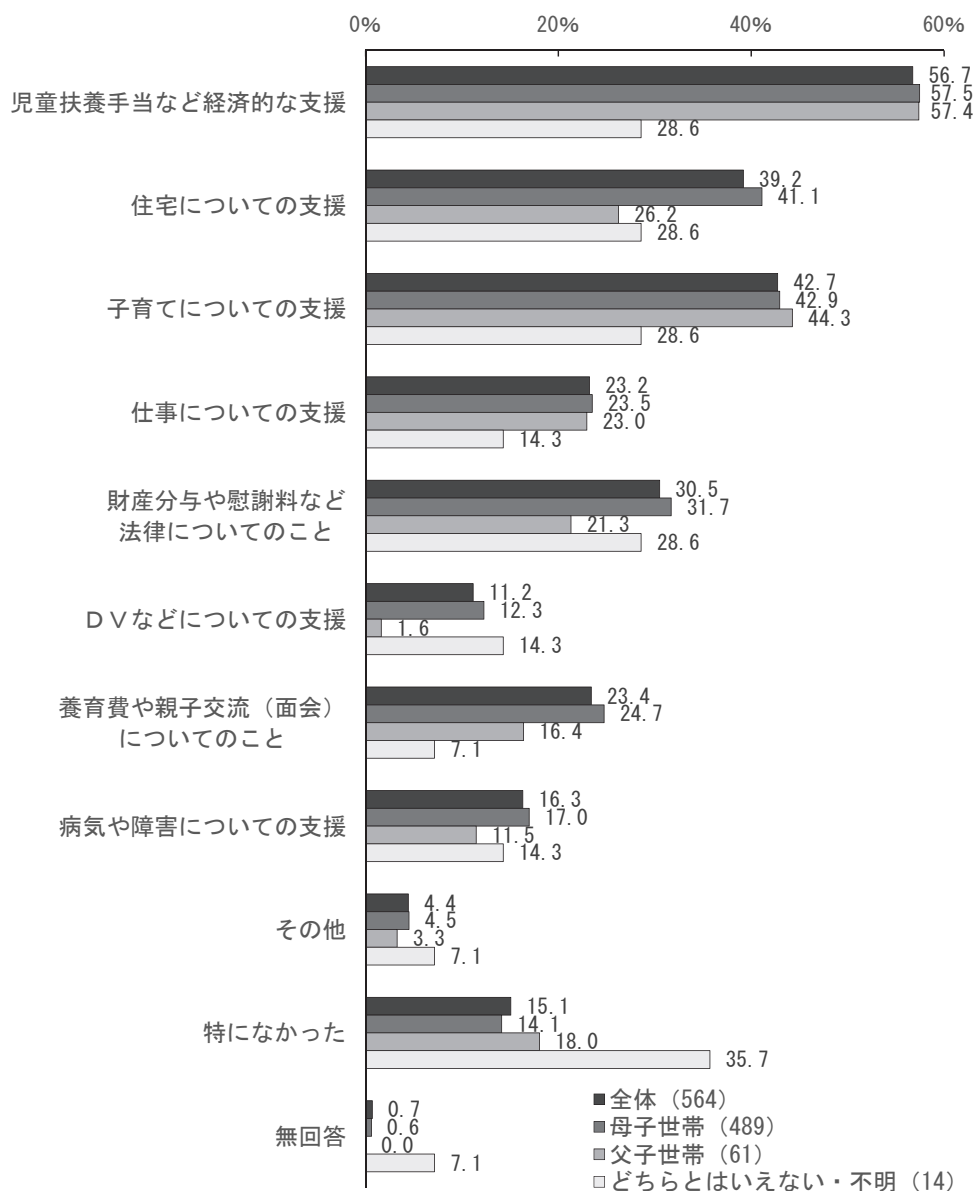
### (1) ひとり親になる前に知りたかったこと

問27 あなたがひとり親になる前に知りたかったことはありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

ひとり親になる前に知りたかったことは、全体をみると「児童扶養手当など経済的な支援」56.7%が最も高く、次いで「子育てについての支援」42.7%、「住宅についての支援」39.2%、「財産分与や慰謝料など法律についてのこと」30.5%の順に高くなっている。『知りたかったことがある』（全体－「特になかった」－「無回答」）割合は84.2%である。

世帯別にみると、母子世帯より父子世帯の割合が高いのは「子育てについての支援」「特になかった」であり、他はすべて母子世帯が父子世帯を上回っている。

図表 86 ひとり親になる前に知りたかったこと（複数回答）



ひとり親になった理由別にみると、死別、離婚、別居は「児童扶養手当など経済的な支援」、未婚・非婚は「子育てについての支援」が最も高くなっている。

図表 87 ひとり親になった理由別によるひとり親になる前に知りたかったこと（クロス集計）

		全 体	児童扶養手当など経済的な 支援	住宅についての支援	子育てについての支援	仕事についての支援	財産分与や慰謝料など法律 についてのこと	DVなどについての支援	養育費や親子交流（面会）に ついてのこと	病気や障害についての支援	その他	特になかった	無回答
全 体		564 100.0	320 56.7	221 39.2	241 42.7	131 23.2	172 30.5	63 11.2	132 23.4	92 16.3	25 4.4	85 15.1	4 0.7
ひとり親になった理由別	死別	71 100.0	43 60.6	16 22.5	19 26.8	19 26.8	11 15.5	4 5.6	2 2.8	10 14.1	3 4.2	19 26.8	1 1.4
	離婚	372 100.0	220 59.1	159 42.7	166 44.6	93 25.0	134 36.0	48 12.9	112 30.1	66 17.7	13 3.5	44 11.8	1 0.3
	未婚・非婚	61 100.0	30 49.2	26 42.6	35 57.4	13 21.3	8 13.1	0 0.0	5 8.2	9 14.8	3 4.9	12 19.7	0 0.0
	別居	51 100.0	23 45.1	17 33.3	19 37.3	3 5.9	18 35.3	9 17.6	11 21.6	5 9.8	6 11.8	8 15.7	1 2.0
	その他	6 100.0	4 66.7	3 50.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	2 33.3	2 33.3	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0

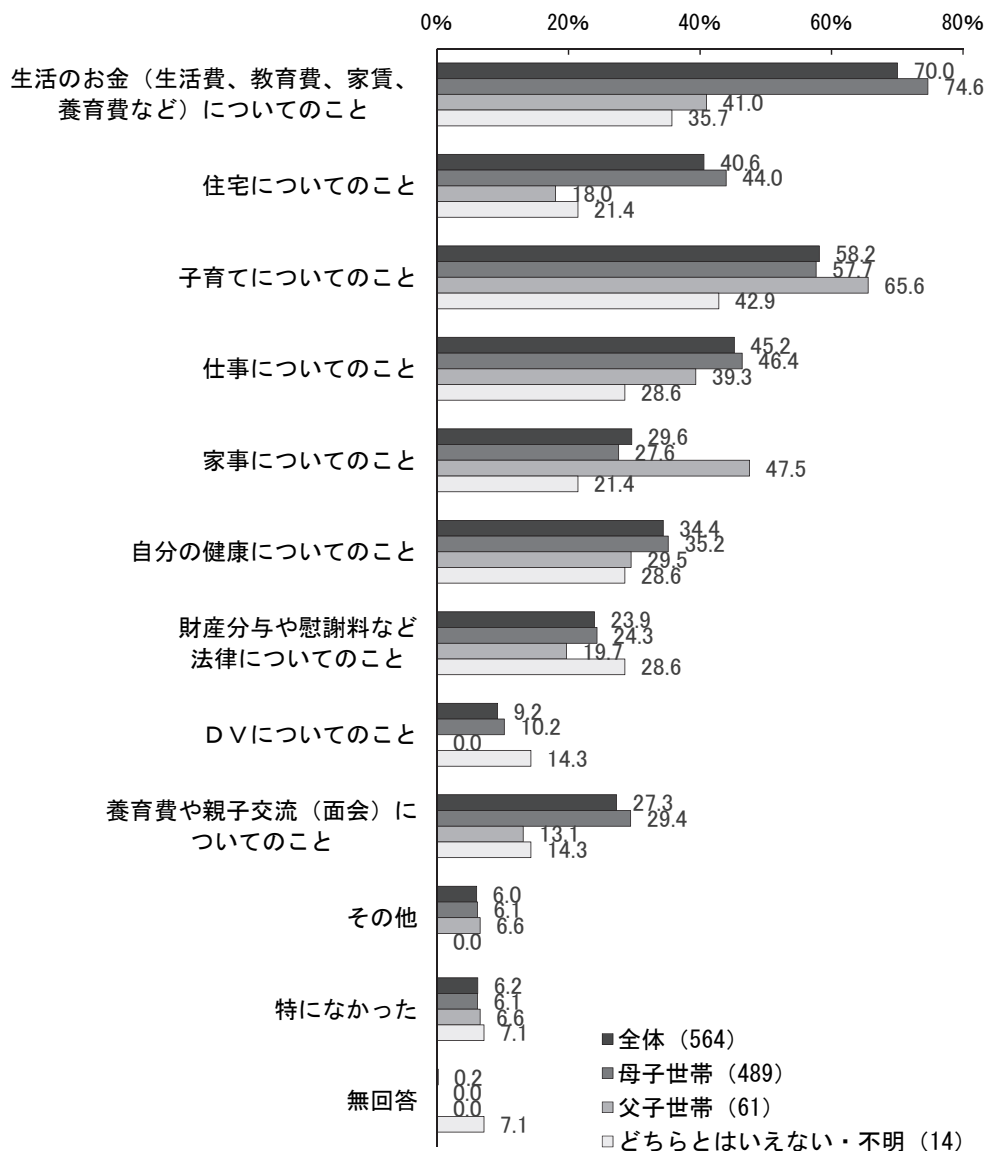
## (2) ひとり親になった当時の悩みや困り事

問28 ひとり親になったときに、悩みや困り事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

ひとり親になった当時の悩みや困り事は、全体をみると「生活のお金（生活費、教育費、家賃、養育費など）についてのこと」70.0%が最も高く、次いで「子育てについてのこと」58.2%、「仕事についてのこと」45.2%の順に高くなっている。『悩みや困り事があった』（全体－「特になかった」－「無回答」）割合は93.6%である。

世帯別にみると、母子世帯の上位は「生活のお金（生活費、教育費、家賃、養育費など）についてのこと」「子育てについてのこと」「仕事についてのこと」、父子世帯の上位は「子育てについてのこと」「家事についてのこと」「生活のお金（生活費、教育費、家賃、養育費など）についてのこと」となっている。

図表 88 ひとり親になった当時の悩みや困り事（複数回答）



ひとり親になった理由別にみると、死別、離婚、未婚・非婚、別居において「生活のお金（生活費、教育費、家賃、養育費など）についてのこと」が最も高く、次いで「子育てについてのこと」が続いている。死別は「自分の健康についてのこと」、別居は「財産分与や慰謝料など法律についてのこと」についての割合が他に比べて高くなっている。

図表 89 ひとり親になった理由別によるひとり親になった当時の悩みや困り事（クロス集計）

		全 体	生活のお金（生活費、 教育費、家賃、養育 費など）についてのこと	住 宅 に 関 する こ と	子 育 て に 関 する こ と	仕 事 に 関 する こ と	家 事 に 関 する こ と	自 分 の 健 康 に 関 する こ と	財 産 分 与 や 慰 謝 料 な ど 法 律 に 関 する こ と	D V に 関 する こ と	養 育 費 や 親 子 交 流 （ 面 会 ） に 関 する こ と	そ の 他	特 に な か つ た	無 回 答
全 体		564 100.0	395 70.0	229 40.6	328 58.2	255 45.2	167 29.6	194 34.4	135 23.9	52 9.2	154 27.3	34 6.0	35 6.2	1 0.2
ひとり親 になっ た理 由別	死別	71 100.0	47 66.2	17 23.9	45 63.4	35 49.3	28 39.4	35 49.3	8 11.3	2 2.8	1 1.4	8 11.3	2 2.8	0 0.0
	離婚	372 100.0	269 72.3	166 44.6	216 58.1	166 44.6	95 25.5	121 32.5	97 26.1	37 9.9	125 33.6	17 4.6	24 6.5	0 0.0
	未婚・非婚	61 100.0	44 72.1	23 37.7	37 60.7	29 47.5	27 44.3	19 31.1	5 8.2	0 0.0	7 11.5	4 6.6	5 8.2	0 0.0
	別居	51 100.0	32 62.7	22 43.1	25 49.0	22 43.1	15 29.4	15 29.4	23 45.1	11 21.6	18 35.3	4 7.8	2 3.9	0 0.0
	その他	6 100.0	3 50.0	1 16.7	3 50.0	2 33.3	2 33.3	3 50.0	2 33.3	2 33.3	3 50.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0

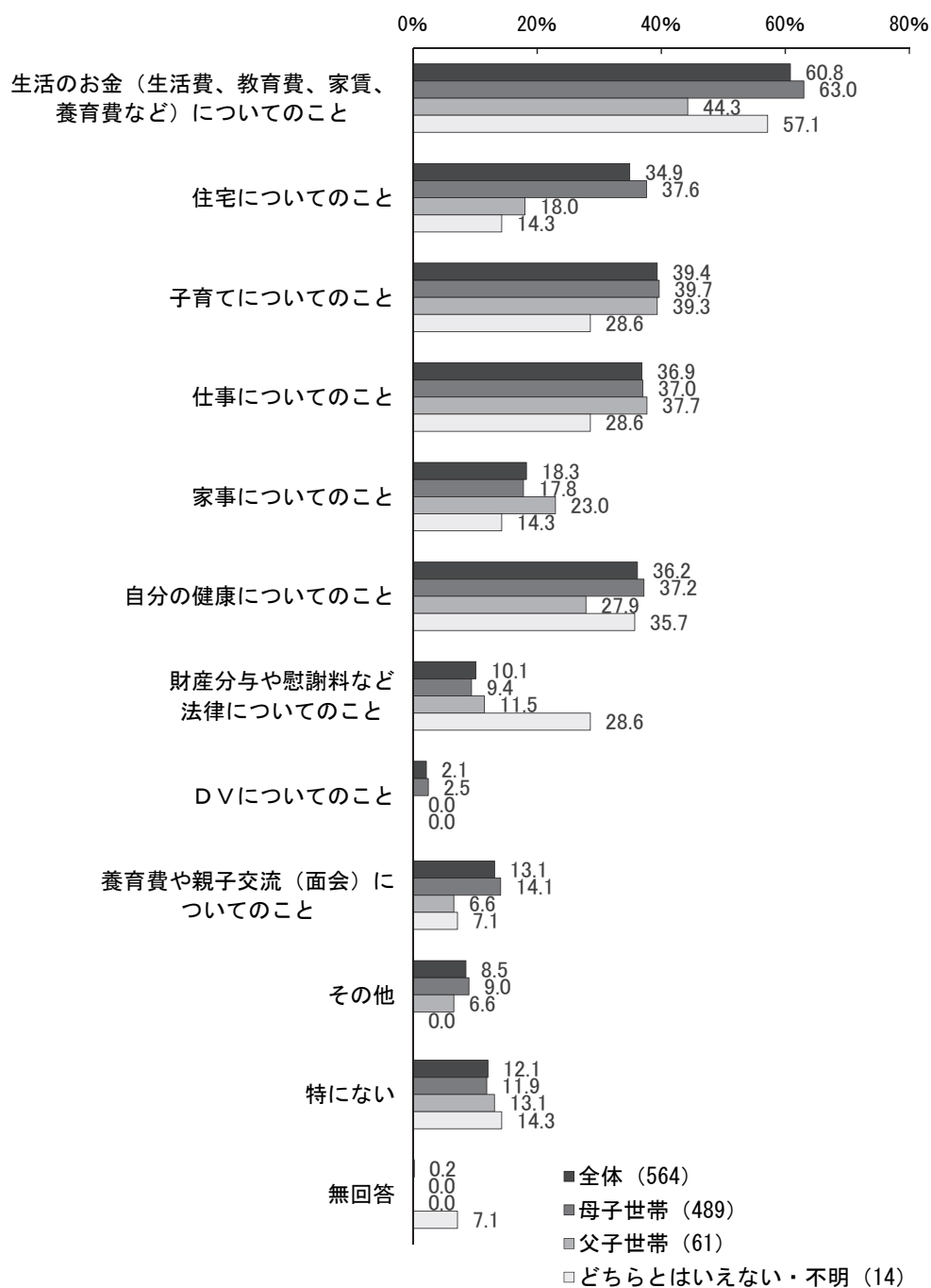
### （３）現在の悩みや困り事

問２９ 現在、悩みや困り事がありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

現在の悩みや困り事は、全体をみると「生活のお金（生活費、教育費、家賃、養育費など）についてのこと」60.8%が最も高く、次いで「子育てについてのこと」39.4%、「仕事についてのこと」36.9%の順に高くなっている。『悩みや困り事がある』（全体－「特になかった」－「無回答」）割合は87.7%である。ひとり親になった当時の悩みや困り事（問28）と比べると、上位3位は同じ悩みや困り事であるが、総じて割合は低くなっている。一方で、「自分の健康についてのこと」については、ひとり親になった当時と比べると割合が高くなっている。「その他」においては、「子どもの進学」「子どもの心の不調」「親の介護」などの記載があった。

世帯別にみると、母子世帯の上位は「生活のお金（生活費、教育費、家賃、養育費など）についてのこと」「子育てについてのこと」「住宅についてのこと」、父子世帯の上位は「生活のお金（生活費、教育費、家賃、養育費など）についてのこと」「子育てについてのこと」「仕事についてのこと」となっている。

図表 90 現在の悩みや困り事（複数回答）



ひとり親になった理由別にみると、全ての理由において「生活のお金（生活費、教育費、家賃、養育費など）についてのこと」が最も高い。別居は「財産分与や慰謝料など法律についてのこと」についての割合が他に比べて高くなっている。

図表 91 ひとり親になった理由別による現在の悩みや困り事（クロス集計）

		全 体	生活のお金（生活費、 教育費、家賃、養育費 など）についてのこと	住宅についてのこと	子育てについてのこと	仕事についてのこと	家事についてのこと	自分の健康についてのこと	財産分与や慰謝料など法律 についてのこと	DVについてのこと	養育費や親子交流（面会） についてのこと	その他	特 に な い	無 回 答
全 体		564 100.0	343 60.8	197 34.9	222 39.4	208 36.9	103 18.3	204 36.2	57 10.1	12 2.1	74 13.1	48 8.5	68 12.1	1 0.2
ひとり親 になった理由別	死別	71 100.0	41 57.7	15 21.1	29 40.8	34 47.9	14 19.7	30 42.3	7 9.9	0 0.0	0 0.0	3 4.2	10 14.1	0 0.0
	離婚	372 100.0	231 62.1	136 36.6	147 39.5	129 34.7	61 16.4	129 34.7	27 7.3	6 1.6	53 14.2	36 9.7	44 11.8	0 0.0
	未婚・非婚	61 100.0	37 60.7	24 39.3	22 36.1	22 36.1	14 23.0	23 37.7	4 6.6	0 0.0	6 9.8	6 9.8	9 14.8	0 0.0
	別居	51 100.0	30 58.8	21 41.2	20 39.2	19 37.3	11 21.6	18 35.3	18 35.3	5 9.8	13 25.5	3 5.9	3 5.9	0 0.0
	その他	6 100.0	4 66.7	1 16.7	3 50.0	3 50.0	3 50.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0

#### (4) 悩みや困り事の解決方法

■問29で「特にない」以外に○をつけた方にお聞きします。

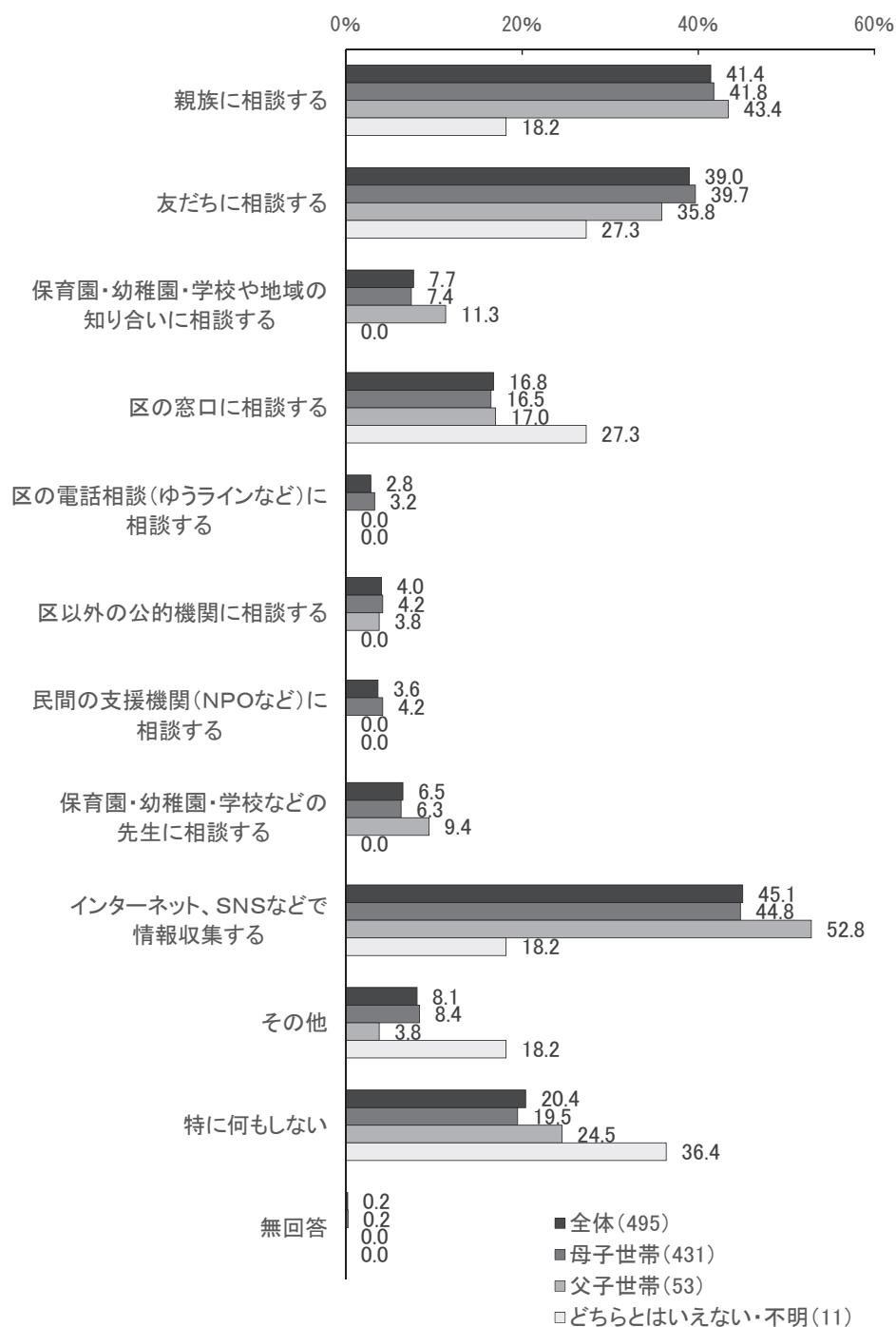
問29-1 悩みや困り事の解決方法について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

問29で「特にない」以外に○をつけた方に悩みや困り事の解決方法をたずねたところ、全体をみると「インターネット、SNSなどで情報収集する」45.1%が最も高く、次いで、「親族に相談する」41.4%、「友だちに相談する」39.0%の順に高くなっている。

「区の窓口で相談する」は16.8%、「区の電話相談（ゆうラインなど）に相談する」は2.8%である。「その他」においては、「カウンセラー」「弁護士」「同僚」などの相談先のほか、「相談するところがない」などの記載があった。

世帯別にみると、父子世帯が母子世帯を上回っているのは「親族に相談する」「保育園・幼稚園・学校や地域の知り合いに相談する」「区の窓口で相談する」「保育園・幼稚園・学校などの先生に相談する」「インターネット、SNSなどで情報収集する」、母子世帯が父子世帯を上回っているのは「友だちに相談する」「区の電話相談（ゆうラインなど）に相談する」「区以外の公的機関に相談する」「民間の支援機関（NPOなど）に相談する」などである。

図表 92 悩みや困り事の解決方法（複数回答）



年齢区分別にみると、30 歳以上において「インターネット、SNS などで情報収集する」は高い割合である。20～29 歳は「友だちに相談する」、30～49 歳は「親族に相談する」、50 歳以上は「インターネット、SNS などで情報収集する」の割合が最も高くなっている。

図表 93 年齢区分別による悩みや困り事の解決方法（クロス集計）

		全 体	親 族 に 相 談 す る	友 だ ち に 相 談 す る	保 育 園・幼 稚 園・学 校や地 域の知 り合 いに 相 談 す る	区 の 窓 口 に 相 談 す る	区 の 電 話 相 談 (ゆ う ラ イ ン な ど) に 相 談 す る	区 以 外 の 公 的 機 関 に 相 談 す る	民 間 の 支 援 機 関 (N P O な ど) に 相 談 す る	保 育 園・幼 稚 園・学 校な どの先 生 に 相 談 す る	イ ン タ ー ネ ッ ト、 S N S な どで 情 報 収 集 す る	そ の 他	特 に 何 も し な い	無 回 答
全 体		495 100.0	205 41.4	193 39.0	38 7.7	83 16.8	14 2.8	20 4.0	18 3.6	32 6.5	223 45.1	40 8.1	101 20.4	1 0.2
年 齢 区 分 別	20～29 歳	12 100.0	6 50.0	7 58.3	2 16.7	5 41.7	0 0.0	1 8.3	0 0.0	2 16.7	4 33.3	1 8.3	1 8.3	0 0.0
	30～39 歳	98 100.0	44 44.9	40 40.8	11 11.2	21 21.4	4 4.1	2 2.0	2 2.0	9 9.2	43 43.9	9 9.2	23 23.5	0 0.0
	40～49 歳	218 100.0	99 45.4	92 42.2	13 6.0	38 17.4	7 3.2	14 6.4	10 4.6	12 5.5	98 45.0	19 8.7	34 15.6	1 0.5
	50 歳以上	142 100.0	45 31.7	43 30.3	11 7.7	16 11.3	3 2.1	3 2.1	6 4.2	8 5.6	69 48.6	10 7.0	38 26.8	0 0.0

※「20 歳未満」の回答者はいないため、掲載を省略している。

## (5) 悩みや困り事があっても特に何もしない理由

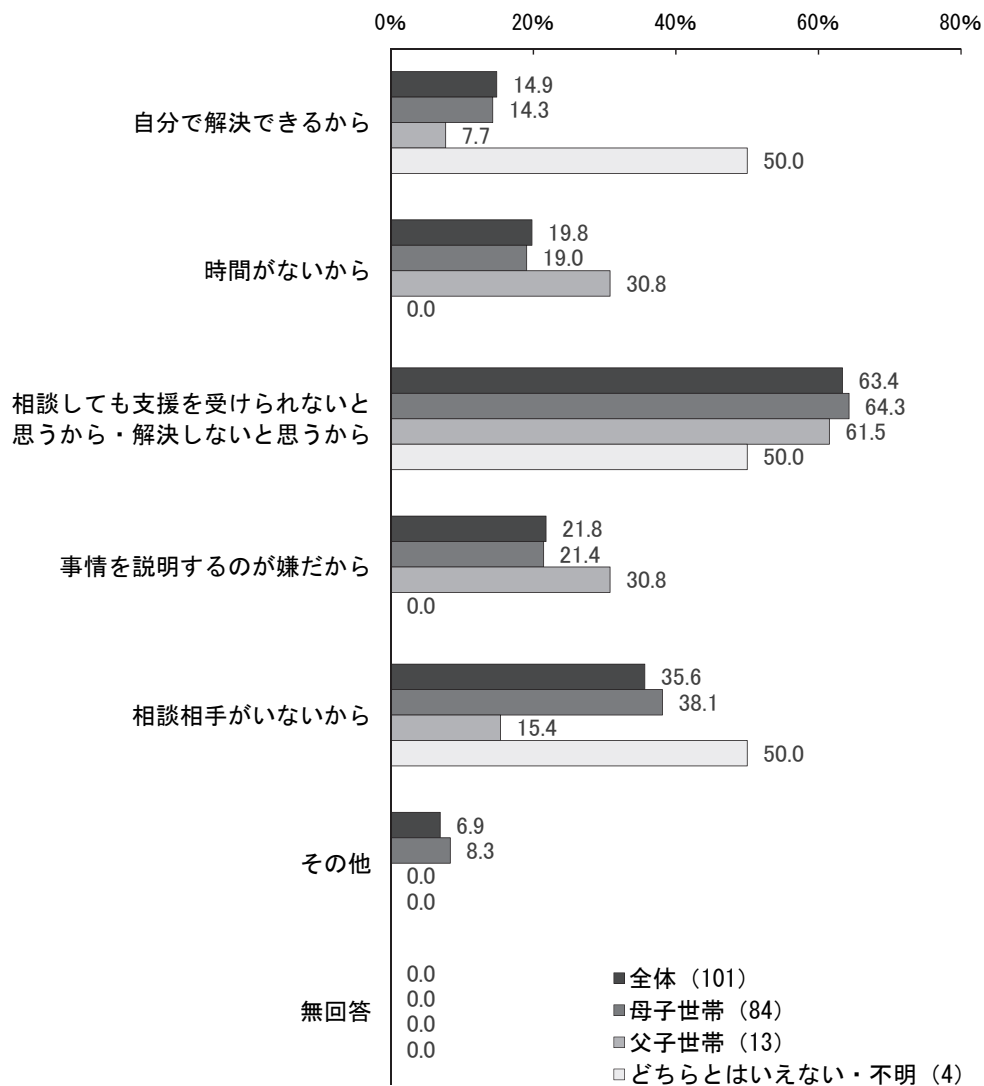
■問29-1で「特に何もしない」に○をつけた方にお聞きします。

問29-2 特に何もしない理由として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

問29-1で「特に何もしない」に○をつけた方に悩みや困り事があっても特に何もしない理由をたずねたところ、全体をみると「相談しても支援を受けられないと思うから・解決しないと思うから」が63.4%で最も高くなっている。次いで、「相談相手がないから」35.6%、「事情を説明するのが嫌だから」21.8%の順で高くなっている。

世帯別にみると、母子世帯、父子世帯ともに「相談しても支援を受けられないと思うから・解決しないと思うから」が最も高く、次いで母子世帯は「相談相手がないから」「事情を説明するのが嫌だから」、父子世帯は「時間がないから」「事情を説明するのが嫌だから」の割合が高くなっている。

図表 94 悩みや困り事があっても特に何もしない理由（複数回答）



## 11 ひとり親家庭への支援等について

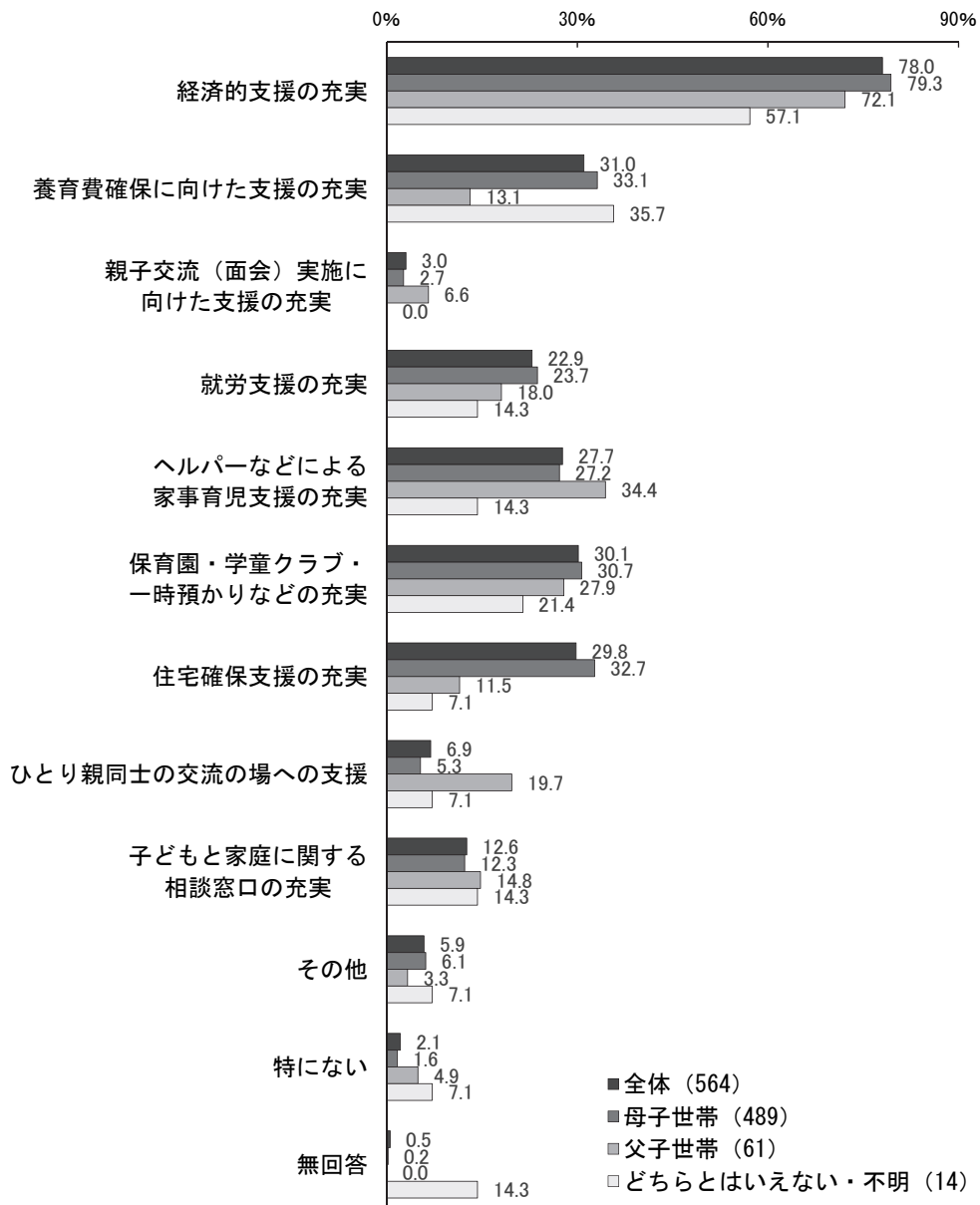
### (1) ひとり親家庭への支援で必要と思うもの

問30 ひとり親家庭への支援で、あなたが特に必要と思うもの（3つまで）に○をつけてください。

ひとり親家庭への支援で必要と思うものは、全体をみると「経済的支援の充実」78.0%が最も高く、次いで「養育費確保に向けた支援の充実」31.0%、「保育園・学童クラブ・一時預かりなどの充実」30.1%、「住宅確保支援の充実」29.8%、「ヘルパーなどによる家事育児支援の充実」27.7%の順に高くなっている。

世帯別にみると、母子世帯の上位は全体と同様であるが、父子世帯では「ヘルパーなどによる家事育児支援の充実」「ひとり親同士の交流の場への支援」「子どもと家庭に関する相談窓口の充実」が母子世帯に比べて高くなっている。

図表 95 ひとり親家庭への支援で必要と思うもの（複数回答）



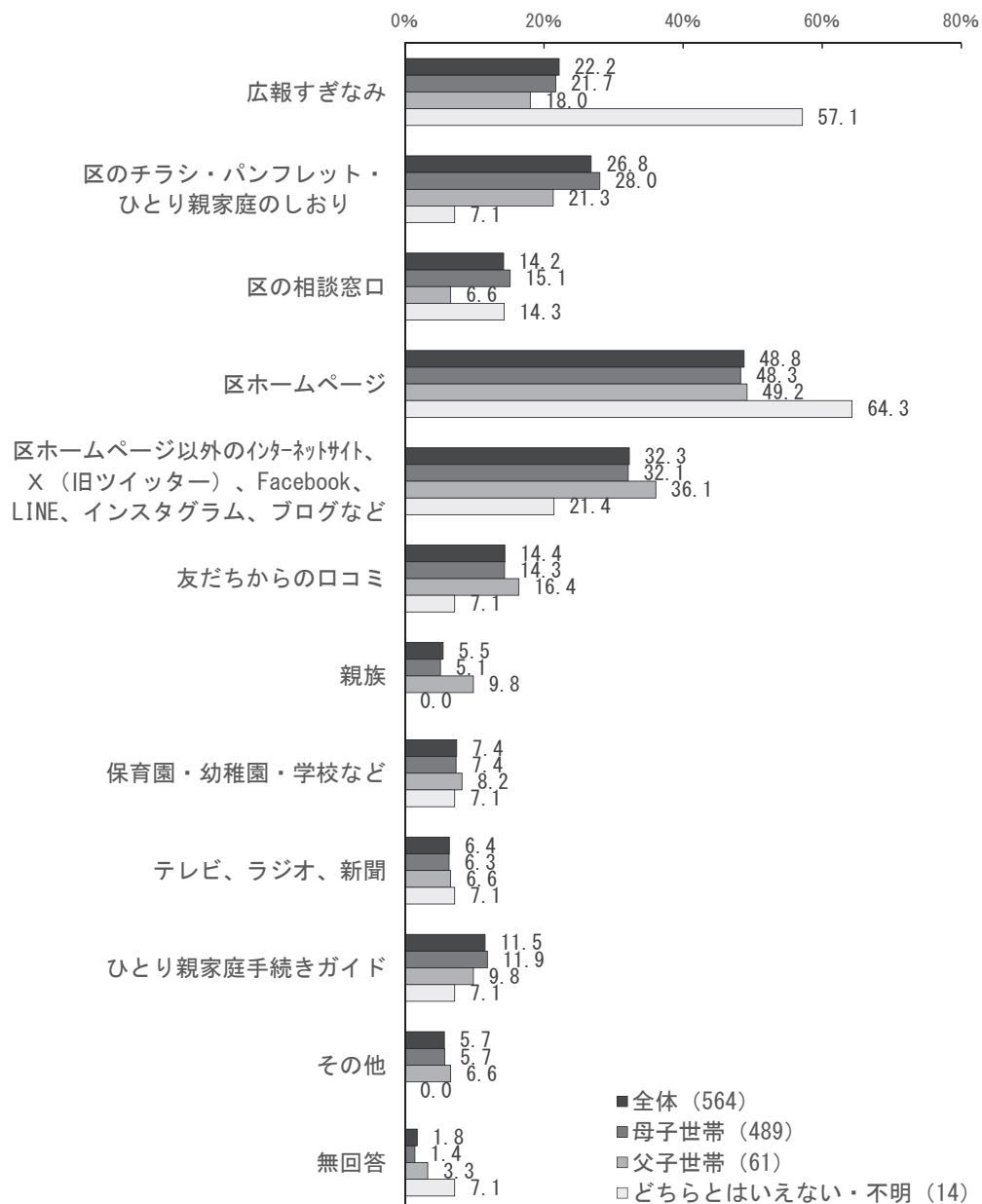
## (2) ひとり親支援や子育ての情報の入手先

問31 ひとり親支援や子育てについて、知りたい情報は、どこから入手していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

ひとり親支援や子育ての情報の入手先は、全体をみると「区ホームページ」48.8%が最も高く、次いで「区ホームページ以外のインターネットサイト、X（旧ツイッター）、Facebook、LINE、インスタグラム、ブログなど」32.3%であり、インターネットによる情報入手の割合が高い状況にある。

世帯別にみると、母子世帯は父子世帯に比べて区の広報、チラシ等や窓口からの情報を入手している割合が高く、父子世帯は区ホームページやインターネットサイトなどの割合が母子世帯に比べて高くなっている。

図表 96 ひとり親支援や子育ての情報の入手先（複数回答）



年齢区分別にみると、全ての年齢において「区ホームページ」「区ホームページ以外のインターネットサイト、X（旧ツイッター）、Facebook、LINE、インスタグラム、ブログなど」「区のチラシ・パンフレット・ひとり親家庭のしおり」の割合が高くなっている。20～29歳は「保育園・幼稚園・学校など」「ひとり親家庭手続きガイド」、50歳以上は「広報すぎなみ」の割合も他の年齢に比べて高くなっている。

図表 97 年齢区分別によるひとり親支援や子育ての情報の入手先（クロス集計）

		全 体	広 報 す ぎ な み	区 の チ ラ シ ・ パ ン フ レ ッ ト ・ ひ と り 親 家 庭 の し お り	区 の 相 談 窓 口	区 ホ ー ム ペ ー ジ	区 ホ ー ム ペ ー ジ 以 外 の イ ン タ ー ネ ッ ト サ イ ト 、 X （ 旧 ツ イ ッ タ ー ） 、 F a c e b o o k 、 L I N E 、 イ ン ス タ グ ラ ム 、 ブ ロ グ な ど	友 だ ち か ら の ロ コ ミ	親 族	保 育 園 ・ 幼 稚 園 ・ 学 校 な ど	テ レ ビ 、 ラ ジ オ 、 新 聞	ひ と り 親 家 庭 手 続 き ガ イ ド	そ の 他	無 回 答
全 体		564 100.0	125 22.2	151 26.8	80 14.2	275 48.8	182 32.3	81 14.4	31 5.5	42 7.4	36 6.4	65 11.5	32 5.7	10 1.8
年 齢 区 分 別	20～29 歳	14 100.0	3 21.4	4 28.6	0 0.0	5 35.7	3 21.4	0 0.0	1 7.1	5 35.7	2 14.3	3 21.4	1 7.1	0 0.0
	30～39 歳	110 100.0	20 18.2	34 30.9	17 15.5	52 47.3	37 33.6	16 14.5	11 10.0	11 10.0	9 8.2	17 15.5	4 3.6	1 0.9
	40～49 歳	245 100.0	51 20.8	64 26.1	35 14.3	133 54.3	79 32.2	41 16.7	10 4.1	16 6.5	16 6.5	26 10.6	10 4.1	4 1.6
	50 歳以上	166 100.0	42 25.3	42 25.3	24 14.5	74 44.6	57 34.3	19 11.4	8 4.8	10 6.0	9 5.4	14 8.4	14 8.4	3 1.8

※「20 歳未満」の回答者はいないため、掲載を省略している。

## 12 公的支援の利用状況や意向について

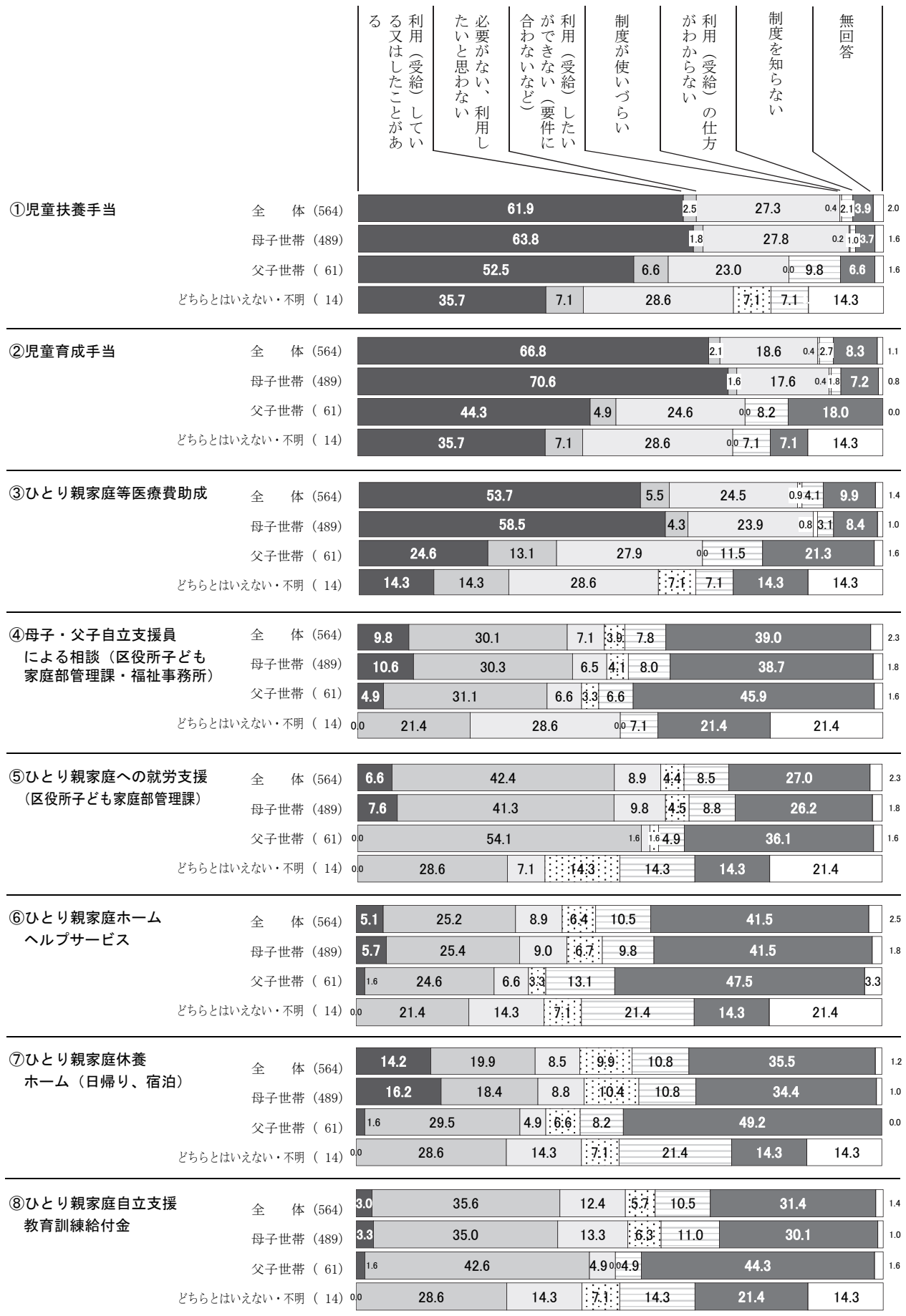
### (1) 公的支援の利用状況や意向

問32 公的支援を利用したことがありますか。①～⑮のそれぞれにあてはまる番号1つに○をつけてください。

公的支援の利用状況や意向について、全体において最も割合が高い公的支援は以下のとおりである。「利用（受給）している又はしたことがある」は②児童育成手当 66.8%、「必要がない、利用したいと思わない」は⑮生活保護 59.6%、「利用（受給）したいができない（要件に合わないなど）」は①児童扶養手当 27.3%、「制度が使いづらい」は⑦ひとり親家庭休養ホーム（日帰り、宿泊）9.9%、「利用（受給）の仕方がわからない」⑦ひとり親家庭休養ホーム（日帰り、宿泊）10.8%、「制度を知らない」⑭母子及び父子福祉資金 58.3%となっている。

世帯別に母子世帯と父子世帯で差が大きい公的支援は以下のとおりである。「利用（受給）している又はしたことがある」は③ひとり親家庭等医療費助成（母子世帯が 33.9 ポイント高い）、「必要がない、利用したいと思わない」は⑫ひとり親家庭のしおり（父子世帯が 15.0 ポイント高い）、「利用（受給）したいができない（要件に合わないなど）」は⑮生活保護（母子世帯が 9.4 ポイント高い）、「制度が使いづらい」は⑧ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金（母子世帯が 6.3 ポイント高い）、「利用（受給）の仕方がわからない」①児童扶養手当（父子世帯が 8.8 ポイント高い）、「制度を知らない」⑫ひとり親家庭のしおり（父子世帯が 21.2 ポイント高い）となっている。

図表 98 公的支援の利用状況や意向（単数回答）



		利用（受給）している又はしたことがある	必要がない、利用したいと思わない	利用（受給）したいができない（要件に合わないなど）	制度が使えない	利用（受給）の仕方がわからない	制度を知らない	無回答	
⑨ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金	全 体 (564)	1.6	36.3	13.1	4.4	9.4	33.9		1.2
	母子世帯 (489)	1.8	35.8	14.1	4.7	10.0	32.7		0.8
	父子世帯 (61)	0.0	42.6	4.9	1.6	3.3	45.9		1.6
	どちらともいえない・不明 (14)	0.0	28.6	14.3	7.1	14.3	21.4	14.3	
⑩ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	全 体 (564)	0.4	52.0		7.6	0.9	3.9	34.2	1.1
	母子世帯 (489)	0.4	53.0		8.0	0.6	4.1	33.3	0.6
	父子世帯 (61)	0.0	49.2		3.3	1.6	1.6	42.6	1.6
	どちらともいえない・不明 (14)	0.0	28.6	14.3	7.1	7.1	28.6	14.3	
⑪養育費確保支援事業	全 体 (564)	0.7	33.0	5.9	2.5	6.2		49.8	2.0
	母子世帯 (489)	0.8	31.9	6.1	2.7	6.7		50.1	1.6
	父子世帯 (61)	0.0	42.6		1.6	0.0	1.6	52.5	1.6
	どちらともいえない・不明 (14)	0.0	28.6	14.3	7.1	7.1	28.6	14.3	
⑫ひとり親家庭のしおり	全 体 (564)		41.0	13.1	3.9	7.1	5.1	33.7	1.2
	母子世帯 (489)		45.4	11.2	3.9	2.0	5.1	31.3	1.0
	父子世帯 (61)		13.1	26.2	3.3	0.0	4.9	52.5	0.0
	どちらともいえない・不明 (14)		7.1	21.4	7.1	7.1	7.1	35.7	14.3
⑬ひとり親家庭手続きガイド	全 体 (564)		29.4	12.8	4.1	1.6	6.6	44.3	1.2
	母子世帯 (489)		32.3	11.0	3.7	1.6	6.3	44.0	1.0
	父子世帯 (61)		13.1	24.6	3.3	0.0	8.2	50.8	0.0
	どちらともいえない・不明 (14)		21.4	21.4	7.1	7.1	28.6	14.3	
⑭母子及び父子福祉資金	全 体 (564)	0.9	23.6	5.3	2.5	8.0		58.3	1.4
	母子世帯 (489)	0.6	22.7	5.7	2.7	7.8		59.3	1.2
	父子世帯 (61)	3.3	31.1		1.6	0.0	8.2	55.7	0.0
	どちらともいえない・不明 (14)	0.0	21.4	7.1	7.1	14.3	35.7	14.3	
⑮生活保護	全 体 (564)	2.7	59.6		18.1	2.8	5.3	10.5	1.1
	母子世帯 (489)	3.1	60.1		19.2	2.7	4.9	9.4	0.6
	父子世帯 (61)	0.0	62.3		9.8	3.3	3.3	19.7	1.6
	どちらともいえない・不明 (14)	0.0	28.6	14.3	7.1	28.6	7.1	14.3	

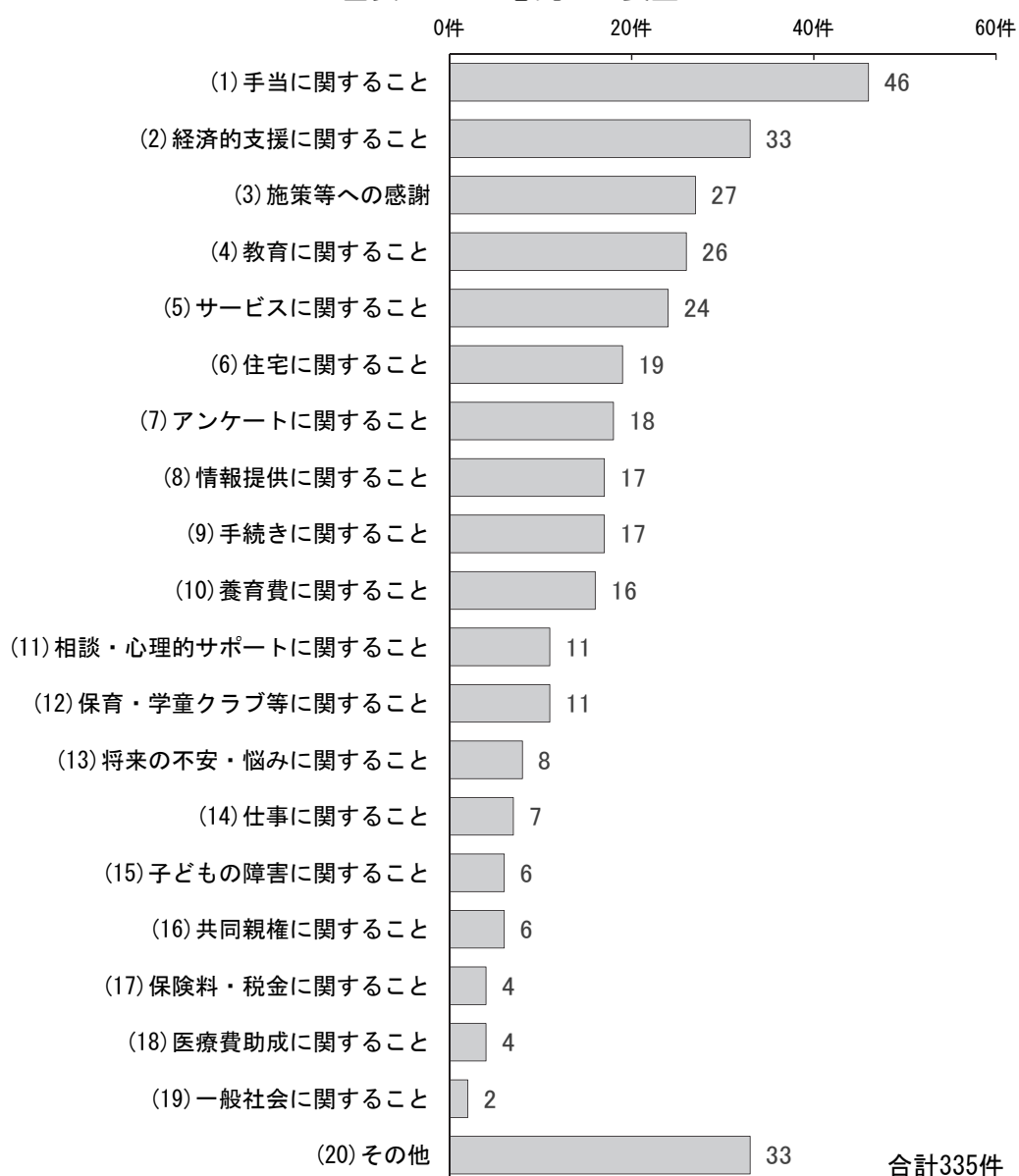
## 13 ご意見・ご要望（自由記載）

問33 ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

調査票最後に記載された自由記載について、内容により分類した結果が以下となる。  
一人の回答者が複数の意見・要望を記載していることが多いため、一人1件はなく、  
内容に基づき整理・分類した。

次ページ以降は、具体的記載の内容を抜粋及び要約して掲載している。

図表 99 ご意見・ご要望



### （１）手当に関すること【46 件】

- ・ 児童扶養手当の所得制限が緩和されると助かる。
- ・ 児童扶養手当など、年収に応じ受給金額が異なる制度について見直してほしい。年収が上がれば受給額が減少するが、子の成長とともに教育費や食費がとても負担になる。
- ・ 離婚の手続き中なのに、なぜひとり親としての制度が受けられないのか、理解ができない。
- ・ ひとり親家庭が受け取れる手当や助成金は、所得関係なく受け取れるようにしてほしい。

### （２）経済的支援に関すること【33 件】

- ・ 18 歳以上の子どもにも支援が欲しい。
- ・ ひとり親で、親の介護と大学受験を控えた子どもの塾など生活費以外の支出負担が大きい。所得制限で対象とならない補助が多く、家庭環境に対応した制度が無い。
- ・ 物価高の中、給料は上がらない。補助が受けられる場合の年収が低いと思う。
- ・ 男性のひとり親は総じて支援が少ない。所得が高くても経済的負担は相応にあるので、ある程度の補助、助成は平等性の観点から必要。

### （３）施策等への感謝【27 件】

- ・ 夫が亡くなった時に本当に親身になってさまざまな支援を教えてくれた。このアンケートが少しでも多くの方の役に立つように祈っている。
- ・ 窓口で相談・手続に行った際、大変丁寧、親身になって対応していただき、感謝している。手当も生活がまだ安定しなかった時、大変助かった。
- ・ 保育園の時にひとり親になり、学童や小学校にとってもお世話になったことを今も感謝している。自分は杉並区で良かったと思う。

### （４）教育に関すること【26 件】

- ・ 18、19 歳で浪人生となってしまった子を持つ場合の援助があると助かる。
- ・ 塾代や習い事代について、他家庭よりも捻出することができない。
- ・ 食費、光熱費が高騰する一方で給与は上がらず、ひとり親家庭への助成金も少なく感じている。今後高校進学、大学進学にあたり金銭面の不安が大きい。

### （５）サービスに関すること【24 件】

- ・ お金よりも時間が足りないと思う。食事の準備や買い出しの時間を節約するようなサービスがあると良い。
- ・ 1 人で子育て、仕事、家事、休む時間がなく、子どもを預かってくれる場所や、サポートしてくれる人、頼れる所があれば、もっと助かると思う。
- ・ 今後、ますます離婚は増えると思うため、女性が不利にならないように、離婚時に間に入ってくれるサービスを実施すべき。
- ・ 自分が具合が悪く病院に行きたくても行けない状況が多い。ちょっとした時に子どもの預け先があると良い。

#### (6) 住宅に関すること【19 件】

- ・ 現在、民間賃貸に住んでいるが、家賃が高く、生活が苦しい。ずっと都営住宅の申し込みをするも、ポイント方式でも全く当たらない。子どもに障害があるため、転校など難しいので、今住んでいる地域からの転居は考えることができない。もう少し、家庭の状況を考慮してもらいたい。
- ・ 自分の体調のために仕事をやめるかも…と考えた時、社宅を出て行かなければならない。そういう時に、すぐに住み替えできるのか心配。

#### (7) アンケートに関すること【18 件】

- ・ 知らない制度も色々あったので、知るきっかけとなってありがたいアンケートであった。
- ・ 色々な制度があることを知り、要件に合っているか否か再度確認したいと思った。
- ・ 母子家庭に偏った内容と感じる。父子家庭の場合は別の内容でないとあまり意味はないと思う。

#### (8) 情報提供に関すること【17 件】

- ・ 今回の調査で「ひとり親家庭のしおり」「ひとり親家庭手続きガイド」など、網羅的な説明冊子があることを初めて知った。多くの制度があるものの、複雑でわかりにくい。
- ・ 日本語があまり得意ではないため、多くの問題を解決できないことがある。
- ・ 父子家庭を念頭においた情報交流などの場があると（あるいは支援？既にあるのかもしれないが）色々と助かることもあると思う。

#### (9) 手続きに関すること【17 件】

- ・ オンラインで完結することが増えてほしい。
- ・ 電子や郵送などで完結するような仕組みにしてほしい。
- ・ ひとり親家庭休養ホームの制度は一度利用したが、利用する手続きのために、平日仕事を休み、区役所まで直接行かなくてはいけなかったため、なかなか利用できない。ネットで手続きをして使えたら良いとも思う。

#### (10) 養育費に関すること【16 件】

- ・ これは地方自治体ではなく国の仕事だが、養育費の支払いを義務化する制度が必要と思う。
- ・ 養育費を強制的に徴収できる仕組みがあると良い。
- ・ なにがなんでも養育費を、というような制度はつくってほしくない。

#### (11) 相談・心理的サポートに関すること【11 件】

- ・ 法律相談が最も深刻でお金がかかるのに、利用制限があり、苦しく感じる時がある。
- ・ ひとり親同士で交流できる場があると良い。月に1、2回でも集まってお互い話をしたり、聞いてもらうだけでずいぶん気分的にも違うと思う。
- ・ 大人だけでなく、子ども向けのグリーフケアがあると良い。

**(12) 保育・学童クラブ等に関すること【11 件】**

- ・ 仕事柄、日曜日に出勤が必要となる場合があるため、区立保育園や子ども・子育てプラザなどで日曜保育を実施してほしい。現在は遠方から親に来てもらっているが、高齢のため親の負担も大きく困っている。
- ・ 病児保育や病児シッターについては、拡充をお願いしたい。
- ・ 1 馬力だと、働き方に制限がどうしても出てくるので、保育園、またその先の子どもの預け先や居場所の確保や融通がきくことを望む。

**(13) 将来の不安・悩みに関すること【8 件】**

- ・ いろんな支援や手当があるのはありがたいと思っているが、18 歳までしかないので、その後の生活が心配である。
- ・ 子どもにあった高校に行かせてあげたいものの給料は上がり、生活費だけ増えていき、生活は大変だと思う。
- ・ 子育てと両立しつつ、かつ子ども達を養っていけるだけの給与の仕事に就けるか不安。

**(14) 仕事に関すること【7 件】**

- ・ 継続的な経済的基盤を固めることが、とにかく必要。高収入、今後需要が高くなる仕事、在宅もしくはリモート可能な仕事などの情報を発信してほしいと思う。
- ・ 子どもが小さな頃は、特に病気になった時、会社を休まざるを得ないことが大変だった。企業にリモートワークなどをもっと推進してもらいたい。

**(15) 子どもの障害に関すること【6 件】**

- ・ ひとり親と障害児をもつひとり親や子の困りごとや、困り感は異なると考える。障害のある家庭の現状をしっかりと把握して、必要な支援を考えてほしい。
- ・ 仕事を休んで相談する時間をもたないと感じる。相談窓口も忙しそうで、利用しづらい。小学校（支援級）に通っているが、発達相談をしたくても、面談が数か月先になってしまうため、相談窓口が少ないと思う。

**(16) 共同親権に関すること【6 件】**

- ・ 共同親権についてはわからない部分が多く、共同親権についての説明会またはセミナーを早急に開催してほしい。その際に個別に相談できるコーナーも設けてほしい。
- ・ 共同養育や共同親権など、真の意味の子どものための制度や支援の拡充をお願いする。

**(17) 保険料・税金に関すること【4 件】**

- ・ 年収が高くても諸事情(借金返済など)で生活が苦しかったり、税金が払えなかったりする場合もある。

**(18) 医療費助成に関すること【4件】**

- ・ マイナンバーカードなどで紐づけを行い、医療機関の窓口で、自動で会計してもらえると助かる。
- ・ 18歳の大学に通う子どもがいる。医療費が普通に掛かるため、行くのを我慢したり、家計を圧迫する。できたら大学卒業までは、医療費の助成があれば有り難い。

**(19) 一般社会に関すること【2件】**

- ・ 公立小学校はPTAなど、ひとり親では到底不可能な慣習が数多く存在して、肩身が狭い。ひとり親が増えている今、より幅広い社会的な支援、理解を期待したい。

**(20) その他【33件】**

- ・ 幼い子をもつひとり親の支援も大切だが、思春期で親を亡くした子の心のケアも大切だと痛感する。経済的不安から、進学への選択肢がせまくなならないよう、自身の努力と、支援が必要。
- ・ 子どもたち、保護者たちが笑顔で過ごせる環境づくりをお願いします。
- ・ 収入が無くても、障がい児がいても、離婚し、生活ができる、そんな支援を目指していただきたい。
- ・ 子どもは国や地域の宝と思って、地域で大切にインクルーシブに育てるような社会になることを望む。ひとり親、子ども一人ということで、夏休みなどは一人で過ごすことが多く、心許ないことが過去にあった。
- ・ 家庭の事情だけでなく、子どもの年齢によって、またその子一人ひとりの個性によって、ひとり親がかかえる問題が変わってくる。それに対応した支援があると有り難い。

### Ⅲ 調査票

#### < ひとり親家庭実態調査 調査票 >

##### 1. はじめに、ご家族の状況について、お聞きします。

問1 あなたの世帯・年齢を教えてください。

1. 母子世帯      2. 父子世帯      3. どちらとはいえない

※いずれか1つに○をつけてください。

年齢 (                  ) 歳      ※令和7年8月1日現在の年齢をご記入ください。

問2 一緒に住んでいる家族について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自分子ども                                  4. 自分の兄弟姉妹  
2. 自分の父                                      5. その他 (                                  )  
3. 自分の母

問3 一緒に住んでいる **20歳未満**のお子さんの年齢と就学・就労状況（あてはまる番号1つに○）をご記入ください。※「その他」には、専門学校生、短大生、大学生、就労等とご記入ください。

年齢	就学・就労状況		
歳	1. 小学校入学前 2. 小学生	3. 中学生 4. 高校生	5. その他 (                                  )
歳	1. 小学校入学前 2. 小学生	3. 中学生 4. 高校生	5. その他 (                                  )
歳	1. 小学校入学前 2. 小学生	3. 中学生 4. 高校生	5. その他 (                                  )
歳	1. 小学校入学前 2. 小学生	3. 中学生 4. 高校生	5. その他 (                                  )
歳	1. 小学校入学前 2. 小学生	3. 中学生 4. 高校生	5. その他 (                                  )

##### 2. 住んでいる家について、お聞きします。

問4 あなたの今の家について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 持家（自分名義・共同名義を含む）      5. 民間賃貸住宅  
2. 持家（自分以外の名義）                  6. 給与住宅（社宅、寮など）  
3. 都営住宅・区営住宅                      7. 母子生活支援施設  
4. 都民住宅・UR賃貸住宅・公社住宅      8. その他 (                                  )

問5 家の間取りについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

※K: 部屋数＋台所、DK: 部屋数＋台所兼食事室、LDK: 部屋数＋台所兼食事室兼居間

1. 1K                                  4. 2DK                                  7. 3LDK  
2. 1DK                                5. 2LDK                                8. その他  
3. 1LDK                              6. 3DK                                (                                  )

問6 この1年間における毎月の家賃や住宅ローンなどの住宅費について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

※住宅ローンのボーナス払い分は毎月の住宅費に上乗せしてください。

- |          |              |               |
|----------|--------------|---------------|
| 1. 負担額なし | 3. 2万円～5万円未満 | 5. 8万円～11万円未満 |
| 2. 2万円未満 | 4. 5万円～8万円未満 | 6. 11万円以上     |

問7 今、引っ越しを考えていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |           |          |
|-----------|----------|
| 1. 考えていない | 2. 考えている |
|-----------|----------|

★問7で「2. 考えている」に○をつけた方にお聞きします。

問7-1 引っ越しを考えると、困りごとがありますか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                      |             |
|----------------------|-------------|
| 1. 引っ越しのためのお金がない     | 4. 特に困っていない |
| 2. 保証人や緊急連絡先がない      | 5. その他 ( )  |
| 3. ちょうどいい値段の家が見つからない |             |

3. 養育費及び親子交流（面会）について、お聞きします。

複数回、ひとり親となった経験のある方は、直近の状況について、教えてください。

問8 あなたがひとり親になってから何年たちましたか。  
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 1年未満    | 5. 4年～5年未満  |
| 2. 1年～2年未満 | 6. 5年～10年未満 |
| 3. 2年～3年未満 | 7. 10年以上    |
| 4. 3年～4年未満 |             |

問9 ひとり親になった理由について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                      |
|----------------------|
| 1. 死別 ➡ 4ページの問10へすすむ |
|----------------------|

- |            |
|------------|
| 2. 離婚      |
| 3. 未婚・非婚   |
| 4. 別居      |
| 5. その他 ( ) |

◆養育費について、お聞きします。

→★問9で「2」～「5」に○をつけた方にお聞きします。

問9-1 養育費を受け取っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 受け取っている                  |
| 2. 受け取っていない ➡ 次ページの問9-4へすすむ |
| 3. その他 ( ) ➡ 次ページの問9-5へすすむ  |

→★問9-1で「1. 受け取っている」に○をつけた方にお聞きします。

問9-2 養育費の取り決めについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |  |   |
|--|---|
| 1. 公的な書類（公正証書、調停、審判、判決）<br>2. その他の書類（上記 1.以外の当事者同士の覚書など）<br>3. 書類はない（口頭など）<br>4. 取り決めでしていない<br>5. その他（ | ) |
|--|---|

→問9-3 この1年間に受け取った養育費の合計額はいくらですか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 12 万円未満<br>2. 12 万円～36 万円未満<br>3. 36 万円～60 万円未満<br>4. 60 万円～84 万円未満<br>5. 84 万円～108 万円未満<br>6. 108 万円以上 |
|--|

★問9-1で「2. 受け取っていない」に○をつけた方にお聞きします。

問9-4 養育費を受け取っていない理由として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自分の収入等で経済的に問題ないから
2. 取り決めの交渉がわずらわしいから
3. 相手に支払う意思がないと思ったから
4. 相手に支払う能力がないと思ったから
5. 相手に養育費を請求できることを知らなかったから
6. 取り決めの交渉をしたがまとまらなかったから
7. 相手から身体的・精神的暴力を受けたから
8. 相手と関わりたくないから
9. その他 ( )

★ここからは、問9で「2」～「5」に○をつけた方にお聞きします。

問9-5 養育費を受け取るために、どのような支援があれば利用したいですか。

特に必要と思うもの（2つまで）に○をつけてください。

- |   |   |
|---|---|
| 1. 養育費についての無料のセミナー<br>2. 無料の弁護士相談<br>3. 公正証書など養育費についての書類作成費用の助成<br>4. 養育費保証会社と契約する際にかかる初期費用の助成<br>5. その他（ | ) |
|---|---|

◆親子交流（面会）について、お聞きします。

問9-6 お子さんとおさんの親（相手方）との親子交流（面会）の状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 現在、交流している

2. 今までに交流したことがあるが、現在は交流していない

3. 今まで交流したことがない

問9-8へすすむ

★問9-6で「1. 現在、交流している」に○をつけた方にお聞きします。

問9-7 親子交流（面会）の頻度のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 月2回以上

5. 夏休みなどの長期休み中

2. 月1回程度

6. その都度、協議

3. 2～3か月に1回程度

7. その他（ ）

4. 4～6か月に1回程度

★問9-6で「2」または「3」に○をつけた方にお聞きします。

問9-8 親子交流（面会）をしていない理由として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 相手が養育費を支払わないから

2. 子ども自身が会いたがらないから

3. 面会することは、子どものためにならないと思うから

4. 子どもの連れ去りや虐待の可能性があるので

5. 相手が親子交流（面会）を希望しないから

6. 相手と関わりたくないから

7. 相手が結婚したから

8. その他（ ）

★ここからは、すべての方にお聞きします。

問10 令和8年5月までに「共同親権」(\*)の制度が開始される予定にありますが、そのことについて、知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※離婚後に父母双方を子の親権者と定め、別居親も子の監護に責任を持つことです。

詳しくはこちらの二次元コードからご覧ください。

1. 知っている

2. 知らない



問11 共同親権についての説明会またはセミナーを区が開催する場合、参加しますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 参加する

2. 参加しない

3. どちらともいえない

#### 4. 就労及び経済状況について、お聞きます。

##### ◆就労について、お聞きます。

問12 あなたは、ひとり親になる前、仕事をしていましたか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

※育児休業などで仕事を休んでいた方は「1.ひとり親になる前、仕事をしていた」に○をつけてください。

1. ひとり親になる前、仕事をしていた

2. ひとり親になる前、仕事をしていなかった ➡ **次ページの問13へすすむ**

##### →★問12で「1. ひとり親になる前、仕事をしていた」に○をつけた方にお聞きます。

問12-1 どのような働き方でしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 自営業

2. 正社員・正規職員

3. 契約社員・派遣社員

4. パート・アルバイト

5. その他 ( )

##### →★問12-2 ひとり親になったことが理由で仕事を変えましたか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1回仕事を変えた

2. 2回仕事を変えた

3. 3回以上仕事を変えた

4. 仕事は変えていない（仕事を続けている）

5. その他 ( )

##### →★問12-2で「1」～「3」に○をつけた方にお聞きます。

問12-3 仕事を変えたときに利用した窓口はありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. ハローワーク、マザーズハローワーク

2. 区のひとり親家庭支援担当窓口

3. 杉並区就労支援センター

4. 友だち・知り合いからの紹介

5. 求人広告（就職情報誌・チラシ等）

6. 人材派遣会社

7. インターネットの求職サイト

8. その他 ( )

★ここからは、すべての方にお聞きします。

問13 現在、仕事をしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※育児休業などで仕事を休んでいる方は「1. 現在、仕事をしている」に○をつけてください。

1. 現在、仕事をしている

2. 現在、仕事をしていない ➡

次ページの問13-6へすすむ

→★問13で「1. 現在、仕事をしている」に○をつけた方にお聞きします。

問13-1 どのような働き方ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※いくつか仕事をしている方は、主な働き方を教えてください。

1. 自営業

4. パート・アルバイト

2. 正社員・正規職員

5. その他 ( )

3. 契約社員・派遣社員

→問13-2 いつも何時に家に帰りますか（自営業の方は、仕事が終わる時間は何時ですか）。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 16時まで

4. 19時まで

2. 17時まで

5. 20時以降

3. 18時まで

6. その他 ( )

→問13-3 現在の仕事を何年続けていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

※いくつか仕事をしている方は、主な仕事について、教えてください。

1. 1年未満

2. 1年～3年未満

3. 3年～5年未満

4. 5年～10年未満

5. 10年以上

→問13-4 現在の仕事をこれからも続けたいと考えていますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 現在の仕事を続けたい

2. 仕事を变えたい

→★問13-4で「2. 仕事を变えたい」に○をつけた方にお聞きします。

問13-5 仕事を变えたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 収入が少ないから

6. 子どもが病気のとき休みづらいから

2. 働く場所が家から遠いから

7. 経験や能力が発揮できないから

3. 体調がすぐれないから

8. 仕事の内容が体力的に厳しいから

4. 社会保険等が十分ではないから

9. 休みが少ないから

5. 雇用関係が安定していないから

10. その他 ( )

★問13で「2. 現在、仕事をしていない」に○をつけた方にお聞きます。

問13-6 仕事をしていない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1. 仕事が見つからない     | 6. 自分の健康上の理由  |
| 2. 勉強（資格取得、在学等）中 | 7. 子どもの預け先がない |
| 3. 子育てに専念        | 8. 働く必要がない    |
| 4. 家族の介護         | 9. 就職活動中      |
| 5. 家事の手伝い        | 10. その他（ ）    |

→★問13-6で「1. 仕事が見つからない」に○をつけた方にお聞きます。

問13-7 仕事を探すときの悩みは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自分に合う仕事が見つからない
2. 仕事の探し方がわからない
3. 履歴書の書き方・面接の対応がわからない
4. 仕事に必要な学歴・技能・資格がない
5. 家事や子育てとの両立ができない
6. 条件（収入面、時間、年齢等）に合う仕事がない
7. 応募しても採用にならない
8. その他（ ）
9. 悩みはない

★ここからは、すべての方にお聞きます。

問14 あなたの最終学歴について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1. 中学校    | 5. 四年制大学  |
| 2. 高等学校   | 6. 大学院    |
| 3. 各種専門学校 | 7. その他（ ） |
| 4. 短期大学   |           |

問15 これから就職や転職に向けて取得したい資格や技術はありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- |   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 簿記検定   | 9. 介護職員初任者研修        |
| 2. 教員免許   | 10. 介護福祉士実務者研修      |
| 3. 看護師・准看護師   | 11. 介護福祉士           |
| 4. 調理師・製菓衛生師・栄養士  | 12. 保育士             |
| 5. 美容師・理容師  | 13. 医療事務・介護事務       |
| 6. パソコン関係（MOSなど）  | 14. はり・きゅう・柔道整復師    |
| 7. 語学に関する資格<br>（英検・TOEICなど）                             | 15. 理学療法士・作業療法士     |
| 8. 情報処理（webクリエイター、<br>ITパスポート、illustrator クリエ<br>イターなど） | 16. 大型・第二種自動車免許     |
|   | 17. 行政書士            |
|   | 18. その他（ ）          |
|   | 19. 特に取得したい資格や技術はない |

問16 現在、どのような収入等で生活していますか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 問17 昨年(令和6年1月～令和6年12月)1年間の世帯の手取り合計額(養育費・手当等や同じ世帯の方の所得すべてを含みます)はどのくらいですか。  
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 問18 世帯の貯金の状況はどのようになっていますか。  
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 問19 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。  
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 問20 あなたの**お子さんが病気のとき**、**お子さんの世話を**どうしていますか（どうしますか）。  
あてはまる番号**すべてに○をつけて**ください。

- 101

問21 あなたが病気などで、お子さんの世話ができないとき、どうしていますか（どうしますか）。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親族に頼む
2. 友だち・知り合いに頼む
3. 区のサービス（ベビーシッター利用支援事業（一時預かり利用支援）、子どもショートステイなど）を利用する
4. 民間事業者のサービスを利用する
5. 子どもだけで何とかしてもらう
6. その他（ ）

★ここからは、すべての方にお聞きします。

問22 家庭でお子さんと過ごす時間について、どう感じていますか。  
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 十分にとれている
2. 十分にはとれていない

問23 お子さんとの会話・やりとりについて、どう感じていますか。  
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 十分にできている
2. 十分にはできていない

問24 この1年間で、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。

①～⑥のそれぞれにあてはまる番号1つに○をつけてください。

※「ない」2～4の場合も、最もあてはまる番号1つに○をつけてください。

項目	1 ある	ない		
		2 金銭的な理由で	3 時間の制約で	4 その他の理由で
（記入例）	①	2	3	4
① 海水浴に行く	1	2	3	4
② 博物館・科学館・美術館などに行く	1	2	3	4
③ キャンプやバーベキューに行く	1	2	3	4
④ スポーツ観戦や劇場に行く	1	2	3	4
⑤ 遊園地やテーマパークに行く	1	2	3	4
⑥ 旅行(国内・海外)に行く	1	2	3	4

◆健康について、お聞きします。

問25 あなたの、現在の健康状態はいかがですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 健康である             | 4. 障害認定を受けている（難病を除く） |
| 2. 通院している            | 5. 難病の指定を受けている       |
| 3. 通院はしていないが、体調は良くない | 6. その他（ ）            |

◆エネルギー機器の使用などについて、お聞きします。

問26 現在、ご家庭で使用しているエアコン（一番古いもの）を購入したのはいつ頃ですか。  
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 3年未満
2. 3年以上～5年未満
3. 5年以上～10年未満
4. 10年以上前
5. わからない
6. 所有していない

問26-1 おおむね1年以内にエアコンを買い替え又は購入する予定はありますか。  
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 予定がある
2. 検討している
3. 予定はない

➡ 問26-3へすすむ

➡ ★問26-1で、「3. 予定はない」に○をつけた方にお聞きします。

問26-2 予定はないとした最も大きな理由として、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 経済的な負担が大きい
2. エアコンより優先するものがある
3. 現在のものがまだ使える
4. エアコンの必要性を感じない

➡ ★ここからは、すべての方にお聞きします。

問26-3 エネルギー経費（電気・ガス・ガソリン代など）が家計の負担となっていて、エアコンやガスなどの使用を抑えたり、その他の生活費（食費、服飾費、住居費など）を削減していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. エネルギー経費を削るようにしている
2. エネルギー経費以外の生活費を削るようにしている
3. エネルギー経費と生活費の全体を削るようにしている
4. 特に何もしていない

問26-4 エネルギー経費削減のため、住宅の壁、床、屋根、窓などの耐熱化や太陽光発電機器の導入などの対策を行っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 行っている
2. 今後行う予定である
3. 行いたいけどどのような方法が良いのかわからない
4. 行いたいけど経済的負担が心配である
5. 行う考えはない

**6. 相談や支援のあり方について、お聞きします。**

**◆悩みや困りごとなどについて、お聞きします。**

問27 あなたがひとり親になる前に知りたかったことはありましたか。  
あてはまる番号**すべてに○**をつけてください。

1. 児童扶養手当など経済的な支援
2. 住宅についての支援
3. 子育てについての支援
4. 仕事についての支援
5. 財産分与や慰謝料など法律についてのこと
6. DVなどについての支援
7. 養育費や親子交流（面会）についてのこと
8. 病気や障害についての支援
9. その他（）
10. 特になかった

問28 ひとり親になったときに、悩みや困り事がありましたか。  
あてはまる番号**すべてに○**をつけてください。

1. 生活のお金（生活費、教育費、家賃、養育費など）についてのこと
2. 住宅についてのこと
3. 子育てについてのこと
4. 仕事についてのこと
5. 家事についてのこと
6. 自分の健康についてのこと
7. 財産分与や慰謝料など法律についてのこと
8. DVについてのこと
9. 養育費や親子交流（面会）についてのこと
10. その他（）
11. 特になかった

問29 現在、悩みや困り事がありますか。あてはまる番号**すべてに○**をつけてください。

1. 生活のお金（生活費、教育費、家賃、養育費など）についてのこと
2. 住宅についてのこと
3. 子育てについてのこと
4. 仕事についてのこと
5. 家事についてのこと
6. 自分の健康についてのこと
7. 財産分与や慰謝料など法律についてのこと
8. DVについてのこと
9. 養育費や親子交流（面会）についてのこと
10. その他（）
11. 特にない ➡ **次ページの問30へすすむ**

→★問29で「1」～「10」に○をつけた方にお聞きます。

問29-1 悩みや困り事の解決方法について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親族に相談する
2. 友だちに相談する
3. 保育園・幼稚園・学校や地域の知り合いに相談する
4. 区の窓口相談する
5. 区の電話相談（ゆうラインなど）に相談する
6. 区以外の公的機関に相談する
7. 民間の支援機関（NPOなど）に相談する
8. 保育園・幼稚園・学校などの先生に相談する
9. インターネット、SNSなどで情報収集する
10. その他（ ）
11. 特に何もしない

11. 特に何もしない

→ ★問29-1で「11. 特に何もしない」に○をつけた方にお聞きます。

問29-2 特に何もしない理由として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自分で解決できるから
2. 時間がないから
3. 相談しても支援を受けられないと思うから・解決しないと思うから
4. 事情を説明するのが嫌だから
5. 相談相手がいないから
6. その他 ( )

★ここからは、すべての方にお聞きします。

問30 ひとり親家庭への支援で、あなたが特に必要と思うもの(3つまで)に○をつけてください。

1. 経済的支援の充実
2. 養育費確保に向けた支援の充実
3. 親子交流（面会）実施に向けた支援の充実
4. 就労支援の充実
5. ヘルパーなどによる家事育児支援の充実
6. 保育園・学童クラブ・一時預かりなどの充実
7. 住宅確保支援の充実
8. ひとり親同士の交流の場への支援
9. 子どもと家庭に関する相談窓口の充実
10. その他（ ）
11. 特になし

問31 ひとり親支援や子育てについて、知りたい情報は、どこから入手していますか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 広報すぎなみ
2. 区のチラシ・パンフレット・ひとり親家庭のしおり
3. 区の相談窓口
4. 区ホームページ
5. 区ホームページ以外のインターネットサイト、X（旧ツイッター）、Facebook、LINE、インスタグラム、ブログなど
6. 友だちからの口コミ
7. 親族
8. 保育園・幼稚園・学校など
9. テレビ、ラジオ、新聞
10. ひとり親家庭手続きガイド
11. その他（ ）

◆公的支援の利用状況について、お聞きします。 別添の「事業のあらまし」をご参照ください

問32 公的支援を利用したことがありますか。

①～⑮のそれぞれにあてはまる番号1つに○をつけてください。

※「利用（受給）したことがない」2～6の場合も、最もあてはまる番号1つに○をつけてください。

事業名	1 利用（受給） している または したことが ある	利用（受給）したことがない				
		2 必要がない、 利用したいと 思わない	3 利用（受給） したいが できない （要件に合わ ないなど）	4 制度が 使いづらい	5 利用（受給） の仕方が わからない	6 制度を 知らない
（記入例）	①	2	3	4	5	6
① 児童扶養手当	1	2	3	4	5	6
② 児童育成手当	1	2	3	4	5	6
③ ひとり親家庭等医療費助成	1	2	3	4	5	6
④ 母子・父子自立支援員による相談（区役所子ども家庭部管理課・福祉事務所）	1	2	3	4	5	6
⑤ ひとり親家庭への就労支援（区役所子ども家庭部管理課）	1	2	3	4	5	6
⑥ ひとり親家庭ホームヘルプサービス	1	2	3	4	5	6

事業名	1 利用(受給)している または したことがある	利用(受給)したことがない				
		2 必要がない、 利用したいと 思わない	3 利用(受給) したいが できない (要件に合わ ないなど)	4 制度が 使いづらい	5 利用(受給) の仕方が わからない	6 制度を 知らない
⑦ ひとり親家庭休養ホーム (日帰り、宿泊)	1	2	3	4	5	6
⑧ ひとり親家庭自立支援教 育訓練給付金	1	2	3	4	5	6
⑨ ひとり親家庭高等職業訓 練促進給付金	1	2	3	4	5	6
⑩ ひとり親家庭高等学校卒 業程度認定試験合格支 援事業	1	2	3	4	5	6
⑪ 養育費確保支援事業	1	2	3	4	5	6
⑫ ひとり親家庭のしおり	1	2	3	4	5	6
⑬ ひとり親家庭手続きガイド	1	2	3	4	5	6
⑭ 母子及び父子福祉資金	1	2	3	4	5	6
⑮ 生活保護	1	2	3	4	5	6

問33 ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

❖質問はこれで終わりです。お忙しいところ、本調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。  
この調査票は、同封の返信用封筒(切手はいりません)に入れ、**9月1日(月)までに**郵便ポストに  
入れてください。

杉並区ひとり親家庭実態調査報告書  
令和 7 年度

登録印刷物番号

07-0047

令和 7 年 11 月発行

編集・発行：杉並区子ども家庭部管理課 ひとり親家庭支援担当  
〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目 15 番 1 号  
電話 (03) 5307-0343(直通)

※杉並区の公式ホームページでご覧になれます。

<https://www.city.suginami.tokyo.jp>